

令和 3 年 度

統合石打小学校大規模改造工事  
【建築工事】

■ 図 面 リ ス ト ■

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
A - 01	建築改修工事仕様書(1)	-	A - 21	校舎棟) 屋上詳細図 ( 1 )	1/100
02	建築改修工事仕様書(2)	-	22	校舎棟) 屋上詳細図 ( 2 )	1/100
03	建築改修工事仕様書(3)	-	23	校舎棟) 屋上詳細図 ( 3 )	1/100
04	建築改修工事仕様書(4)	-	24	校舎棟) 屋上部分詳細図	1/30 1/10 1/2
05	建築改修工事仕様書(5)	-	25	校舎棟) トイレ詳細図 ( 1 )	1/50
06	建築改修工事仕様書(6)	-	26	校舎棟) トイレ詳細図 ( 2 )	1/50 1/10
07	共通事項特記	-	27	校舎棟) 建具表	1/50 1/60
08	案内・配置図	1/600	28	体育館棟) 1 階平面図	1/100
09	外 部 仕 上 表	-	29	体育館棟) 2 階平面図	1/100
10	内 部 仕 上 表	-	30	体育館棟) 屋根伏図 (改修前)	1/100
11	面 積 表	1/300	31	体育館棟) 屋根伏図 (改修後)	1/100
12	校舎棟) 1 階平面図	1/150	32	体育館棟) 立面図	1/100
13	校舎棟) 2 階平面図	1/150	33	体育館棟) 矩計図・屋根詳細図	1/50 1/5
14	校舎棟) 3 階平面図	1/150	34	体育館棟) 屋上部分詳細図	1/30 1/10 1/2
15	校舎棟) R 階平面図	1/150	35	体育館棟) 梁伏図・鉄骨架構図	1/100 1/30
16	校舎棟) 玄関ポーチ詳細図	1/50 1/30	36	舗装平面図	1/300
17	校舎棟) 2 階平面詳細図 ( 1 ) (特別活動室・視聴覚室)	1/50			
18	校舎棟) 2 階平面詳細図 ( 2 ) (図書室)	1/50・30			
19	校舎棟) 3 階平面詳細図 (図工室・音楽室)	1/50			
20	校舎棟) 普通教室詳細図	1/50・10			

設計： 株式会社 富 所 設 計

統合石打小学校大規模改修工事 建築工事設計図		令和 3 年 3 月 (全 36枚)	
仕 様 書			
I 共通仕様			
1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成 31年版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。			
2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1) 「工事請負契約書」を「新潟県財務規則(昭和57年3月1日新潟県規則第10号)別記(第78条関係)建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。 (2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。 (3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。			
3. 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。 (1) 1 章 1.1.2用語の定義の(7)、(e)及び(f) (2) " 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2) (3) " 1.4.4材料の検査等の(1) (4) " 1.7.1工事検査の(2)及び(3)			
4. 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。 1 章 1.1.2 用語の定義の(ニ) " 1.7.2 技術検査			
別 表（建築改修工事）			
号	項 目	置 き 換 え 後 の 改 修 標 仕 の 規 定	
1 章 一般共通事項			
(1) 1.1.2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (e)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (f)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 (ただし、②に係る検査を除く。) ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第50条)		
(2) 1.4.2材料の品質等	(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。  (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(7)から(9)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。 )は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。 ) (9)特記により指定された材料又は製造者の製品		
(3) 1.4.4 材料の検査等	(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(7)若しくは(4)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合		
(4) 1.7.1 工事検査	(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。  (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。		
II 特記仕様		1.項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 2.特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3.特記事項の記載の[ . . . ]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。 4.製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( ) 内は製品名を示す。	
章 項 目	特 記 事 項		
1 1 工事実績情報 サビス(CORINS)への登録	※請負工事費500万円以上の場合、登録する	[1.1.4]	
2 概成工期	※無し ・有(工期 令和 年 月 日)	[1.2.1]	
3 内部の工事期間等	※着手 令和 3 年 7 月 日 ～ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査		
4 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 ・地区の区分に応じた風速（Vo (m/sec)） ・ 3 0 ・ 3 2 ・地面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・多雪地域の指定 積雪区分 催告示第 1 4 5 5 号 別表（ ）	[1.2.2]	
5 監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。 1 建築工事の施工に関し、1 0 年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後 4 年以上の実務経験を有すること。	[1.3.3]	
6 電気保安技術者	※要	[1.3.3]	
7 発生材の処理等	1 〇追加特記 7 「発生材の処理等」による。	[1.3.12]	
8 特別な材料の工法	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。		
9 施工数量調査の方法	目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。	[1.5.2]	
10 技能士		[1.6.2]	
		適用工事種別 技 能 検 定 の 職 種	
防水改修工事		・アスファルト防水工事作業 ○合成ゴム系シート防水工事作業 ○塗膜防水工事作業 ○ケリング防水工事作業 ・左官 ○建築板金(内外装板金作業)	
外壁改修工事		・左官 ・タイル張り ・塗装(建築塗装作業) ・樹脂接着剤注入施工	
建具改修工事		・サッシ施工 ・ガラス施工	
内装改修工事		・建築大工 ○左官 ・表装(壁装作業) ・内装仕上げ施工 ○アスファルト系床仕上げ ○ボード仕上げ ・鋼製下地工事) ・タイル張り	
塗装改修工事		○塗装(建築塗装作業)	
耐震改修工事		・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工	
環境配慮改修工事		・防水施工(アスファルト防水工事作業) ・ガラス施工 ・造園	
ブロック・ALC等補修工事		・ブロック建築 ・ALC等補修施工	
石工事		・石材施工(石張り施工)	
		・	
11 見本施工	※実施する	[1.6.5]	
12 化学物質の濃度測定	1 〇追加特記 8 「化学物質の濃度測定」による。	[1.6.9]	
13 完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法等は、監督員の指示による。 ○案内図及び配置図 ○平面図 ○立面図 ○断面図 [1.8.1～1.8.3] ○仕上表 ○建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ※竣工図 (A1 2 部 A3 2 部) ○CADデータ		
14 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。		
15 工事完成写真	※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 2 部		
16 工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(平成30年版)」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数 1 部		
17 設備工事との取合い	1 〇追加特記 6 「工事区分表」による。		
2 1 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル ・防音シート [2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲：		
2 2 監督員事務所等	・監督員事務所 ・10 ・20 ○35 ・65 ・ m <sup>2</sup> 程度を設ける。 [2.4.1] ・仮設事務所の中に監督員用空間を m <sup>2</sup> 程度確保する。 ○監督員が使用できる備品として、下記のことを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ○保護帽 3 ケ ○雨具 3 着 ○長靴 3 足 ○安全帯 3 組		
3 工事用水	構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・無償)		
4 工事用電力	構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・無償)		
5 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。		
6 足場	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、 [2.2.1] 同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ※枠組足場(設置範囲：・工事に必要な範囲 ・ ) 内部足場 ○梁台足場 ○枠組棚足場		
7 養生	既存部分の養生 ※ビニールシート、合板等 [2.3.1] 既存家具等の養生 ※ビニールシート等 ・ [2.3.1] 備品等の移動 [2.3.1] ※監督員の指示による施設内移動とする。(対象備品の移動先は、図示による) ・行わない		
8 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1] 種 別 下 地 仕上げ材(厚さmm) 充填材(mm) 塗 装 ・A種 ※軽量鉄骨 ※せつこうボード(※9.5 ・ ) 厚さ( ) ※無し ※B種 ・木造 ・合板(※9 ・ ) 厚さ( ) ※片面 ・C種 単管 防炎シート 厚さ( ) 厚さ( ) 仮設扉 ※木製扉 合板張り程度 ・行う ※無し ・ 厚さ( ) ・片面		
3 1 施工数量調査	下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 調査範囲 屋根、庇等の防水改修工事の対象となる既存コンクリート面、タイル面等 調査内容 ひび割れの幅及び長さを屋根面等に図示する。 浮き部分、欠損部を屋根面等に表示する。また、脆弱部を調査する。 部分的な水はけ不良部や勾配不良の箇所を屋根面等に表示する。	[1.5.2]	
3 2 防水の保証等	※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、市が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする。 工 法 種 別 施 工 箇 所 保 証 期 間 ○L4X X-1 絶縁 工法 屋上平部 1 〇年間 ○L4X X-2 密着 工法 屋上立上り 1 〇年間 ○ POS 工法 屋上平部 / 屋上立上り 1 〇年間		
3 アスファルト防水	[3.1.4][表3.1.1][3.3.3][表3.3.3～表3.3.10] 防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水工法の種別 保護 防水 ・ P 1 B ・ P 1 B I ・ T 1 B I ・ P 2 A I ・ P 2 A ・ M 4 C ・ P O D ・ M 3 D ・ P O D I ・ M 3 D I ・ M 4 D I 屋内 防水 ・ P 1 E ・ P 2 E アスファルトの種類 ※3種 ・ [3.2.2][3.3.2] ・二重ドレンの設置(・POD工法・PODI工法) [3.2.5] ・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去(M4C工法、M4DI工法) [3.2.6] ・粘着層付改質アスファルトケフィング 厚さ(mm) ※1.5以上 ・ [3.3.2] ・改質アスファルトケフィング 厚さ(mm) ※3.0以上 ・ [3.3.2] ・断熱材(屋根保護又は露出防水断熱工法) [3.3.2] 厚さ(mm) ※25 ・ 材質 屋根保護防水断熱工法 ・押出法※リステンフォーム断熱材3種bA3c層付き(JIS A 9521 建築用断熱材)  材質 屋根露出防水断熱工法 ・ビーズ法※リステンフォーム断熱材 ・押出法※リステンフォーム断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材(2種1号又は2号の場合、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの) ・※リステンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材		
3 3 アスファルト防水	乾式保護材の材料 [3.3.2] 種 類 寸法(mm)：厚さ×幅 摘 要 ・押出成型タイル板 ※I 類 × ※15 × ・無石綿に限る (窯業系バレル) ・II 種 × ・金属複合板 ※12 × コケルト仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ・c種 [3.3.5][表8.1.5] [3.1.4][表3.1.1][3.4.2][表3.4.3][表3.4.1～表3.4.3] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 シートの厚さ(mm) 密着 工法 ・M4AS ・AS-T1 下層用 ※2.5以上 ・ 上層用 ※3.0以上 ・ ・AS-T2 ・AS-J2 ※3.0以上 ・ ・M3AS ・POAS ・AS-T3 下層用 ※1.5以上 ・ 上層用 ※3.0以上 ・ ・AS-T4 ・AS-J1 ※2.0以上 ・ ・AS-J3 ※3.0以上 ・ 断熱 工法 ・M3ASI ・M4ASI ・POASI ・ASI-T1 下層用 ※1.5以上 ・ 上層用 ※3.0以上 ・ ・ASI-J1 下層用 ※1.5以上 ・ 上層用 ※2.0以上 ・ ・二重ドレンの設置(POAS工法及びPOASI工法の場合) [3.2.5] ・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去(M4AS工法及びM4ASI工法) [3.2.6] ・断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ・材質 ・ [3.4.2] ・下地に部分的に密着又は接着を行う工法 ※製造所の標準仕様 ・ [3.4.4] [3.1.4][表3.1.1][3.5.2][3.5.3][表3.5.1]～[表3.5.3] 防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水層の種別 備 考 (厚さ(mm)) 脱気装置 二重ドレン ○POS工法 屋上平部、立上り ・S-F1(※1.2 ・ ) POS工法 POS工法 ・S-F2(※2.0 ・ ) ・設ける ・設ける ・S-M1(※1.5 ・ ) ・S-M2(※1.5 ・ ) ・S-M3(※1.2 ・ ) ・S3S工法 ・S-F1(※1.2 ・ ) ・設ける ・S-F2(※2.0 ・ ) ・M4S工法 ・S-M1(※1.5 ・ ) ・S-M2(※1.5 ・ ) ・S-M3(※1.2 ・ ) 断熱 工 法 ・ POS I ・ S 4 S I ・ S I - F 1 ( ※ 1 . 2 ・ ) POSI工法 POSI工法 ・ S I - F 2 ( ※ 2 . 0 ・ ) ・ 設ける ・ 設ける ・ S I - M 1 ( ※ 1 . 5 ・ ) ・ S I - M 2 ( ※ 1 . 5 ・ ) ・ S I - M 3 ( ※ 1 . 2 ・ ) ・ S 3 S I ・ S I - F 1 ( ※ 1 . 2 ・ ) ・ 設ける ・ S I - F 2 ( ※ 2 . 0 ・ ) ・ S I - M 1 ( ※ 1 . 5 ・ ) ・ S I - M 2 ( ※ 1 . 5 ・ ) ・ M 4 S I ・ S I - M 1 ( ※ 1 . 5 ・ ) ・ S I - M 2 ( ※ 1 . 5 ・ ) ・ P 1 S 工法 ・ S - C 1 ( ※ 1 . 0 ・ ) 仕上げ塗料塗り (S-F1, SI-F1, S-M1, SI-M1の場合) ・シムナー ・ケラー 新規防水層の使用分類 ※非歩行 ・軽歩行 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ・材質 ・ [3.5.2] プレキャストコンクリート部材下地 [3.5.4] 目地処理(接着工法) ※図示 入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う(幅 mm程度)		
6 塗膜防水	[3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2] 防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水層の種別 仕上げ塗料塗り ・POX ・L4X 屋上平部、立上り ○X-1 ○※X-2 ○ケラー ・P1Y ・P2Y ※Y-2 ・二重ドレンの設置(POX工法の場合) [3.2.5] ・既存塗膜防水層表面仕上げ塗装の除去(L4X工法の場合) [3.2.6] ・保護層 ・設ける(P1Y、P2Y工法の場合) [3.6.3] [3.3.3][表3.3.8][表3.3.9][3.4.3][表3.4.2][表3.4.3][3.5.3][3.6.3] 種 類 仕 様 材 料 ○平面部脱気型 ※製造所標準仕様(立上り型) ※7M3錫造製 ・ステンレス製 ・立上り部脱気型 ※製造所標準仕様 ・ ※設置数量は製造所指定数量による。		
7 脱気装置			
株式会社 富所設計 電話 025-783-3150 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(リ) 第 1160 号 管理建築士 一級建築士 第 114217 号 富 所 清 治		PROJECT 統合石打小学校大規模改修工事 TITLE 建築工事仕様書(1)	
		DATE 2021/03 SCALE -	N... A-01







8-2	耐震改修工事	1 コンクリートの種類及び強度、品質	レディー・マーストコンクリートの類別 ※Ⅰ類・Ⅱ類 普通コンクリートの設計基準強度 ※普通コンクリートの強度は構造標準図による コンクリートの仕上りの平たんさ a種・b種・c種	[8.1.3][表8.1.3][8.1.4][8.1.5]	14 連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm <sup>2</sup> 以上 ・3000N/mm <sup>2</sup> 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度 ・2.00×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上 工法 ※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 仕上げの除去 ※行う・行わない 柱及び梁の隅角部の面取り ※工法の評価内容による ・	[8.2.13][8.2.13]	27 耐火被覆	耐火被覆	種別 ・耐火材 吹付け ・乾式吹付け ・半乾式吹付け ・湿式 ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・張り ・耐火塗料 耐火性能 ※建築基準法の規定に基づく所定の性能を有すること。	[8.18.2][8.18.3]	9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の処理	※建築物の解体工事、アスベスト除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(平成26年3月31日付け 技術上の指針公示第21号) ・石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2.20版] 平成30年3月(厚生労働省) ・建築物の解体工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(建設労働災害防止協会) ・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014.6(環境省水・大気環境局大気環境課) ・石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について(平成29年5月30日付け 環水大発第1705301号)		
		2 鉄骨製作工場	・監督員の承諾する製作工場 ・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた ㈱日本鉄骨評価センター又は ㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場	[8.1.5]	15 鉄筋の継手	継手工法 継手方法 呼び名(mm) 適用箇所 ・ガス圧接 ・重ね継手 ・ 柱の配筋 帯筋の組立ての形 ※各部配筋参考図2.2による 種別 ※H形・W-I形 ・図示	[8.2.13][8.2.4.6][8.3.4][各部配筋参考図]	28 溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合	摩擦面の処理 ※プラスト処理 ・りん酸塩処理	[8.20.5]	2 石綿含有吹付け材の除去	除去工法 ※改修標仕9.1.3による。	[9.1.3]	3 石綿含有保温材等の除去	除去工法 ※粉じん飛散抑制剤等による湿润化の後、手ばらしで行う ・掻き落とし・破砕・切断等による除去を行う。 ※9.1.3【石綿含有吹付け材の除去】により、作業場を隔離する。	[9.1.4]
8-2	耐震改修工事	3 施工管理技術者	※適用する	[8.1.6]	16 鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 ・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。	[8.3.5][表8.3.6]	29 既存コンクリート面の目荒し	目荒らしの程度 ※柱・梁面 打継ぎ面の15～30%程度 ※増打ち壁増設 既存壁打継ぎ面の10～15%程度 ※平均深さ2～5mm(最大5～7mm)程度の凹部を施す ・監督員の指示による	[8.21.3]	3 石綿含有成形板の除去	養生等 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。 石綿含有成形板の種類	[9.1.5]	4 石綿含有成形板の除去	養生等 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。 石綿含有成形板の種類	[9.1.5]
		4 鉄筋の種類	種類の記号 呼び名(mm) ・SD295A ・SD345 ・ ・D16以下 ・D19以上	[8.2.1][表8.2.1]		現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのジョイントの種類 ※「6 あと施工アンカーの材料」による 間隔(mm) ※500×500 図示	[8.3.7]	30 増設・補強工事のコンクリートの打込み	工法の種類 ※流し込み工法 ・圧入工法	[8.21.8][8.23.5]	5 除去した石綿等の処分等	除去した石綿等の処理 ※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分 ・中間処理 ・アスベストの中間処理に適用する溶融施設において溶融処理 ・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理	[9.1.3][9.1.4][9.1.5]	6 断熱アスファルト防水改修	工法の種類 施工箇所 ・P1BI ・P2AI ・PDI ・T1BI ・M3DI ・M4DI	[9.2.3]
8-2	耐震改修工事	5 溶接金網	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法(たて×よこ) ※100×100 ・ ・鉄線の径または呼び(mm) ※6.0 ・	[8.2.2]	17 打増し壁に用いるジョイント	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのジョイントの種類 ※「6 あと施工アンカーの材料」による 間隔(mm) ※500×500 図示	[8.3.7]	31 柱補強	溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む 図示	[8.23.5]	7 外断熱改修	既存外壁材の除去 ・行う・行わない 下地面の清掃 ・行う・行わない 断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合 ※4.1.4(外壁改修工法の種類)による 建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 不陸等の下地調整 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 外装材製造所の仕様による 通気層 設ける(厚さ: mm) 設けない 外装材の外壁への取付け 図示	[9.3.2]	8 ガラス改修	本特記仕様 5 建具改修 17 ガラスによる	[9.4.2]
		6 あと施工アンカーの材料	あと施工アンカーの材料 ・金属拡張アンカー ※接着系アンカー かつ 以下の種類 ※有機系	[8.2.4]		圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験	[8.3.8]	32 スリットの施工	幅 ※30mm～50mm程度 ・長さ ※300mm以上 形状 ※完全スリット(※既存鉄筋切断・既存鉄筋を 本残す) ・部分スリット(既存コンクリートを厚さ50mm程度残す) 撤去部の補修 ・撤去材と同一材 ※無収縮モルタル(圧縮強度30N/mm <sup>2</sup> 以上)	[8.25.2]	9 断熱・防露改修	断熱材打込み工法の材料 ・「ビーズ」法※リシレンフォーム断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・押出法※リシレンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材 ・ポリイソシアネートフォーム断熱材 断熱材現場発泡工法の材料 ※A種1又はA種1Hとし、難燃性を有するものとする。吹付け厚さ mm	[9.5.2][9.5.3]	10 屋上緑化改修	工法 ※「屋根根基材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を改修標仕1.2.2[施工計画]で定める。 かん水装置 ・設置する(図示による) 設置しない 既存保護層等の撤去 ・行う・行わない 枯植償及び枯損処理 ※引渡しの日から1年間 年間 年 月 日まで	[9.6.3][9.6.3][9.6.3][9.6.4]
8-2	耐震改修工事	7 セメントの種類	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シラセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・普通エコセメント ・高炉セメントB種( ) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水和熱 7 d 352J/g以下 28 d 402J/g以下	[8.2.5][表8.2.3]	18 圧接完了後の試験	穿孔部埋込み配管等の検査方法 ※電磁波レーダー法 ・電磁誘導法 ・X線法	[8.12.4]	9 1 石綿含有建材の処理	施工調査 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 ・ 貸与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う・行わない 分析方法 材料名 定性分析方法 定量分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4 ・箇所 ・箇所 ・箇所 ・箇所 石綿粉じん濃度測定 ・行う・行わない 測定時期、場所及び測定点 適用測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数(各処理作業室ごと) ・測定1 処理作業前 処理作業室内 ・測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 ・測定4 集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合) ・測定5 出口吹出し風量1m/s以下の位置各1点 ・測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ・測定7 処理作業後 処理作業室内 ・測定8(隔離シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 測定方法 ・自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 粉じん相対濃度(ダスト粉じん)計、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リミテッドモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称 マンダレンフィル直径(mm) 試料の吸引流量(L/min) 試料の吸引時間(min) ・測定4 ・測定5 25 5 30 ・ ・測定 ・測定47 10 120 ・測定47 10 240 ・測定	[9.1.1]	7 外断熱改修	既存外壁材の除去 ・行う・行わない 下地面の清掃 ・行う・行わない 断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合 ※4.1.4(外壁改修工法の種類)による 建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法				



[illegible]

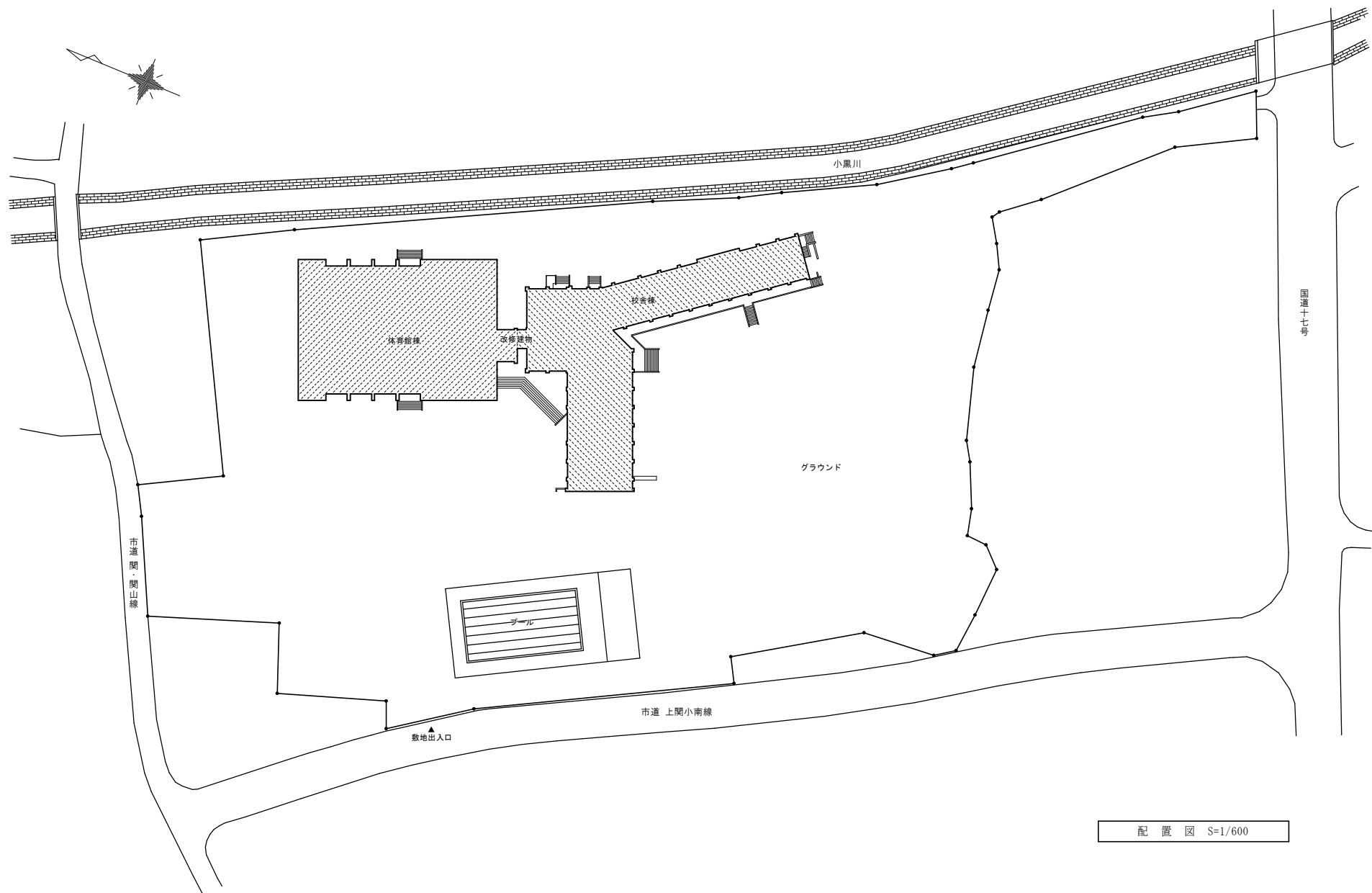
○追加特記 部・課共通事項	※現場代理人の常駐義務緩和に関する特記仕様書		○追加特記 部・課共通事項	※請負工事における電子納品に関する特記仕様書		○追加特記 部・課共通事項	※地域保全型工事（建築一式工事、電気工事及び管工事）に係る特記仕様書		○追加特記 部・課共通事項	※建設現場の「快適トイレ」設置の特記仕様書	
	①現場代理人の兼任 ・ 認めない ・ 認める（ ・ 金額上限なし ・ 兼任工事との合計額が7,000万円未満であること） 指定工事がある場合 石打地区児童クラブ移転工事			1 電 子 納 品 ・ 実施する ※実施しない 新潟県CALS/EC整備行動計画（アクションプログラム）に基づく電子納品対象工事は、以下の各項により履行するものとする。 1 受注者は、契約期間中に監督員と協議を行う場合、新潟県CALSシステム（以下「CALSシステム」という。URL：http://www.niigata.pref.cals-ec.jp/）を利用して電子協議 <sup>(注1)</sup> を行わなければならない。 2 受注者は、CALSシステムを利用して、監督員との協議に従い工事完成図書の一部について、電子納品 <sup>(注2)</sup> を行わなければならない。 3 工事完成図書の提出方法および提出部数については、電子成果品としてCD-R 2部（枚）および紙による成果品として1部納品するものとする。なお、電子成果品のうち、「新潟県CALSシステムで交換された書類（打合せ簿等）」、「写真」、「参考図」については、電子成果物のみの納品とするが、それ以外の書類を電子成果品にて納品した場合は、紙による納品も追加するものとする。 4 受注者は、CALSシステムを利用して電子協議および電子納品を行うため、インターネットが利用できる機器および電子納品のデータを作成するための機器を用意しなければならない。 5 監督員が受注者に口頭・電話・電子メール等で指示等を行った場合、後日CALSシステムにより監督員と受注者の両者が指示内容を確認するものとする。 6 受注者は、CALSシステムの利用料を、新潟県よりCALSシステム運営業務を受託している者に支払うこと。なお、CALSシステム利用料として、新潟県CALSシステム利用登録料を別途積上げ計上している。 7 CALSシステムの利用料を支払った時は、すみやかに監督員に支払の事実を報告し確認を受けること。また、支払いの事実を証明する書類（銀行振り込みの写し等）を工事完了時に提出すること。 8 上記以外の電子協議および電子納品に関する詳細な事項については、受発注者協議にて定めるものとする。			①地域域保全型工事の適用 ②地域域保全型工事の実施 ①対象工事である 本工事は、 _____の管内として扱う。 ※対象工事でない ①下請負する場合 (1) 工事の品質確保、安全性の確保、公正な契約締結の促進及び適切な労働条件の確保を図るため、下請けは二次までとする。 (2) 工事を落札した建設業者（以下「直接元請負人」という。）は、原則として、管内に本店又は支店を有する下請負人へ下請負すること。また、再下請負する場合も同様とする。ただし、これによりがたい場合は、発注者と協議の上、決定するものとする。 (3) 直接元請負人は、(4)及び(5)の条件の履行の確保を図るため、工事現場毎に、一次下請負人及び二次下請負人を指導する責任者（以下「下請負人指導責任者」という。）を配置し、下請負人指導責任者配置届（様式1）を工事着手届に併せて監督員へ提出すること。 ただし、下請負人指導責任者は現場代理人と兼ねることができる。 (4) 直接元請負人は、自社及び下請負人に対して、一括下請負の禁止、建設工事の現場における専任技術者の設置、適切な下請取引の確保に係る建設業法の規定を遵守させること。また、「施工体制チェックリスト」（様式2）、「建設業法令遵守ガイドライン・チェックリスト」（様式3）により、建設業法令遵守状況を点検し、工事が完了したときは、発注機関へ「法令遵守状況報告書」（様式4）を提出すること。 (5) 直接元請負人は、技能労働者の労働条件の改善を図るため、一次下請負人及び二次下請負人に対し、社会保険・労働保険・建退共等への加入について指導すること。また、賃金については、公共工事設計労務単価と比べて合理的理由なしに著しく下回ることのないよう指導すること。 (6) 直接元請負人は、請け負った工事が技能労働者の労務賃金に係る報告の対象に選定されたときは、自社及び工事を施工する下請負人別に作成した「技能労働者の労務賃金に係る報告書」（様式5）を工事完了時に発注機関へ提出すること。なお、報告対象工事は、契約締結後、発注機関が選定し、直接元請負人に通知する。 (7) 直接元請負人は、下請負人に対して建設業退職金共済証紙を適正に交付するとともに、工事が完了したときは、発注機関へ「建設業退職金共済証紙購入状況報告書（地域保全型型工事用）」（様式6ー1及び6ー2）を提出すること。 (8) 直接元請負人は、県の前金払い・中間前金払い・部分払い制度及び「地域建設業経営強化融資制度」などを積極的に利用することにより、下請負人の資金需要に対し、的確かつ迅速に対応し、請負代金等を巡る紛争が生じないように努めること。 (9) 直接元請負人は、下請契約を締結したときは、施工体制台帳及び施工体系図を作成し、その写しを発注機関へ提出すること。			1 建設現場の「快適トイレ」設置の適用 ・ 本工事は、建設現場に設置する「快適トイレ」の試行案件である。 (1) 試行にあたっては『建設現場の「快適トイレ」設置の試行実施要領』に基づき行うものとする。 (2) 快適トイレの手配が困難である場合は、監督員と協議の上、本特記仕様書の対象外とすることができる。 ・ 本工事は、建設現場に設置する「快適トイレ」（希望型）の試行案件である。 (1) 受注者は、施工計画書作成前、快適トイレ設置希望の有無について、打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。 (2) 試行にあたっては『建設現場の「快適トイレ」設置の試行実施要領』に基づき行うものとする。 ・ 本工事は、建設現場に設置する「快適トイレ」の試行案件でない。  ※試行実施要領は新潟県ホームページから入手できる。 (http://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html)	
	※主任技術者又は監理技術者の専任に関する特記仕様書			※県内調達に関する特記仕様書			※埋設配管・配線切断事故防止措置等に関する特記仕様書				
	①専任を要しない期間 専任を要しない期間は、以下のとおりであり、具体的な期間はあらかじめ特記仕様書に明記する場合を除き、請負契約締結後、監督員との打ち合わせにて工事打合せに定める。 1. 現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間をいう。） 2. 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し、事務手続き、後片付け等の期間。 3. 現場施工着手後の期間 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により工事を全面的に一時中止する期間や、その他、専任の必要がないと認められる期間。 4. 工事カルテの登録変更 上記1、3で定める専任を要しない期間は、受注者の要請があった場合に定めるものとし、専任する期間の変更が生じた毎に登録変更の手続きを行うこと。			2 電子検査 ・ 実施する ※実施しない 電子検査に係わる詳細な事項については、別途県が公表する <sup>(注3)</sup> 「新潟県電子検査実施要領」による。 (注1)電子協議とは、指示・承諾・協議・提出・提示・報告・通知等を、電子化された書面及びその他資料（図書等）にて行うことをいう。 (注2)電子納品とは、工事完成図書等の最終成果を電子成果品として納品することという。ここでいう電子成果品とは、別途県が公表する <sup>(注3)</sup> 「新潟県策定の「新潟県電子納品実施要領」に基づいて作成された電子データを指す。 (注3)新潟県CALS/ECホームページにて公表する。 https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/gijutsu/1197303328963.html			2 下請負しない場合 (1) 直接元請負人は、技能労働者の賃金が公共工事設計労務単価と比べて合理的理由なしに著しく下回ることのないように、請け負った工事が技能労働者の労務賃金に係る報告の対象に選定されたときは、「技能労働者の労務賃金に係る報告書」（様式5）を工事完了時に発注機関へ提出すること。なお、報告対象工事は、契約締結後、発注機関が選定し、直接元請負人に通知する。 (2) 1件あたりの契約金額が5百万円以上のときは、「新潟県建設生産システム合理化指導要綱」に基づき、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」を提出すること。  3 報告書の様式 各種報告書等は、新潟県ホームページから最新のものをダウンロードすること。 掲載場所 http://www.pref.niigata.lg.jp/dobokukanri/1194797758071.html			1 「週休2日促進工事」の適用 ・ 本工事は、「週休2日促進工事（発注者指定方式）」の試行対象案件である。受注者は、受注後速やかに『営繕工事における週休2日促進工事試行実施要領』に基づき、工事着手前に週休2日の取得計画が確認できる「現場開所予定日」（分離開注工事の場合は「現場開所（現場休息）の予定日」）を記載した「実施工程表」等を作成し監督員の確認を得た上で、週休2日に取組むものとする。 工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度「実施工程表」等を提出するものとする。  ※ 本工事は、「週休2日促進工事（受注者希望方式）」の試行対象案件で、『営繕工事における週休2日促進工事試行実施要領』に規定する「4週8休以上」を前提に補正係数1.05により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、発注者は、週休2日の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合、その達成状況に応じて労務費を補正し、請負代金額を変更する。 受注者は、受注後速やかに「週休2日促進工事」希望の有無について、打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。 協議により試行する場合は、『営繕工事における週休2日促進工事試行実施要領』に基づき行うものとする。  その他詳細は、試行実施要領（令和2年7月20日以降適用）を確認すること。  ※試行実施要領は新潟県ホームページから入手できる。 (http://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html)	
	※設計変更及び工事一時中止に係る特記仕様書			2 専任を要しない期間の指定 ・ あらかじめ明記する場合は、以下の期間とする。			3 報告書の様式 各種報告書等は、新潟県ホームページから最新のものをダウンロードすること。 掲載場所 http://www.pref.niigata.lg.jp/dobokukanri/1194797758071.html			※週休2日促進工事の特記仕様書	
	設計変更及び工事一時中止については、建設工事請負基準約款第19条～第25条によるところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事設計変更ガイドライン」の準用、及び「工事一時中止に係るガイドライン」によることとする。						1 対象作業 既存建築物の躯体内の埋設配管・配線を切断する恐れのある作業 あと施工アンカー、カッター入れ、はつり、解体、コア抜き等 なお、地下の既設配管等の安全確保は改修工事標準仕様書（建築工事1.3.7(d)、電気設備工事1.3.5(d)、機械設備工事1.3.5(e)）による。			2 事故防止措置等 ① 事前調査 既存図面及び施設管理者からの聞き取りにより、埋設配管・配線の位置を事前に確認すること。 ② 作業前調査 非破壊検査（電磁波レーダー法、電磁誘導法、X線法）により、埋設配管・配線の位置出しを行うこと。 ③ 迂回措置 上記①～②によっても埋設配管・配線の位置が確認出来ない場合は、切り回し等の迂回措置を検討すること。 ④ 被害防止措置 (7)原則、工事範囲内の各種設備の供給は、既存ブレーカー、バルブ等で停止すること。 (4)工具は、メタルセンサー付き、またはメタルセンサー付き電工ドラムに接続し使用すること。 (5)重要機器の配管・配線を切断する危険がある場合は、使用配管・配線の迂回や発電機設置等による措置を行うこと。	
	※排ガス対策型建設機械等に関する特記仕様書			2 専任を要しない期間の指定 ・ あらかじめ明記する場合は、以下の期間とする。			3 報告書の様式 各種報告書等は、新潟県ホームページから最新のものをダウンロードすること。 掲載場所 http://www.pref.niigata.lg.jp/dobokukanri/1194797758071.html			※週休2日促進工事の特記仕様書	
	本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（最終改正 平成22年3月18日付け国総施第291号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日付け国総施第215号）」に基づき指定された排ガス対策型建設機械を使用するものとする。 ただし、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出が浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいは建設技術審査証明事業により評価された排出が浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。 ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。						1 対象作業 既存建築物の躯体内の埋設配管・配線を切断する恐れのある作業 あと施工アンカー、カッター入れ、はつり、解体、コア抜き等 なお、地下の既設配管等の安全確保は改修工事標準仕様書（建築工事1.3.7(d)、電気設備工事1.3.5(d)、機械設備工事1.3.5(e)）による。			2 事故防止措置等 ① 事前調査 既存図面及び施設管理者からの聞き取りにより、埋設配管・配線の位置を事前に確認すること。 ② 作業前調査 非破壊検査（電磁波レーダー法、電磁誘導法、X線法）により、埋設配管・配線の位置出しを行うこと。 ③ 迂回措置 上記①～②によっても埋設配管・配線の位置が確認出来ない場合は、切り回し等の迂回措置を検討すること。 ④ 被害防止措置 (7)原則、工事範囲内の各種設備の供給は、既存ブレーカー、バルブ等で停止すること。 (4)工具は、メタルセンサー付き、またはメタルセンサー付き電工ドラムに接続し使用すること。 (5)重要機器の配管・配線を切断する危険がある場合は、使用配管・配線の迂回や発電機設置等による措置を行うこと。	
	機 種			備 考			⑤ その他 配管工事のコア抜きに代えて、既存スリープ廻りを手ハツリするなど、現地の状況を確認した上でリスクを回避する工法があれば、採用を検討すること。			3 監督員の承諾 対象作業のある工種は工種別施工計画書に事故防止措置等を記載すること。 なお、事故防止措置等の費用は変更協議の対象とする。	
	一般工用建設機械 ・ バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・ 発電発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・ 油圧ユニット類 { ディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの 油圧ハム・パイ ロンパ・油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースガ、オーケージン <sup>①</sup> 掘削機、ハースサレーション <sup>②</sup> ロッド <sup>③</sup> リル、地下連続壁施工機、全回転型オーケージン <sup>④</sup> 掘削機 ・ ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ ホイールクレーン ※上記建設機械は、低騒音・低振動型とする。			ディーゼルエンジン（エンジン）出力7.5KW以上260KW以下を搭載した建設機械に限る。			3 監督員の承諾 対象作業のある工種は工種別施工計画書に事故防止措置等を記載すること。 なお、事故防止措置等の費用は変更協議の対象とする。			4 事故発生時の報告 埋設配管・配線を誤って切断した場合は、直ちに作業を中止し、監督員に報告し、指示を受けること。	

株式会社 富所設計				電話 025-783-3150		PROJECT		統合石打小学校大規模改修工事		DATE		2021/03		No.	
一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号（ウ） 第 1160 号				管理建築士 一級建築士 第 114217 号 富 所 清 治		TITLE		建築工事仕様書（共通事項）		SCALE		-		A-07	





付 近 見 取 図

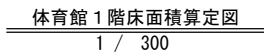
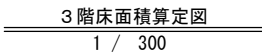
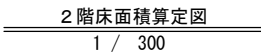
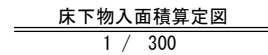
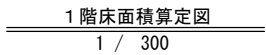


配置図 S=1/600

■ 設 計 概 要			■ 外 部 仕 上 表			■ 特 記 事 項														
工 事 名 称		統合石打小学校大規模改造工事		棟	部 位	現 況 仕 上 ・ 下 地	改 修 内 容		改 修 後 仕 上 ・ 下 地	備 考	塗装工事仕様									
工 事 場 所	新潟県 南魚沼市 石打 2 番地 1		既設の部材				新設	再取付			塗装	塗装の種別	下地処理							
建 物 用 途	小 学 校 （ 校 舎 棟 ・ 体 育 館 ）		撤去	取外し			塗装替え <sup>※1</sup>	新規	下地の種類 <sup>※2</sup>	下地調整 <sup>※3</sup>	錆止め <sup>※4</sup>									
工 事 種 別	改 修 工 事																			
都 市 計 画 区 域	都市計画区域内																			
用 途 区 域	第一種住居地域 / 近隣商業地域																			
防 火 区 域	準防火地域 / 法 2 2 条 指定区域																			
その他の地域地区	第二種観光地区																			
敷 地 面 積	1 9 9 0 6 . 0 0 m <sup>2</sup>																			
構 造 ・ 階 数	【校舎棟】 R C 造 3 階 建（塔屋 1 階）		【体育館棟】 R C 造 2 階 建（屋根 S 造）																	
建 築 面 積	1 3 9 5 . 1 6 m <sup>2</sup>		1 3 9 5 . 4 8 m <sup>2</sup>																	
延 床 面 積	3 2 3 6 . 2 1 m <sup>2</sup>		1 6 9 3 . 5 0 m <sup>2</sup>																	
最 高 の 高 さ	1 7 . 3 0 0 m		1 4 . 3 0 0 m																	
最 高 の 軒 高 さ	1 2 . 6 0 0 m		1 1 . 8 0 0 m																	
■ 改 修 工 事 概 要			校 舎 棟			改 修 内 容			改 修 後 仕 上 ・ 下 地			備 考								
【校舎棟】	■ 外 部		■ 外 部		校 舎 棟	屋 上	押えコンクリート 金ゴテ仕上げ（A種） / ポリエチレンフィルム敷 t=0.15 アスファルト防水（A-1工法） / コンクリート金ゴテ下地（B種）		下地補修 + シート防水 絶縁工法 絶縁工法（平場・立上り） 手摺設置部：下地補修 + ウレタン塗膜防水 <sup>※5</sup>		防水装置は雨水逆流防止装置付とし、水上側に設置（1か所/100㎡以下）									
	■ 内 部		■ 内 部				伸縮目地W=25 塩ビ製 ルーフトレン：ステンレスOKドレン φ125・φ100 アルミ製豆木 H=300（既製品） アルミ製水切り H=133 水切り部シーリング：ポリサルファイド系 10×10 手摺：耐候性鋼パイプ加工 ウェザーコートプレバレン処理		絶縁工法（平場）密着工法（立上り・手摺基礎） 樹脂モルタル充填 t=25mm + バックアップ材 下地補修 + 改修用ドレン（タテ型） + 専用ストレーナー											
	■ 外 部		■ 外 部				床：磁器100角割面タイル 天井：合板（T1）t=5.5mm下地 軒天用岩綿吸音板（リブ付き）t=12mm 庇見付）アルミ t=2.0mm加工 電解着色 クリヤー仕上 シーリング：ポリサルファイド系 15×10		床：磁器100角割面タイル（欠損部補修） 現況塗膜除去 + 下地調整後 DP シーリング：MS-2 15×10											
	■ 内 部		■ 内 部				床：モルタル金ゴテ目地切													
	■ 外 部		■ 外 部				床：防水モルタル金ゴテ目地切 壁：合板型枠打放しコンクリート 吹付タイル 天井：t=5.0mm フレキシブルボード張り 多彩リシン吹付 手摺：耐候性鋼 ウェザーコートプレバレン処理		天井直線口：アルミ製 φ450											
	■ 内 部		■ 内 部				白ガス管 外部：周囲発熱スチロール断熱材 t=50mm カラーステンレス t=0.3mm ラッキング 内部：グラスウール保温テープ巻き t=50mm（ボイラー室内 t=25mm） 支持金物：ステンレス 100×12 #750													
	■ 外 部		■ 外 部				折板構造 H=175mm t=1.2mm 耐候性鋼 ウェザーコートプレバレン処理 けらば：R2.5 塩化ビニル系 雪止アングル：耐候性鋼 ウェザーコートプレバレン処理 L=75×75×6 側溝部：シート防水（塩化ビニル系）t=2.0mm ルーフトレン：ステンレスOKドレン φ125 葺材厚度概：フッ素アルミ t=0.8mm 角ハゼ定尺工法 横葺き（R2スラブ用システム屋根）		真き板：カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 立平葺き（カバー工法） 下地調整後 錆止め塗装 + DP 雪止めアングル：L=50×50×6 溶融亜鉛メッキ品 改修用ドレン φ125		横葺きは【撤去】【新設】		DP 1級 S							
	■ 内 部		■ 内 部				合板型枠打放しコンクリート 吹付タイル（RE）													
	■ 外 部		■ 外 部				合板型枠打放しコンクリート 吹付タイル（RE）													
	■ 内 部		■ 内 部				合板型枠打放しコンクリート シリコン塗													
【体育館棟】	■ 外 部		■ 外 部		体 育 館	外 部 階 段	床：モルタル金ゴテ目地切 下流し）ステンレスマット / 鉄板用側溝蓋 手摺）合板型枠打放しコンクリート シリコン塗													
	■ 内 部		■ 内 部				白ガス管 125A 保温 t=50mm テープ巻き塗装 カラーステンレス t=0.3mm ラッキング（FL=3,000または、天井まで） 支持金物：L=40×40×3 ㏍型													
	■ 外 部		■ 外 部				床下換気孔 L=30×30×4 丸鋼φ13 溶融亜鉛メッキ（一部アルミ固定ガラリ） 蓄熱ピット）マンホール φ600													
	■ 内 部		■ 内 部				押えコンクリート 金ゴテ仕上げ（A種） / ポリエチレンフィルム敷 t=0.15 アスファルト防水（A-1工法） / コンクリート金ゴテ下地（B種） 伸縮目地W=25 塩ビ製 ルーフトレン：ステンレスOKドレン φ100 アルミ製豆木 H=350（既製品） アルミ製水切り H=142 水切り部シーリング：ポリサルファイド系 10×10 エキスパンションジョイント：ステンレス製		下地補修 + シート防水 絶縁工法 絶縁工法（平場・立上り） 樹脂モルタル充填 t=25mm + バックアップ材 下地補修 + 改修用ドレン（タテ型） + 専用ストレーナー											
	■ 外 部		■ 外 部				t=5.0mm フレキシブルボード目透し張り 吹付タイル（RE）													
	■ 内 部		■ 内 部				合板型枠打放しコンクリート 吹付タイル（RE）													
	■ 外 部		■ 外 部				合板型枠打放しコンクリート シリコン塗													
	■ 内 部		■ 内 部				床：モルタル金ゴテ / ノンスリップタイル 蹴蹴マット）アルミハードマット t=16mm 1500×700 遮湿め 200×450×H250 鉄板製側溝蓋 t=15mm 250×500 蹴蹴洗い流し）ステンレスマット t=15mm 500×1000 遮湿め 200×450×H250		床）ノンスリップタイル（欠損部補修）											
	■ 外 部		■ 外 部				白ガス管 100A 保温 t=50mm 発熱スチロール カラーステンレス t=0.3mm ラッキング 支持金物：ステンレス t=12mm加工													
	■ 内 部		■ 内 部				蓄熱ピット）マンホール φ600													
【その他】	■ 外 部		■ 外 部		体 育 館 玄 関 部	ポーチ・階段														
	■ 内 部		■ 内 部																	
■ 特 記 事 項			※ 1 高圧水洗浄圧力は素地に支障のないよう下記による 外壁（塗膜撤去部）・・・30Mpa 屋上面・鋼板面・既存塗膜面・・・15Mpa			※ 2 塗料 凡例 SOP 合成樹脂調査塗料 DP 耐候性塗料（1級：フッ素系 2級：シリコン系 3級：ウレタン系） EP 合成樹脂エマルジョン塗料 UC ウレタン樹脂ウニス CL クリアラッカー OS オイルステイン WP 木材保護塗料			※ 3 塗装下地 凡例 S 鉄鋼面 Gal 亜鉛めっき面 W 木部 C コンクリート・モルタル SD.g 鋼製建具（亜鉛めっき面） SD.s 鋼製建具（鉄鋼面） PB 石膏ボード面他			※ 4 特記のない下地調整は R B 種とする ※ 5 特記のない錆止め処理は「仕様書（4）7.塗装改修工事」による ※ 6 下地処理工法（外壁） ・モルタル浮部分：アンカーピンニング部分エポキシ注入工法（SUS304 φ4.0 金ネジピン使用） ・クラック部分：Uカットエポキシ樹脂充填工法 ・モルタル欠損部：樹脂モルタル薄付・モルタル剛毛引き ・鉄筋露出部分：現場錆止め + アルカリ付与剥塗布 + ポリマーセメントモルタル補修			※ 7 カチオン系フィラー吹付は 1.0kg/㎡ を標準とする 微弾性フィラー吹付は 1.0kg/㎡ を標準とする			※ 8 ウレタン塗膜防水は環境対応型とする		

株式会社 富所設計		電話 025-783-3150		PROJECT		統合石打小学校大規模改造工事		DATE		2021/03		No.	
一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号（U）第 1160 号		管理建築士 一級建築士 第 114217 号 富 所 清 治		TITLE		設計概要・外部仕上表		SCALE		-		A-09	

■内部仕上表（改修部分のみ記載 その他の室は【現況のまま】）														
階	室 名 天井高	部位	現況仕上・下地	改修種別	改修後仕上・下地	備 考				特 記 事 項				
							OHP スクリーン	C. BOX	スチール黒板 アルミ製（ビュチャー・レール付）					
1 階	家庭科室 CH=3.000	天井	t=9.0mm 化粧石膏ボード張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP	【現況のまま】			【撤去】	アルミ製 （既製品）	上下式 3,600×1,800	1. 塗装略語 OP：油性調合ペイント AP：アクリル系ペイント OS：オイルステイン PU：ポリウレタン樹脂 SOP：合成樹脂調合塗料 UC：ウレタン樹脂ウニス  2. 天井点検口設置箇所：アルミ製 □450				
		壁面	t=6.0mmシナ合板目造し張り OP / モルタル金ゴテ 目地切 AP											
		巾木	ビニール巾木 H=100											
		床	モルタル金ゴテ t=2.8mm長尺塩ビシート											
	理科室 CH=3.000	その他	掲示板 / 教師用調理台 / 流し台 / ガスキャビネット / 食器棚 / 教材用棚 / 掃除用具入れ / 床下点検口											
		天井	t=9.0mm 化粧石膏ボード張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP	【現況のまま】			【撤去】	アルミ製 （既製品）	上下式 3,600×1,800					
		壁面	t=6.0mmシナ合板目造し張り OP（木造間仕切り部：t=12mm 石膏ボード下地） / モルタル金ゴテ 目地切 AP											
		巾木	ビニール巾木 H=100											
	床	モルタル金ゴテ t=2.8mm長尺塩ビシート												
	教員便所（女） CH=2.500	その他	映写スクリーン / 掲示板 / 実験台 / 流し観察台 / 教材戸棚 / 掃除用具入れ / 床下点検口											
		天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=12mm 岩綿吸音板張り	【現況のまま】			-	-	-					
		壁面	寒冷地用 リベルナ質 □100タイル張り								【現況のまま】			
		巾木	-											
	床	磁器質 □33タイル張り												
その他	和便器（設備工事） / ブース / ライニング / 掃除用具入れ	【新設】（一部）	□33 磁器タイル張り（便器改修部のみ）											
2 階	図書室 CH=3.000	床	和便器（設備工事） / ブース	【撤去】【新設】	洋便器（設備工事） / ブース	ライニング / 掃除用具入れ【現況のまま】				12カ所	11カ所	19カ所	1カ所	
		天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=12mm 岩綿吸音板張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP	【現況のまま】										
		壁面	t=5.5mm ラワン合板下地 ビニルクロス張り / モルタル金ゴテ目地切 吹付タイル（内部用）											
		巾木	ラワン H=100 OS											
	コンピュータ室 CH=3.000	床	モルタル金ゴテ下地 タイルカーペット張り（t=8.0mmフェルト）	【撤去】【新設】	下地調整：樹脂モルタル t≒5mm + t=2.0mm 長尺塩ビシート張り		-	木製	-					
		その他	掃除用具入れ / 書架 / 掲示板 / 洗面カウンター	【現況のまま】										
		天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=12mm 岩綿吸音板張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP											
		壁面	t=5.5mm 白ラワン合板目造し張り OS / モルタル金ゴテ目地切 AP											
	視聴覚教室 CH=3.100	巾木	木製 H=100 OP	【撤去】	アルミ製 （既製品）	曲面 3,600×1,200								
		床	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り（ナラ）				【撤去改修】	下地調整：RB種 + UC（A種）						
		その他	掃除用具入れ						【現況のまま】					
		天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=15mm リブ付き岩綿吸音板張り / 梁型：モルタル金ゴテ ビニルクロス張り											
	3 階	図工室 CH=3.000	壁面	t=5.5mm ラワン合板下地 ビニルクロス張り	【現況のまま】			-						木製
			巾木	ラワン H=100 OS					【現況のまま】					
床			モルタル金ゴテ下地 カーペット張り（t=8.0mmフェルト）グリッパ－工法	【撤去】【新設】						下地調整：樹脂モルタル t≒5mm + t=2.0mm 長尺塩ビシート張り				
その他			掃除用具入れ / 吊下電動スクリーン								【現況のまま】			
音楽室 CH=3.200		天井	t=9.0mm 化粧石膏ボード下地 t=15mm リブ付き岩綿吸音板張り		【現況のまま】		【撤去】	アルミ製 （既製品）	上下式 3,600×1,800					
		壁面	t=6.0mmシナ合板目造し張り OP / t=6.0mm有孔シナ合板目造し張り OP（寒冷紗裏打）	【現況のまま】										
		巾木	木製 H=100 OP							【現況のまま】				
		床	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り（ナラ） カマ置場：伊器質 □100タイル張り								【撤去改修】	下地調整：RB種 + UC（A種）		
普通教室 CH=3.000		その他	流し / 教材戸棚 / 地袋戸棚 / 掃除用具入れ / 焼物カマ置場 / 掲示板	【現況のまま】										
		天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=15mm リブ付き岩綿吸音板張り		【現況のまま】									
		壁面	t=6.0mmシナ合板目造し張り OP / t=6.0mm有孔シナ合板目造し張り OP（寒冷紗裏打）			【現況のまま】								
		廊下 CH=2.525	巾木	木製 H=100 OP			【現況のまま】		【撤去】	木製	五線入り 4,500×1,200			
床	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り（ナラ）		【撤去改修】	下地調整：RB種 + UC（A種）										
その他	ステージ / レコード戸棚 / 掃除用具入れ / 掲示板				【現況のまま】									
天井	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り（ナラ） カマ置場：伊器質 □100タイル張り					【撤去改修】						下地調整：RB種 + UC（A種）		
男子・女子便所 CH=2.400	壁面	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り（ナラ） カマ置場：伊器質 □100タイル張り	【撤去改修】	下地調整：RB種 + UC（A種）			【撤去】 （8ヶ所）	アルミ製 （既製品）	曲面 3,600×1,200					
	その他	流し / 教材戸棚 / 地袋戸棚 / 掃除用具入れ / 焼物カマ置場 / 掲示板			【現況のまま】									
	天井	t=9.0mm 石膏ボード張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP				【現況のまま】								
	壁面	t=5.5mm 白ラワン合板目造し張り OS（木造間仕切り部：t=12mm 石膏ボード下地） / モルタル金ゴテ 目地切								【現況のまま】				
体育館棟	玄関 CH=2.800～2.830	巾木	ラワン H=100 OS	【現況のまま】				-	-		-			
		床	モルタル金ゴテ t=2.8mm長尺塩ビシート			【現況のまま】								
		その他	水飲み場							【現況のまま】				
		天井	t=9.0mm 化粧石膏ボード張り									【現況のまま】		
アリーナ 床下 1FL～9.850	壁面	t=6.0mmシナ合板目造し張り OP / モルタル金ゴテ目地切 吹付タイル（内部用）	【現況のまま】		物掛け：ステンレスパイプ S環フック【新設】	-	-	-						
	巾木	ビニール巾木 H=100							【現況のまま】					
	床	モルタル金ゴテ t=2.8mm長尺塩ビシート								【現況のまま】				
	その他	水飲み場									【現況のまま】			
男子・女子便所 CH=2.400	天井	t=5.0mm フレキシブルボード目造し張り AP	【現況のまま】			-	-	-						
	壁面	寒冷地用 リベルナ質 □100タイル張り							【現況のまま】					
	巾木	-								【現況のまま】				
	床	磁器質 □33タイル張り									【撤去】【新設】	コンクリート即時金ゴテ + t=2.0mm 長尺塩ビシート貼り		
体育館棟	男子・女子便所 CH=2.400	その他	衛生陶器（設備工事） / ブース / 下流し	【撤去】【新設】	衛生陶器（設備工事） / ブース	下流し【現況のまま】								
		天井	t=9.0mm 化粧石膏ボード張り / 梁型：モルタル金ゴテ 吹付タイル（内部用）	【現況のまま】			-	-	-					
		壁面	モルタル金ゴテ 吹付タイル（内部用） / t=6.0mm シナ合板目造し張り 吹付タイル（内部用）							【現況のまま】				
		巾木	t=25mm テラゾー H=150～180								【現況のまま】			
アリーナ 床下 1FL～9.850	床	磁器100角 割面タイル	【現況のまま】									-	-	-
	その他	下足箱 / 側溝：アルミ製 200×500 t=5.0mm		【現況のまま】										
	天井	折板裏打 スーパーフェルトン現し / 鉄部：OP / 吸音パネル			【撤去改修】		鉄部（梁一部）：RB種 + 錆止め処理 + SOP							
	壁面	腰面：t=12mm 合板フロアー 壁面：t=6.0mm 有孔シナ合板 目造し張り OP						【現況のまま】						
アリーナ 床下 1FL～9.850	巾木	ラワン H=150 OSPU	【現況のまま】			-			-	-				
	床	t=12mmコンパネ下地 t=18mmナフローリング PU			【現況のまま】									
	その他	防球格子 / 防球ネット受金物 / コートライン / イス台車 / 体育器具他					【現況のまま】							
								【現況のまま】						
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま】												
			【現況のまま】											
				【現況のまま】										
		【現況のまま												

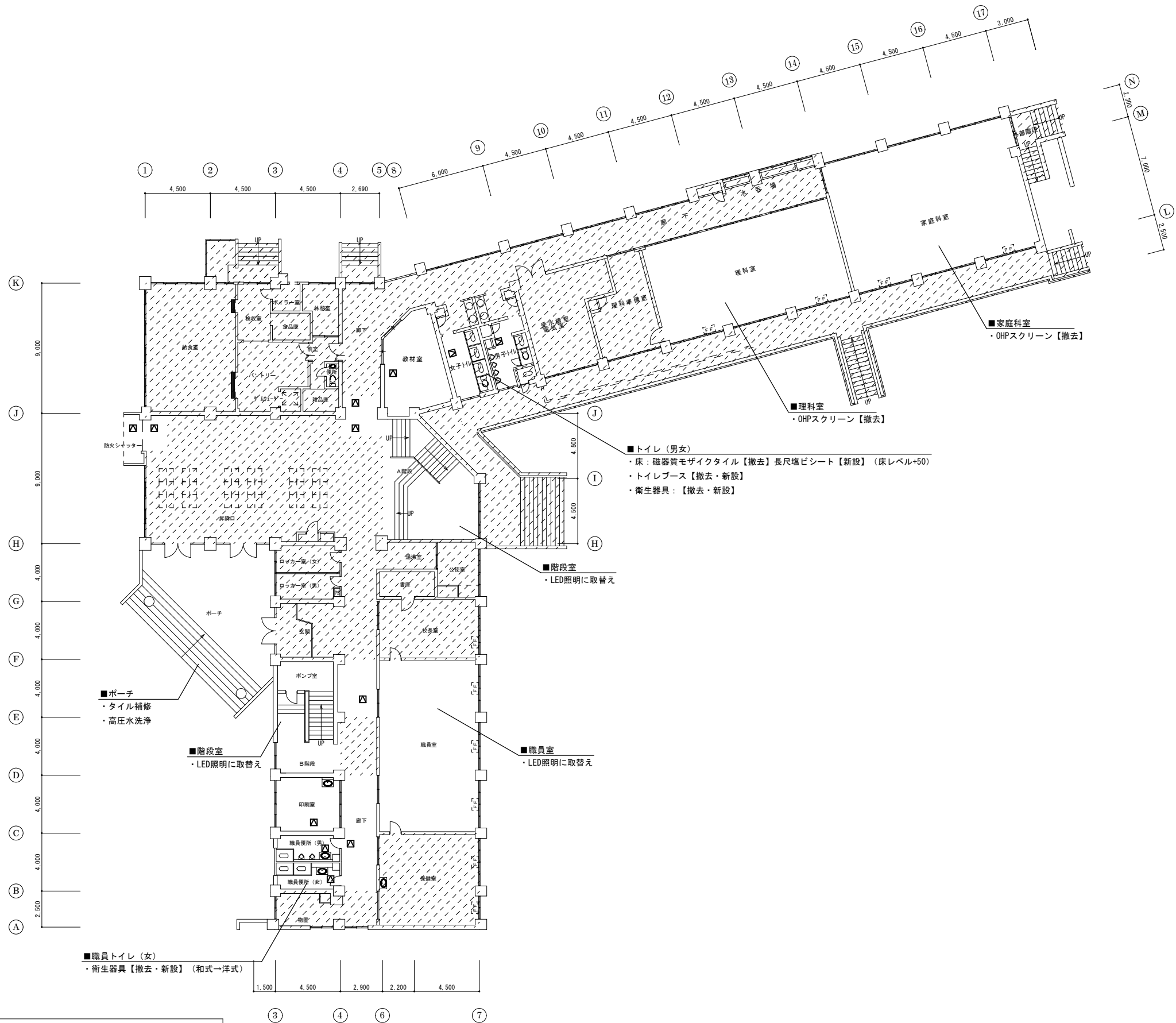


■ 设备模板面积汇总表		算 定 式		床下物入	1 階	2 階	3 階	塔屋
A	$9.600 \times 8.175$	=	78.48000	78.48000				
B	$9.975 \times 8.000$	=	79.80000	79.80000				
C	$9.535 \times 10.450$	=	99.64075	99.64075				
D	$9.000 \times 18.000$	=	162.00000		162.00000			
E	$1.450 \times 4.000$	=	5.80000		5.80000			
F	$(7.190 + 9.600) \times 9.000 \times 0.5$	=	75.55500		75.55500			
G	$45.000 \times 9.300$	=	418.50000		418.50000			
H	$9.000 \times 0.750$	=	6.75000		6.75000			
J	$(9.600 + 14.100) \times 4.500 \times 0.5$	=	53.32500		53.32500			
K	$14.100 \times 31.000$	=	437.10000		437.10000			
G	$45.000 \times 9.300$	=	418.50000			418.50000	418.50000	
H	$9.000 \times 0.750$	=	6.75000			6.75000	6.75000	
L	$(16.190 + 18.600) \times 9.000 \times 0.5$	=	156.55500			156.55500		
M	$(5.100 + 9.600) \times 4.500 \times 0.5$	=	33.07500			33.07500	33.07500	
N	$9.600 \times 31.000$	=	297.60000			297.60000	297.60000	
O	$4.500 \times 8.000$	=	36.00000			36.00000	36.00000	
P	$1.150 \times 0.875$	=	1.00625			1.00625		
Q	$0.750 \times 4.000$	=	3.00000			3.00000	3.00000	
R	$4.500 \times 4.000$	=	18.00000				18.00000	
T	$(2.690 + 5.100) \times 9.000 \times 0.5$	=	35.05500				35.05500	
V	$2.200 \times 0.325$	=	0.71500					0.71500
W	$(2.200 \times 6.700) \times 4.500 \times 0.5$	=	20.02500					20.02500
X	$6.700 \times 4.325$	=	28.97750					28.97750
收拔	$4.477 \times 4.477$	$\times 0.5$	=(10.02176)			-10.02176	-10.02176	
收拔	$4.662 \times 4.662$	$\times 0.5$	=(10.86712)					-10.86712
			合 計	257.92075	1159.03000	942.46449	837.95824	38.85038
				257.92 ㎡	1159.03 ㎡	942.46 ㎡	837.95 ㎡	38.85 ㎡

■体育館建築面積・床面積求積表						
	算 定 式		スレージ下	1階	2階	建築面積
A	4.325 × 17.000	= 73.52500	73.52500			
B	0.450 × 2.050 × 2.000	= (1.84500)	-1.84500			
C	1.150 × 1.500	= (1.72500)	-1.72500			
D	43.750 × 28.000	= 1225.00000		1225.00000		1225.00000
E	5.675 × 1.450 × 2.000	= 16.45750		16.45750		16.45750
F	16.475 × 1.450 × 2.000	= 47.77750		47.77750		47.77750
G	21.600 × 1.450 × 2.000	= 62.64000				62.64000
H	4.500 × 7.000	= 31.50000		31.50000		31.50000
J	0.775 × 4.000	= 3.10000		3.10000		3.10000
K	4.500 × 0.500	= 2.25000				2.25000
L	4.500 × 1.500	= 6.75000				6.75000
M	6.025 × 28.600	= 172.31500			172.31500	
N	5.675 × 1.150 × 2.000	= 13.05250			13.05250	
O	31.760 × 1.800 × 2.000	= 114.33600			114.33600	
	合 計		69.955000	1323.83500	299.70350	1,395.47500
			69.96 m <sup>2</sup>	1323.84 m <sup>2</sup>	299.70 m <sup>2</sup>	1395.48 m <sup>2</sup>

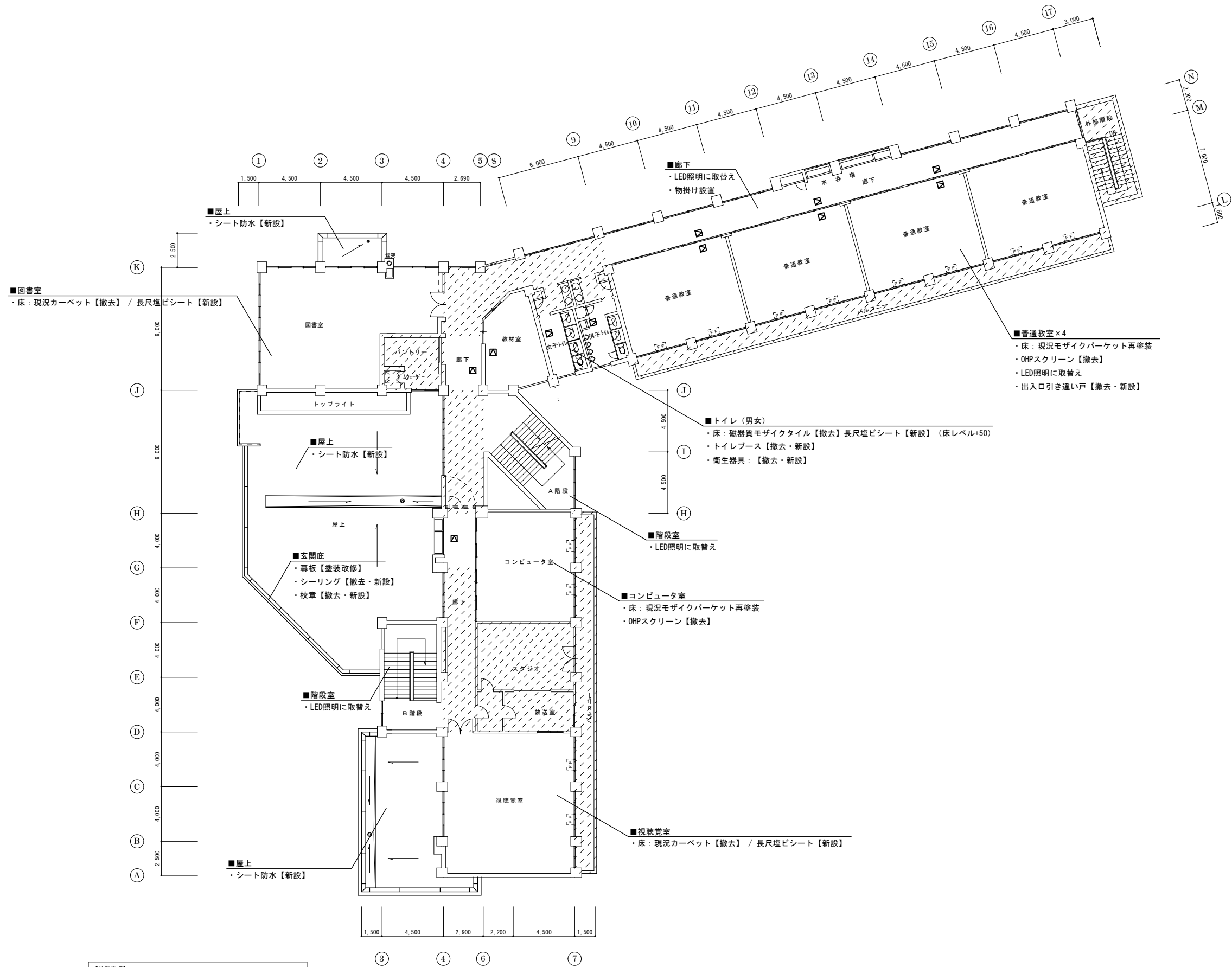
[illegible]

■ 面積表	校舎棟	体育館棟	合計
建築面積	1395.16 m <sup>2</sup>	1395.48 m <sup>2</sup>	2,790.64 m <sup>2</sup>
床下物入床面積	257.92 m <sup>2</sup>	69.96 m <sup>2</sup>	327.88 m <sup>2</sup>
1階床面積	1159.03 m <sup>2</sup>	1323.84 m <sup>2</sup>	2,482.87 m <sup>2</sup>
2階床面積	942.46 m <sup>2</sup>	299.70 m <sup>2</sup>	1,242.16 m <sup>2</sup>
3階床面積	837.95 m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	837.95 m <sup>2</sup>
塔屋床面積	38.85 m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	38.85 m <sup>2</sup>
延床面積	3236.21 m <sup>2</sup>	1693.50 m <sup>2</sup>	4,929.71 m <sup>2</sup>



【特記事項】  
〃〃〃 改修対象範囲外  
□ 天井点検口：アルミ製 口450 12ヶ所 【新設】

1 階平面図 S = 1 : 150

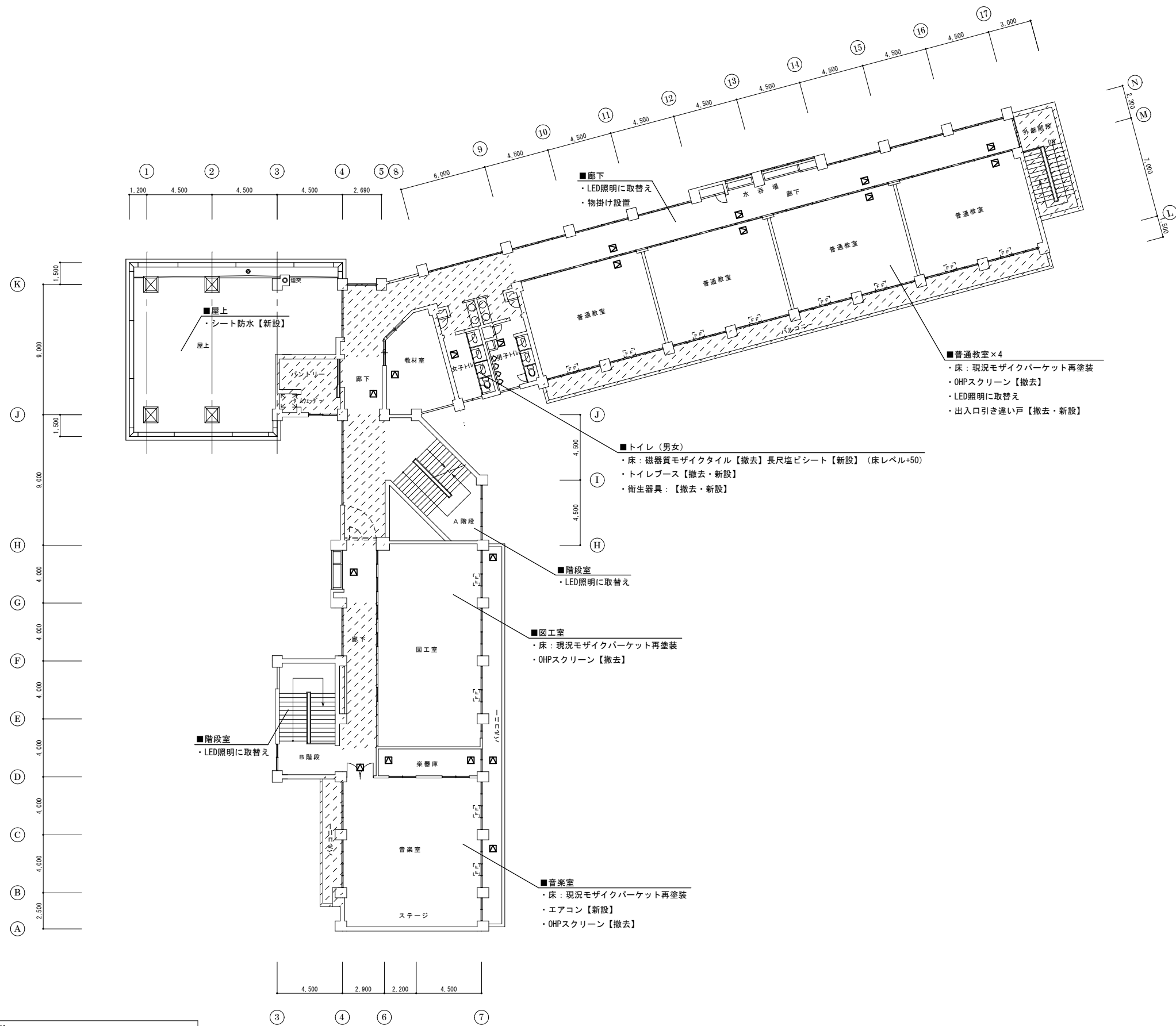


【特記事項】  
〰〰〰 改修対象範囲外  
□ □ □ 天井点検口：アルミ製 口450 11ヶ所 【新設】

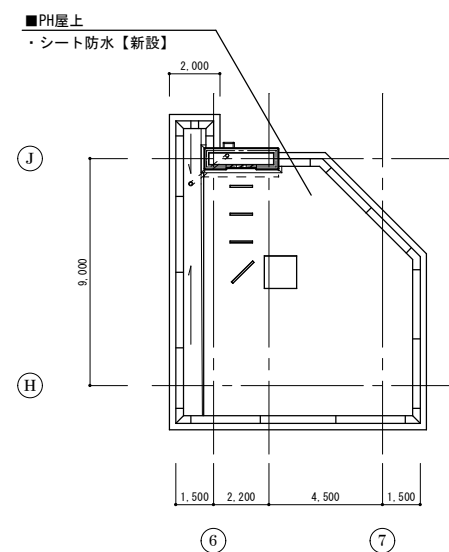
③ ④ ⑥ ⑦

2 階 平 面 図 S = 1 : 150

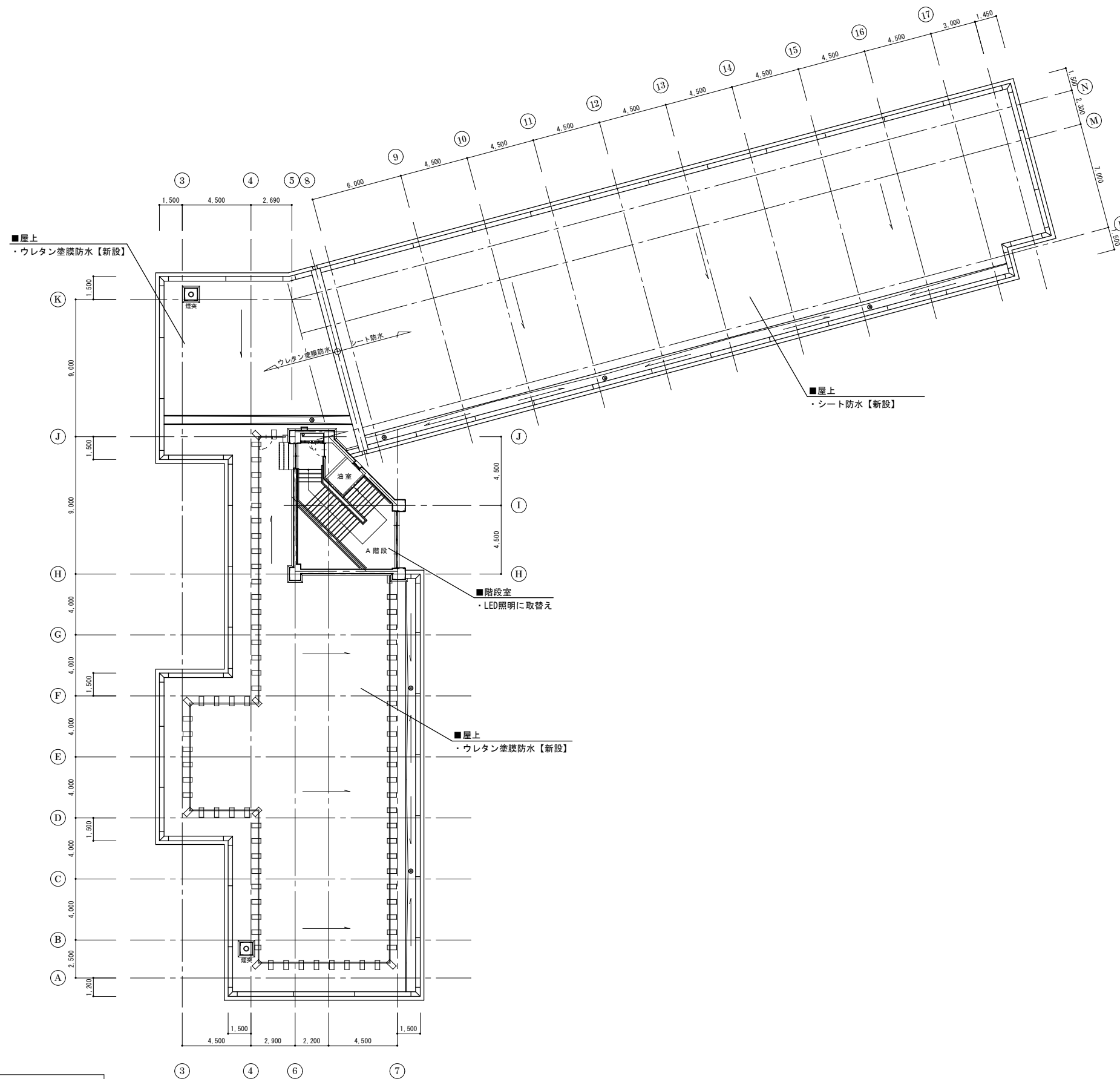




【特記事項】  
〰〰〰 改修対象範囲外  
□ 天井点検口：アルミ製 口450 19ヶ所 【新設】

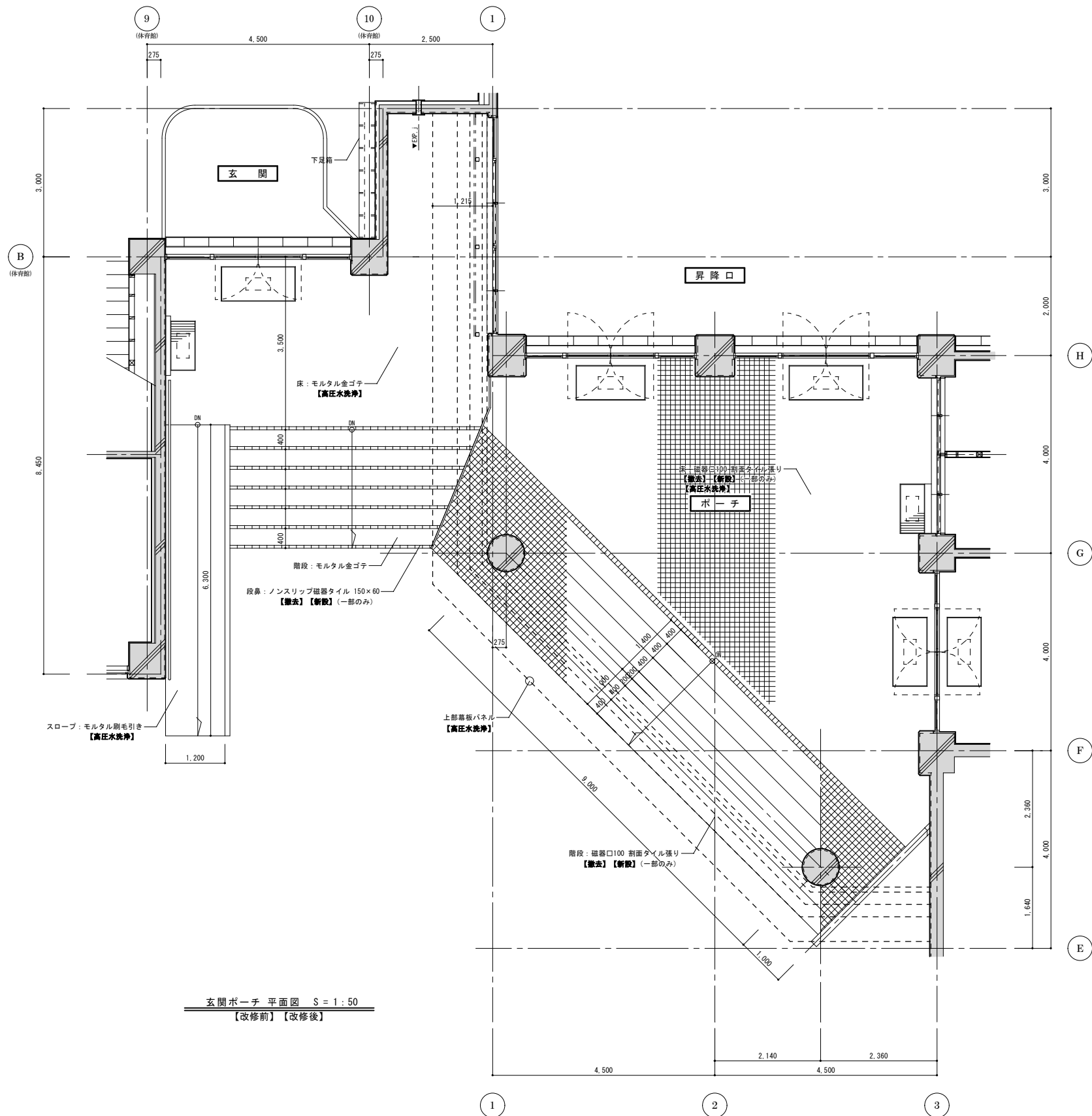


PH階平面図 S = 1 : 150  
【改修前】 【改修後】

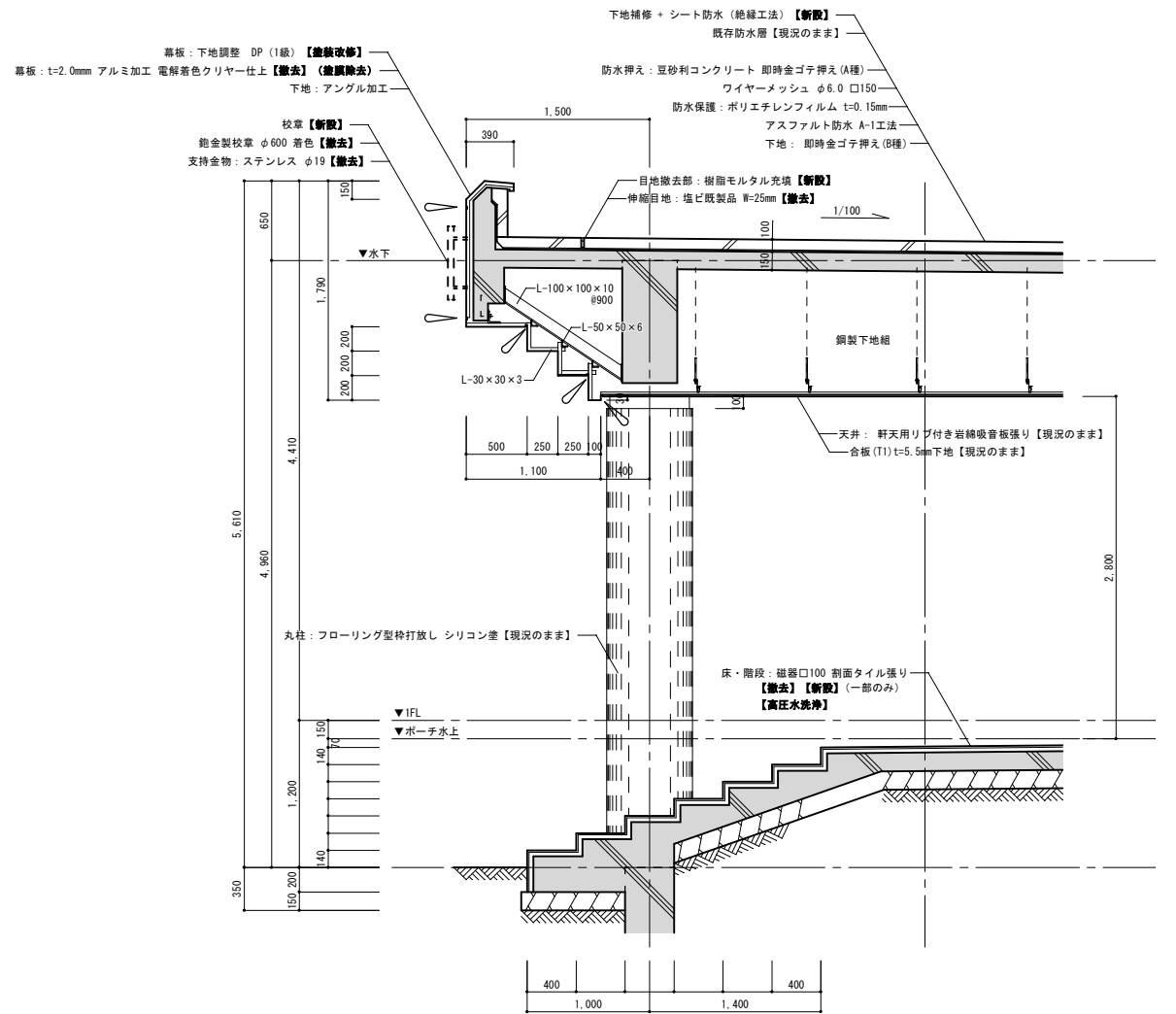


R階平面図 S = 1 : 150

【特記事項】  
〰〰〰 改修対象範囲外



玄関ポーチ 平面図 S=1:50  
【改修前】【改修後】

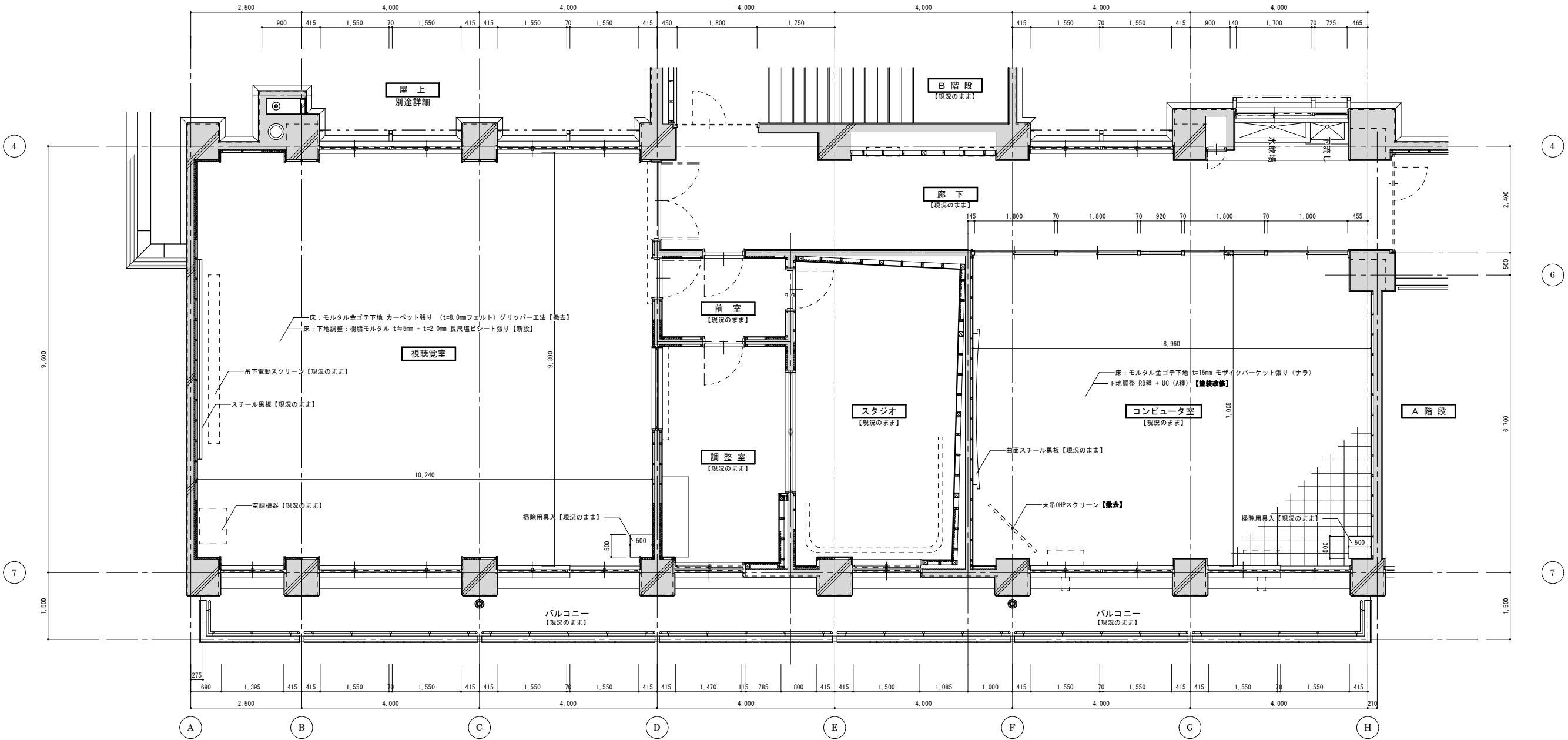


玄関ポーチ 断面図 S=1:30  
【改修前】【改修後】

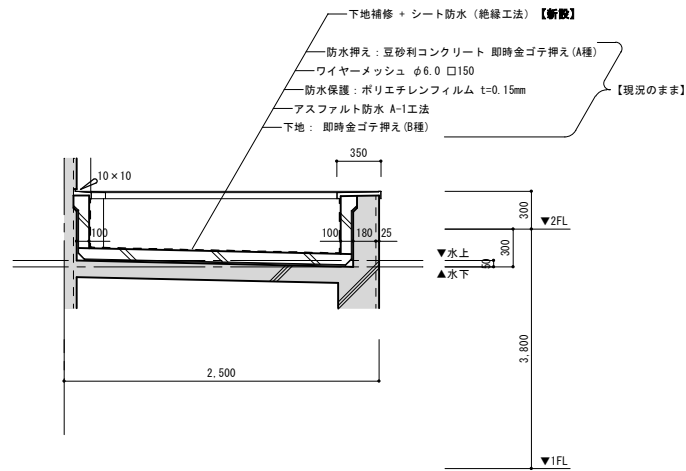
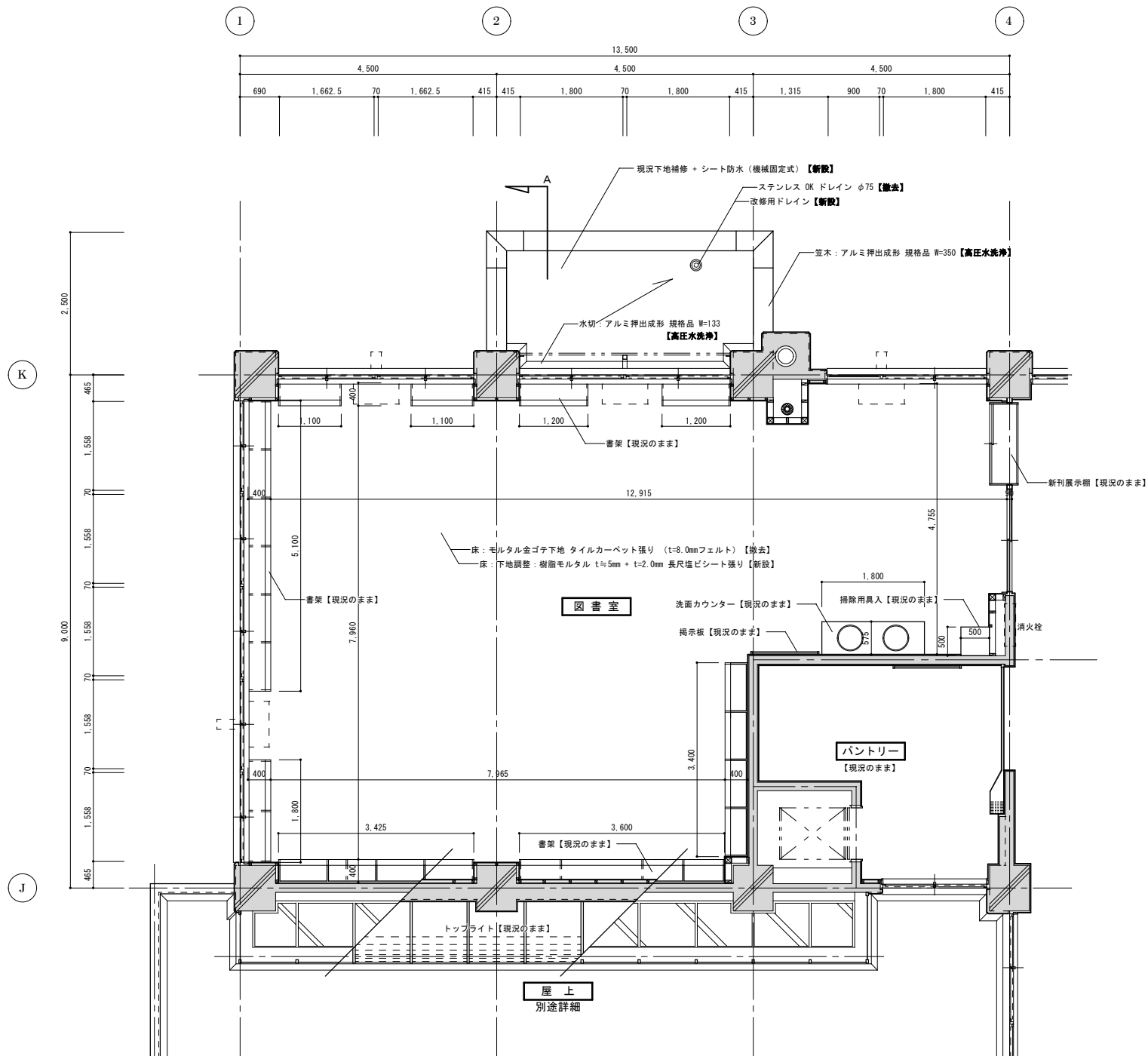
○ : シーリング 15×10 【撤去】MS-2 15×10 【新設】

■ 仕上表 【視聴覚室】			
部 位	現 況 仕 上 等	改修種別	改修内容
天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=15mm リブ付き岩綿吸音板張り 梁型：モルタル金ゴテ ビニルクロス張り	【現況のまま】	
壁面	t=5.5mm ラワン合板下地 ビニルクロス張り	【現況のまま】	
巾木	ラワン H=100 OS	【現況のまま】	
床	モルタル金ゴテ下地 カーペット張り (t=8.0mmフェルト) グリッパ－工法	【撤去】 【新設】	下地調整：樹脂モルタル t≒5mm + t=2.0mm 長尺塩ビシート張り
その他	掃除用具入れ / 吊下電動スクリーン / 黒板	【現況のまま】	

■ 仕上表 【コンピュータ室】			
部 位	現 況 仕 上 等	改修種別	改修内容
天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=12mm 岩綿吸音板張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP	【現況のまま】	
壁面	t=5.5mm 白ラワン合板目造し張り OS / モルタル金ゴテ目地切 AP	【現況のまま】	
巾木	木製 H=100 OP	【現況のまま】	
床	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り (ナラ)	【建築改修】	下地調整：R8種 + UC (A種)
その他	掃除用具入れ / 黒板 天吊OHPスクリーン	【現況のまま】 【撤去】	



視聴覚室・コンピュータ室 平面図 S = 1 : 50  
【改修前】 【改修後】



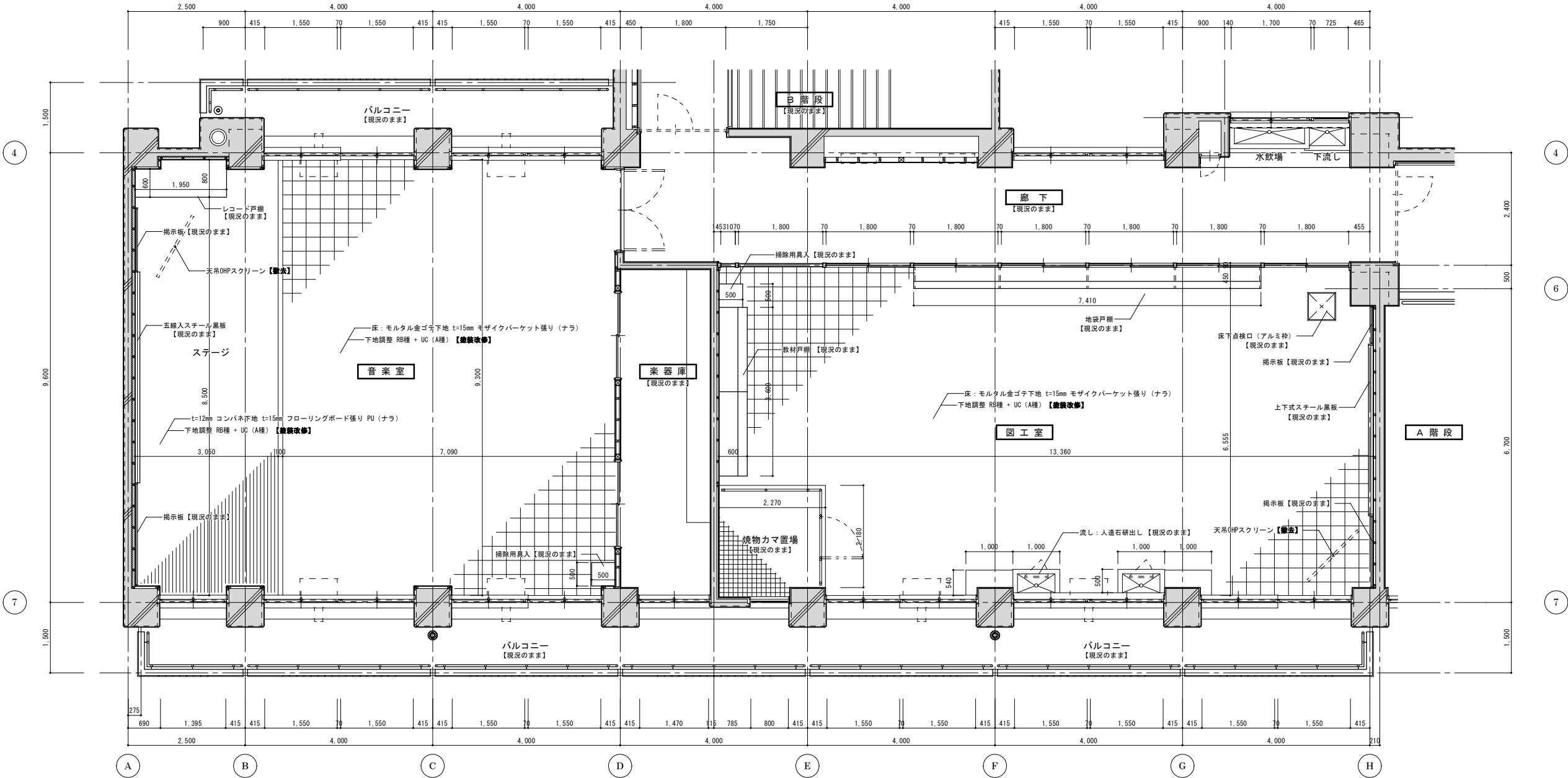
A断面詳細図 S = 1 : 30  
【改修前】 【改修後】

■ 仕上表 【図書室】			
部 位	現 況 仕 上 等	改修種別	改修内容
天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=12mm 岩綿吸音板張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP	【現況のまま】	
壁面	t=5.5mm ラワン合板下地 ビニルクロス張り モルタル金ゴテ目地切 吹付タイル（内部用）	【現況のまま】	
巾木	ラワン H=100 OS	【現況のまま】	
床	モルタル金ゴテ下地 タイルカーペット張り（t=8.0mmフェルト）	【撤去】 【新設】	下地調整：樹脂モルタル t≒5mm + t=2.0mm 長尺塩ビシート張り
その他	掃除用具入れ / 書架 / 掲示板 / 洗面カウンター	【現況のまま】	

図書室 平面図 S = 1 : 50  
【改修前】 【改修後】

■ 仕上表 【音楽室】			
部 位	現 況 仕 上 等	改 修 種 別	改 修 内 容
天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=15mm リブ付き岩綿吸音板張り	【現況のまま】	
壁面	t=6.0mmシナ合板目通し張り OP / t=6.0mm有孔シナ合板目通し張り OP (寒冷紗裏打)	【現況のまま】	
巾木	木製 H=100 OP	【現況のまま】	
床	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り (ナラ) ステージ：t=12mm コンパネ下地 t=15mm フローリングボード張り PU (ナラ)	【建築改修】	下地調整：RB種 + UC (A種)
その他	ステージ / レコード戸棚 / 掃除用具入れ / 掲示板 / 黒板 天吊0HPスクリーン	【現況のまま】 【撤去】	

■ 仕上表 【図工室】			
部 位	現 況 仕 上 等	改 修 種 別	改 修 内 容
天井	t=9.0mm 化粧石膏ボード張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP	【現況のまま】	
壁面	t=6.0mmシナ合板目通し張り OP / モルタル金ゴテ 目地切 AP t=5.5mm ラワン合板下地 掲示用ビニルクロス張り	【現況のまま】	
巾木	木製 H=100 OP	【現況のまま】	
床	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り (ナラ)	【建築改修】	下地調整：RB種 + UC (A種)
その他	流し / 教材戸棚 / 地袋戸棚 / 掃除用具入れ / 焼物カマ置場 / 掲示板 / 黒板 天吊0HPスクリーン	【現況のまま】 【撤去】	

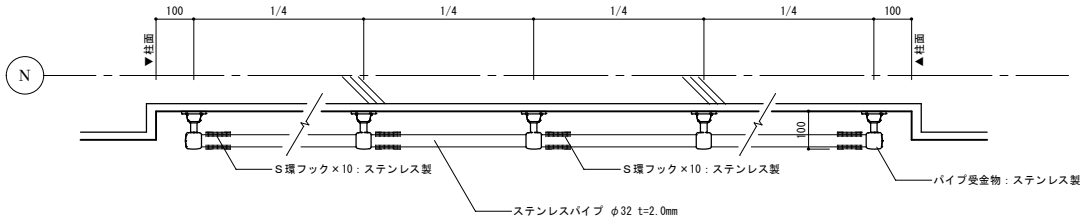


音楽室・図工室 平面図 S = 1 : 50  
【改修前】 【改修後】

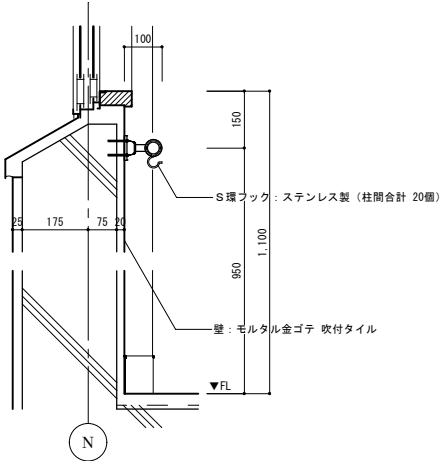


■ 仕上表 【普通教室】			
部 位	現 況 仕 上 等	改 修 種 別	改 修 内 容
天井	t=9.0mm 化粧石膏ボード張り / 梁型：モルタル金ゴテ AP	【現況のまま】	
壁面	t=5.5mm 白ラワン合板目通し張り OS（本通開仕切り部：t=12mm 石膏ボード下地） モルタル金ゴテ 目地切	【現況のまま】	
巾木	ラワン H=100 OS	【現況のまま】	
床	モルタル金ゴテ下地 t=15mm モザイクパーケット張り（ナラ）	【建築改修】	下地調整：RB種 + UC（A種）
その他	ロッカー / 掃除用具入れ / 黒板	【現況のまま】	
	天吊OHPスクリーン	【撤去】	
	出入口引き違い戸（2ヶ所/1室）	【撤去】 【新設】	出入口引き違い戸

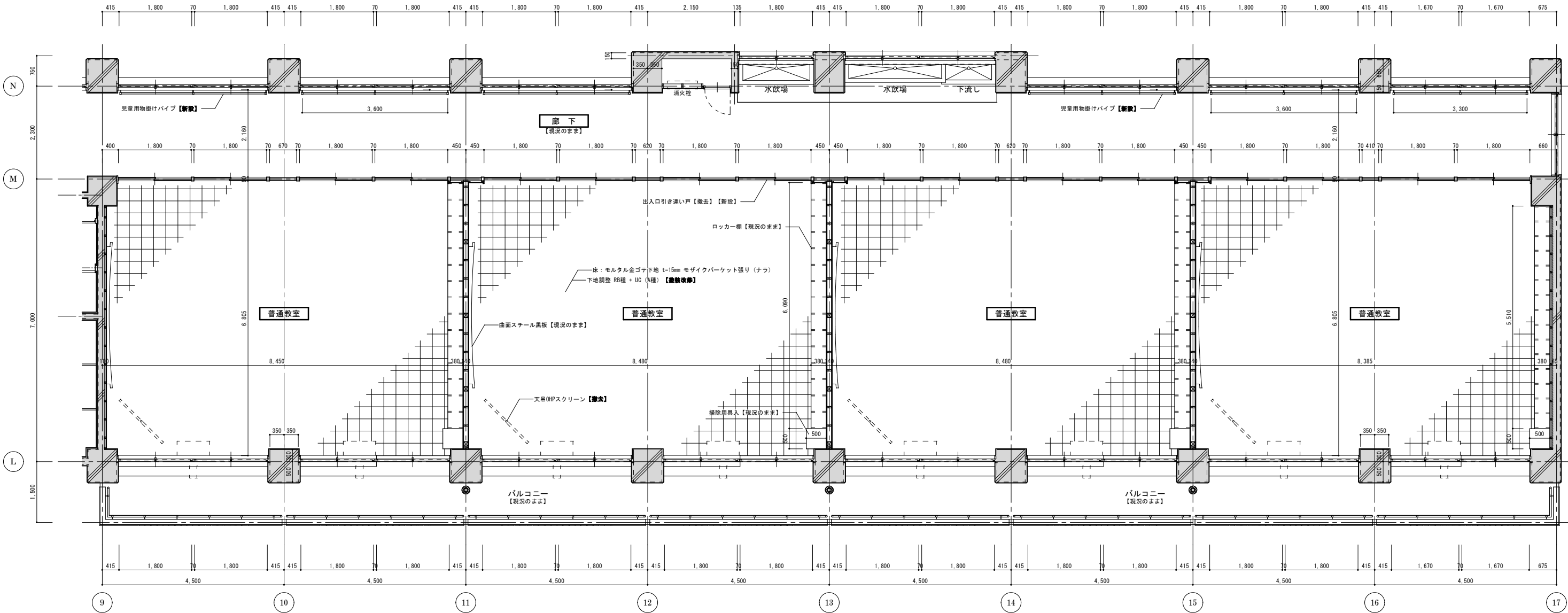
■ 仕上表 【廊下（普通教室前）】			
部 位	現 況 仕 上 等	改 修 種 別	改 修 内 容
天井	t=9.0mm 化粧石膏ボード張り	【現況のまま】	
壁面	t=6.0mmシナ合板目通し張り OP / モルタル金ゴテ目地切 吹付タイル（内部用）		
巾木	ビニール巾木 H=100		
床	モルタル金ゴテ t=2.8mm長尺塩ビシート		
その他	水飲み場	【現況のまま】	
		【新設】	物掛け：ステンレスパイプ S環フック



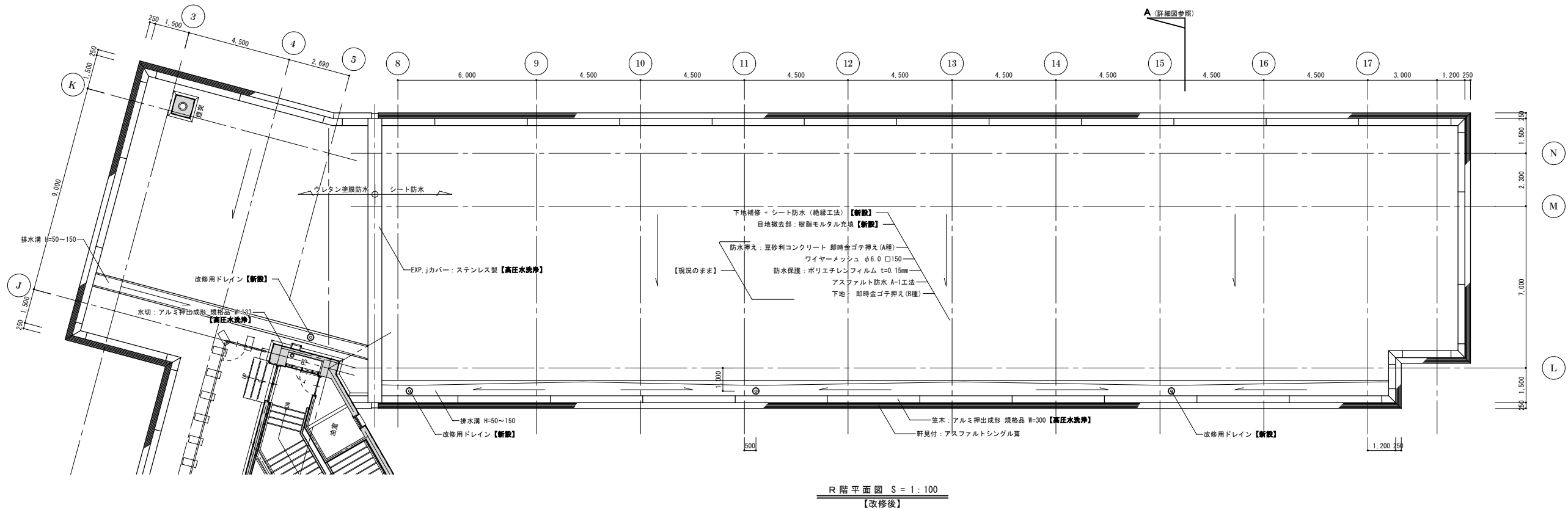
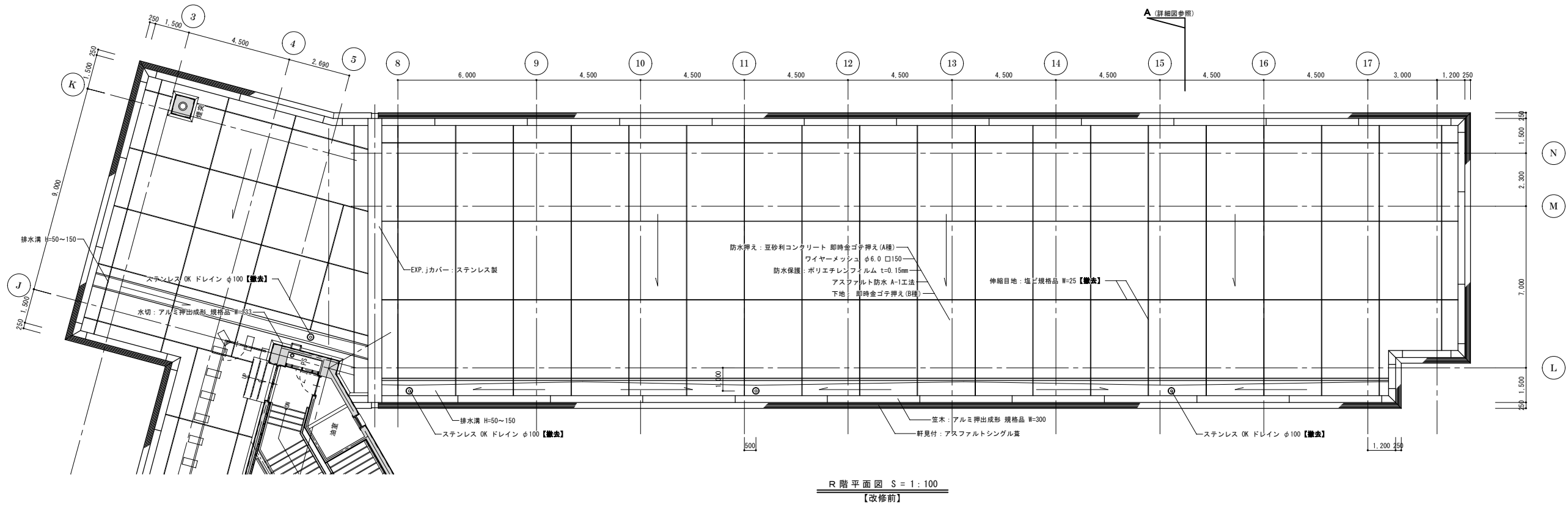
廊下物掛け平面詳細図 S = 1 : 10  
【改修後】

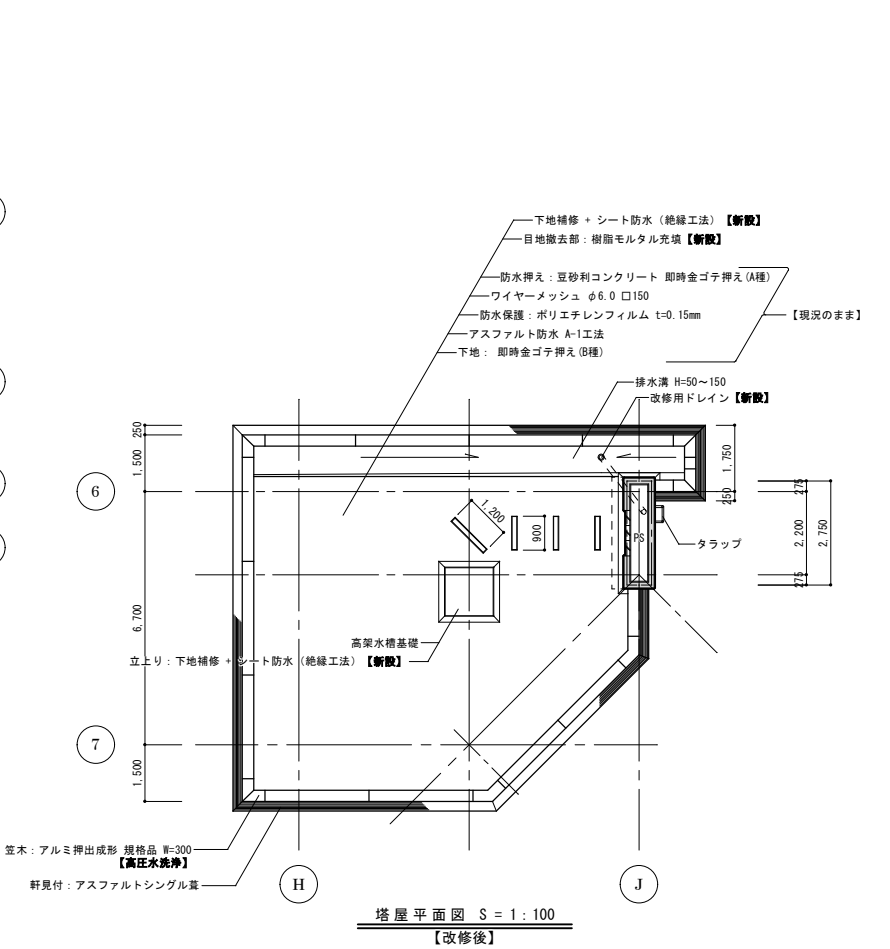
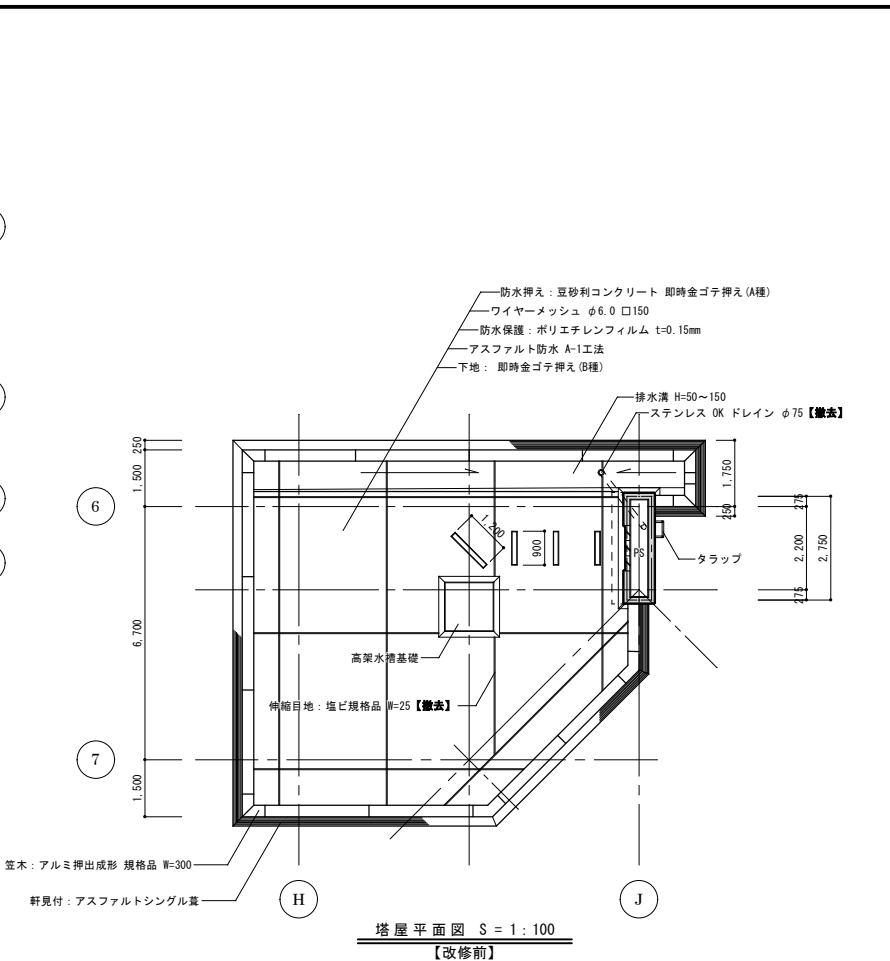


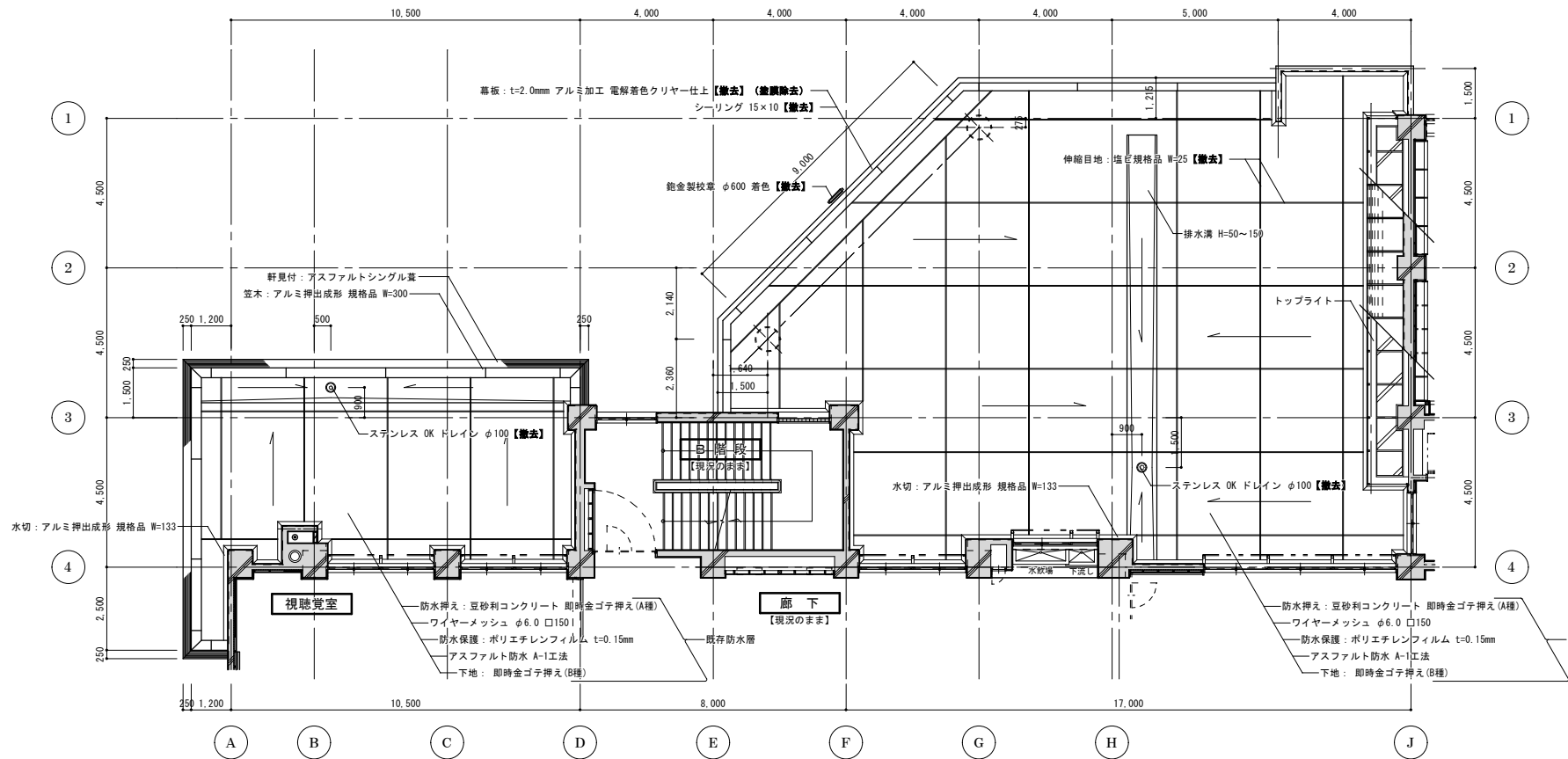
廊下物掛け断面詳細図 S = 1 : 10  
【改修後】



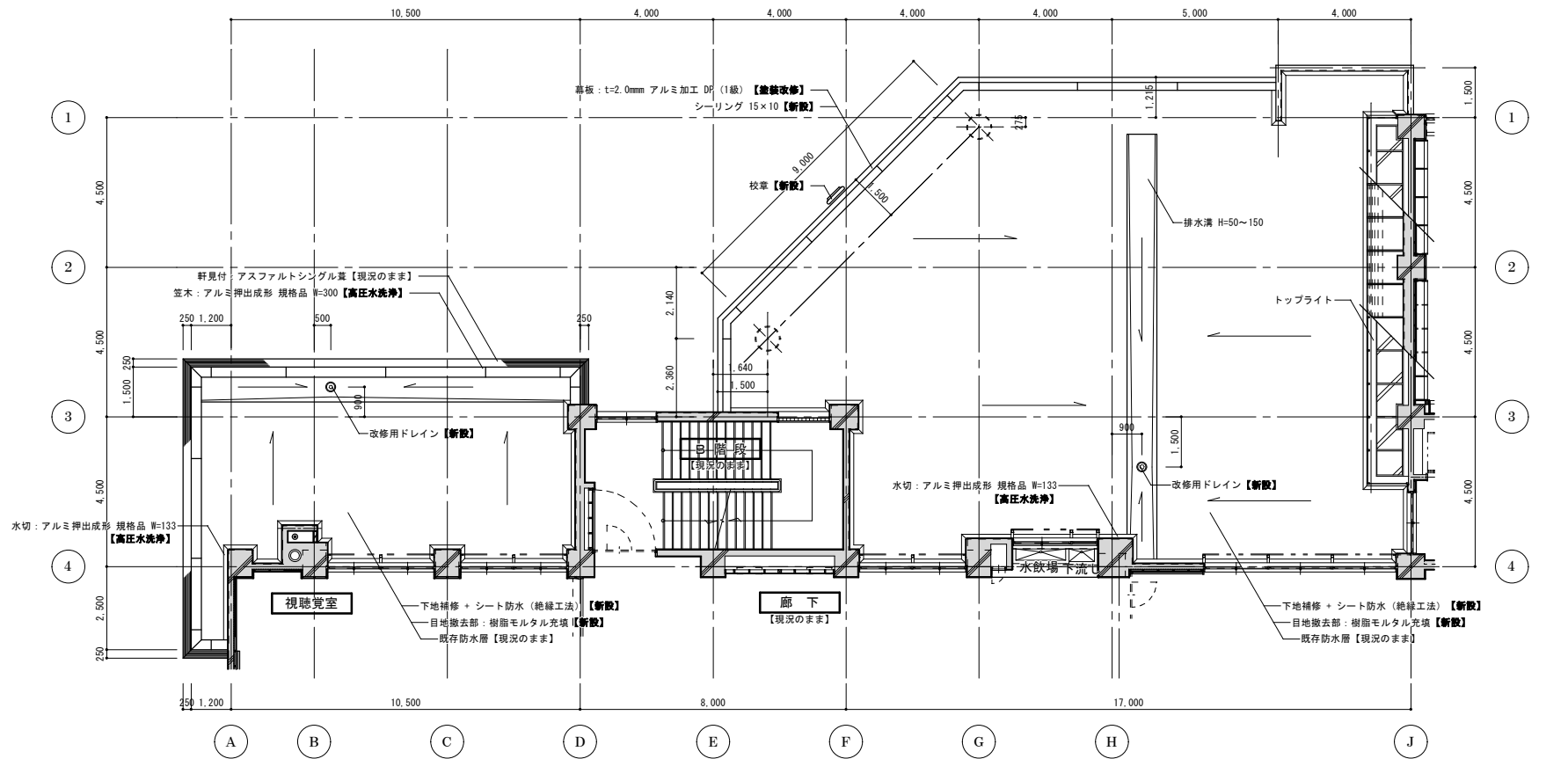
普通教室平面図 S = 1 : 50  
【改修前】 【改修後】



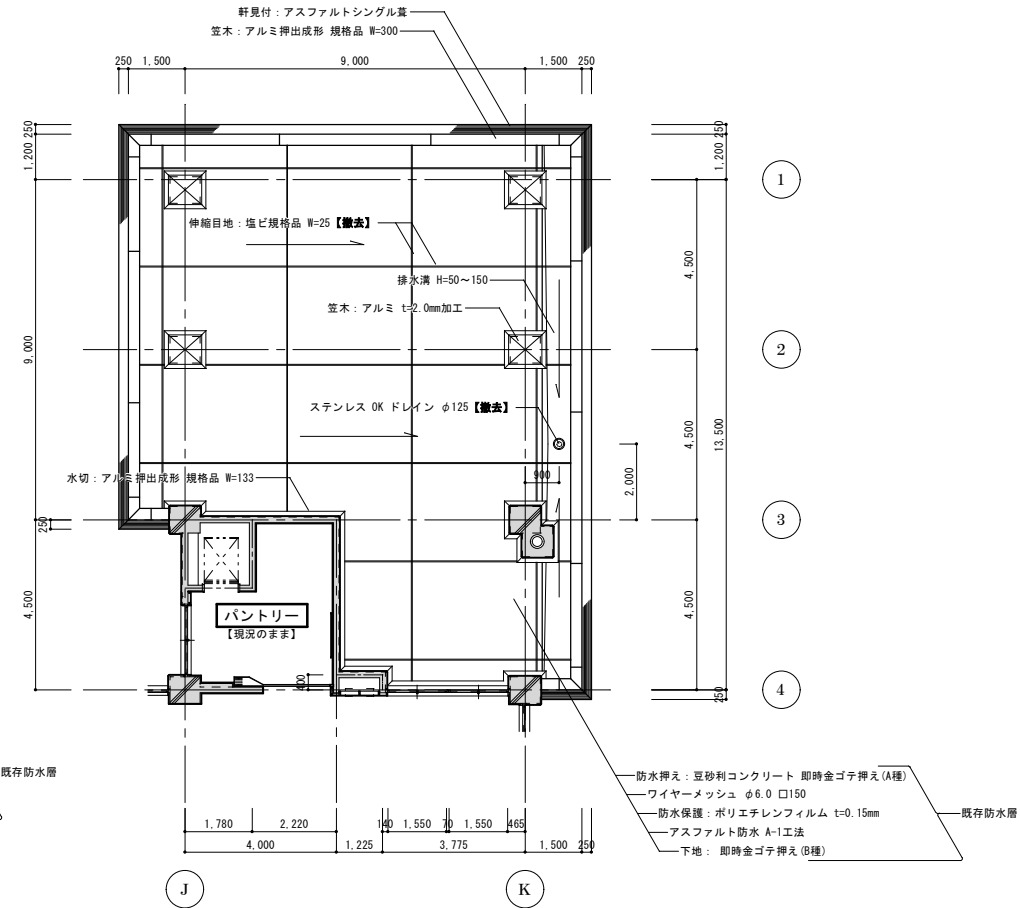




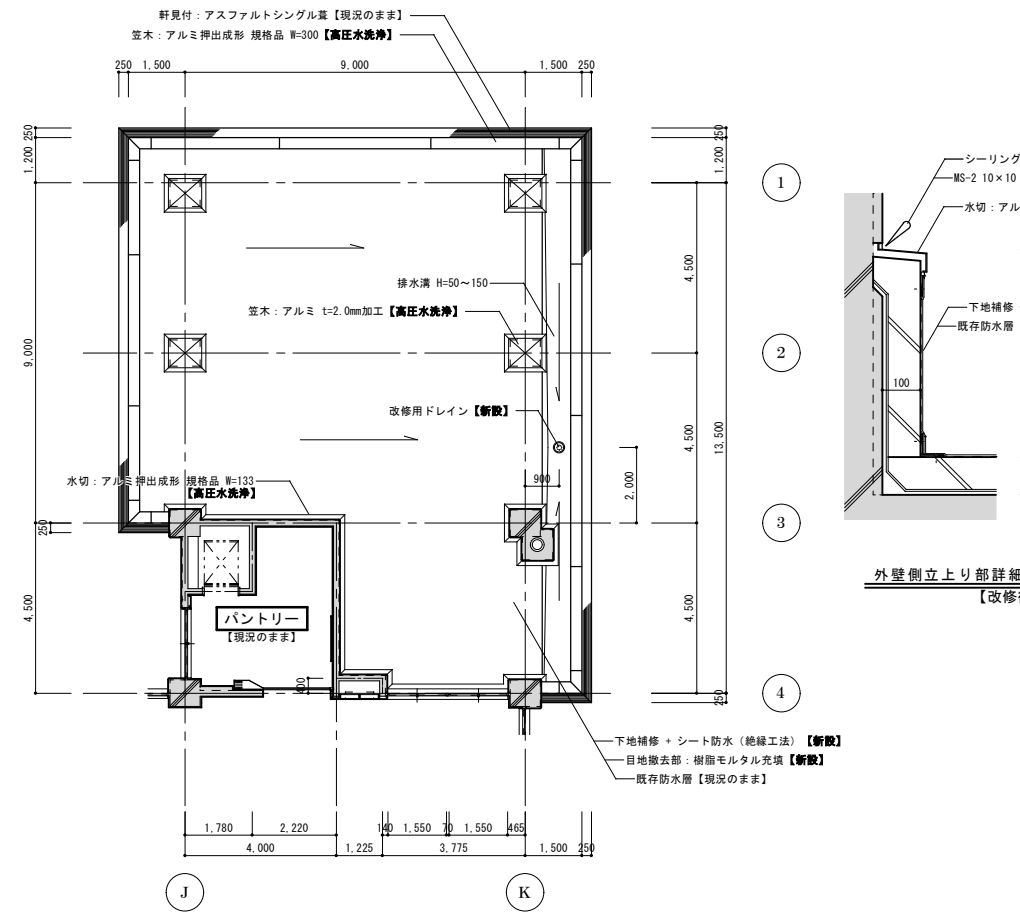
玄関部屋上平面図 S = 1 : 100  
【改修前】



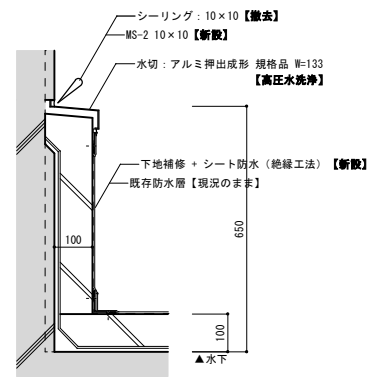
玄関部屋上平面図 S = 1 : 100  
【改修後】



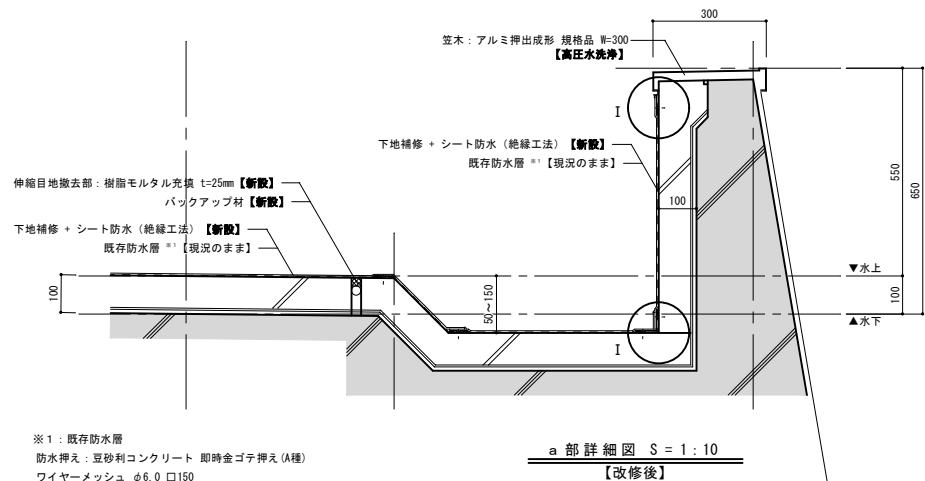
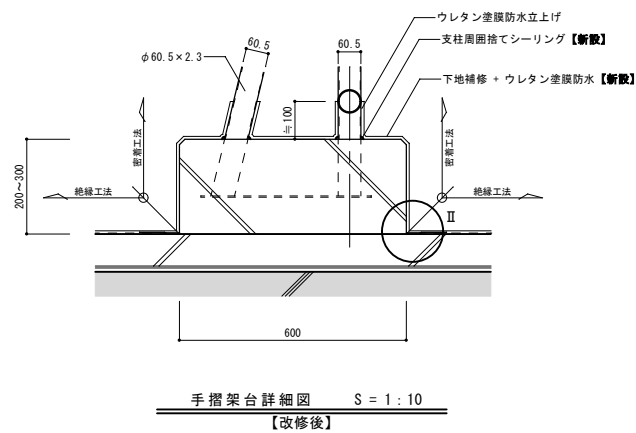
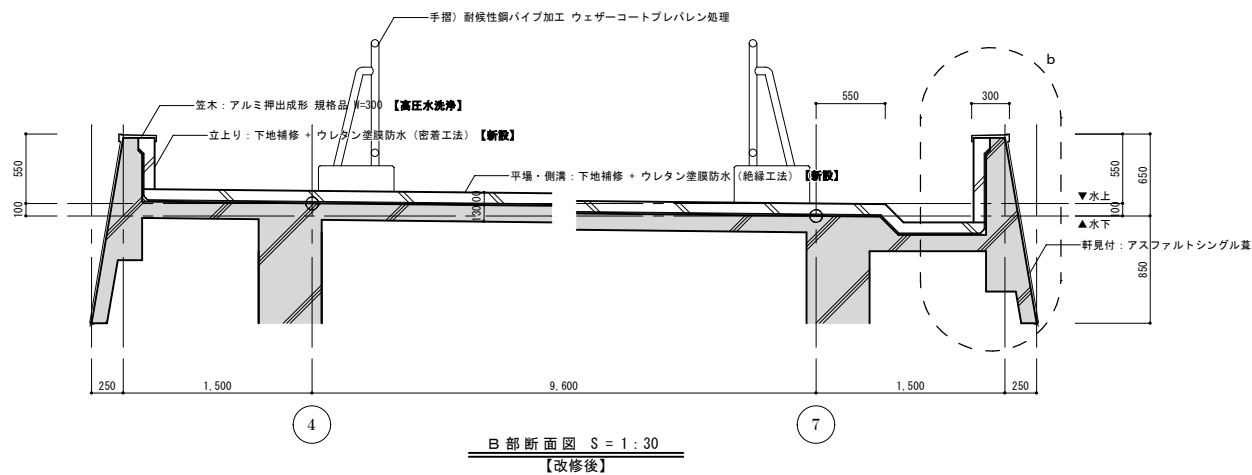
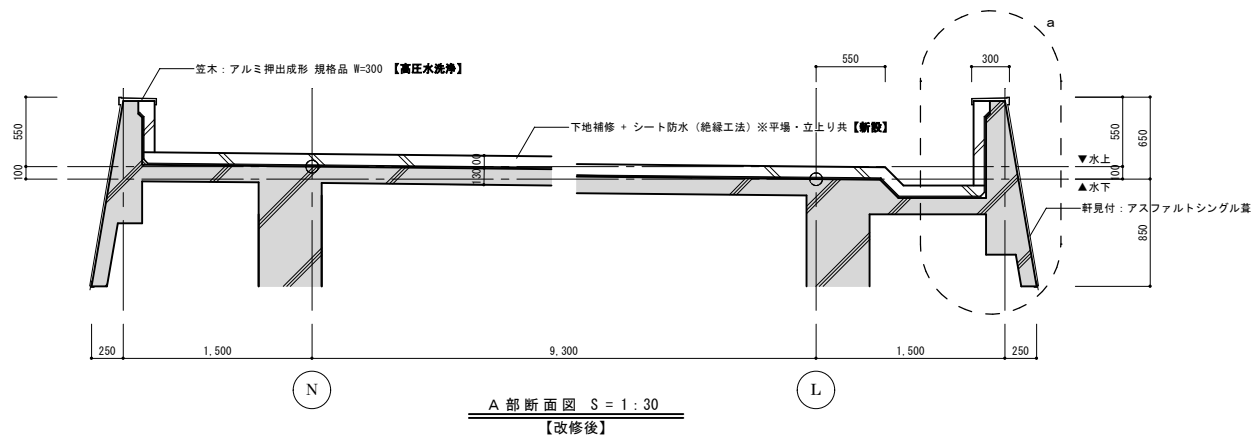
図書室屋上平面図 S = 1 : 100  
【改修前】



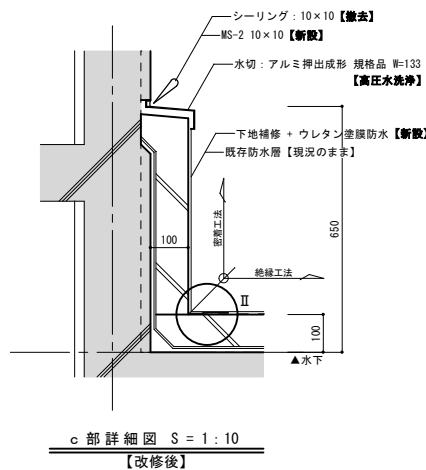
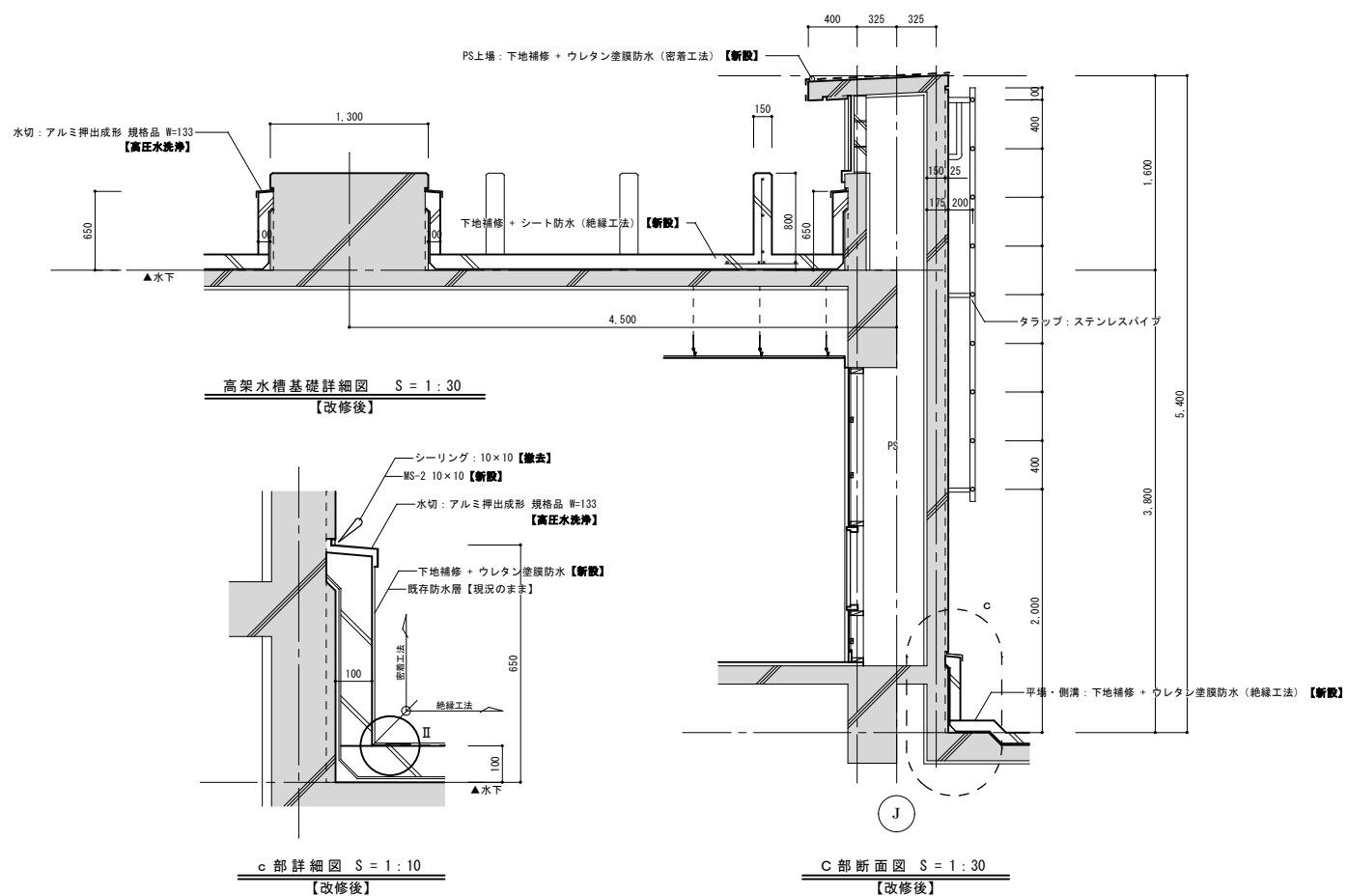
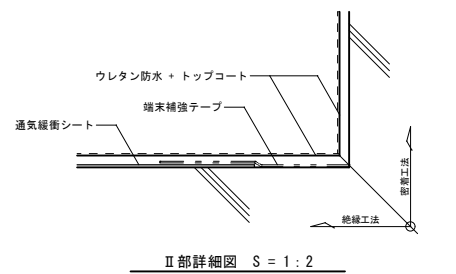
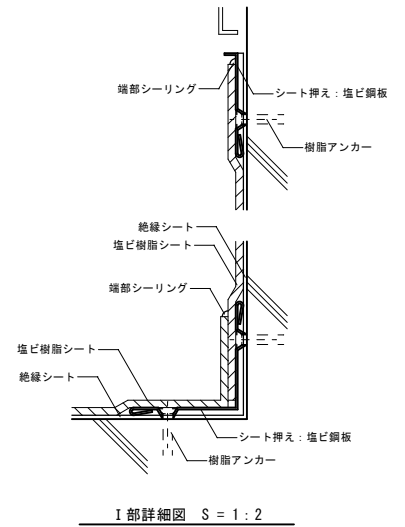
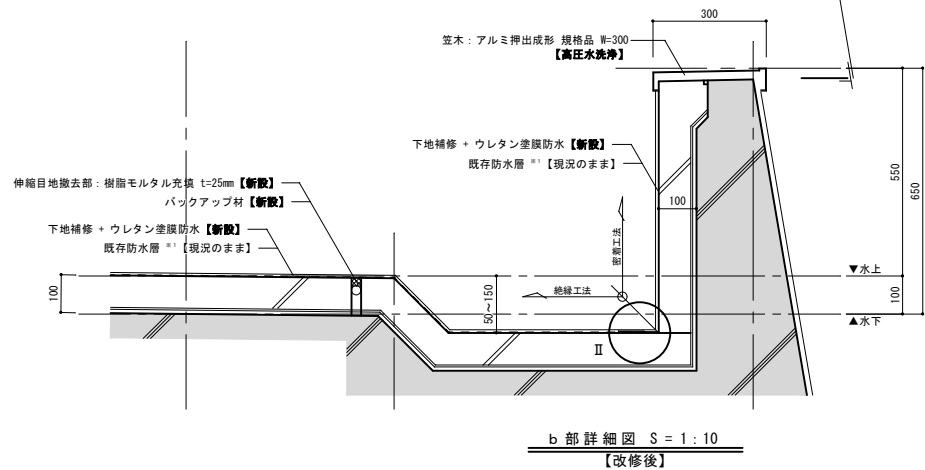
図書室屋上平面図 S = 1 : 100  
【改修後】



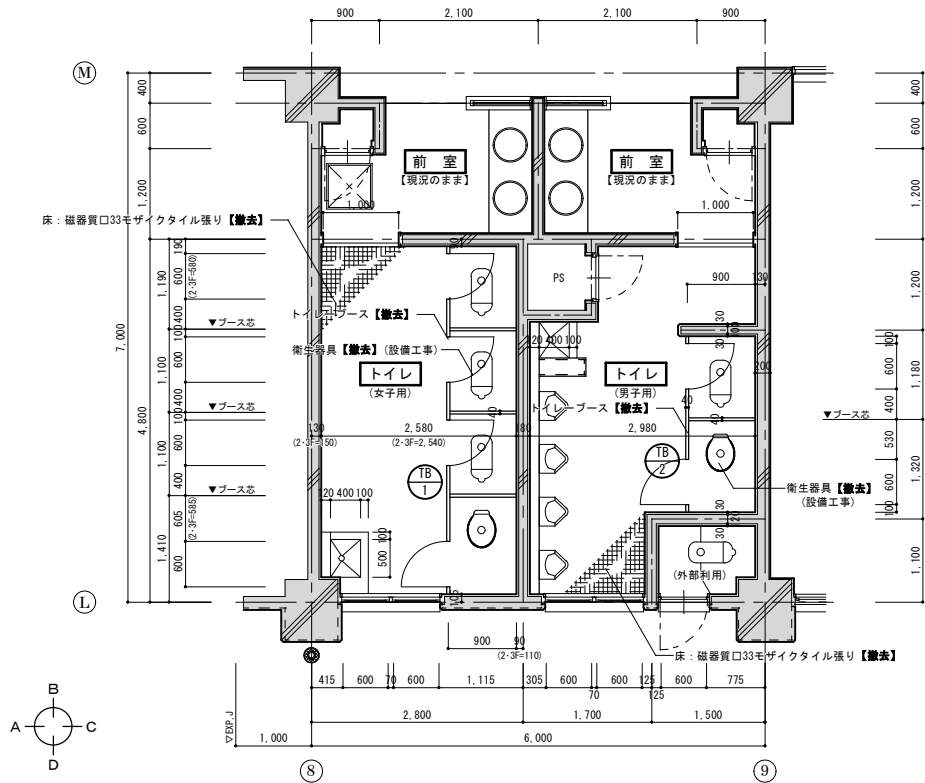
外壁側立上り部詳細図 S = 1 : 10  
【改修後】



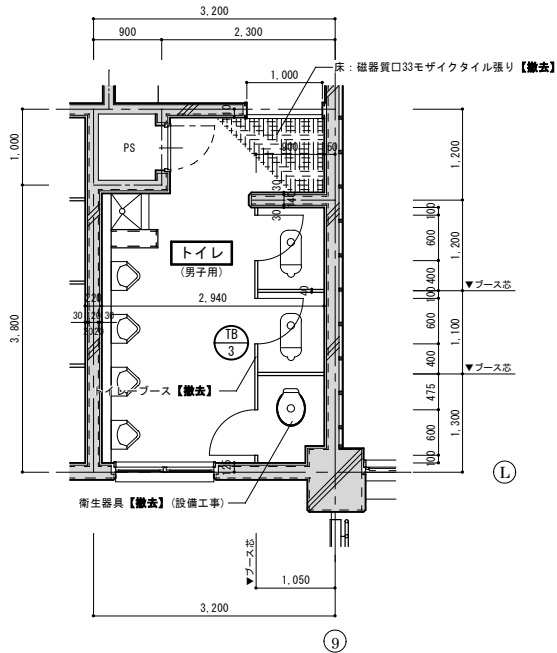
※1：既存防水層  
防水押え：豆砂利コンクリート 即時金ゴテ押え (A種)  
ワイヤーメッシュ φ6.0 口150  
防水保護：ポリエチレンフィルム t=0.15mm  
アスファルト防水 A-1工法  
下地：即時金ゴテ押え (B種)



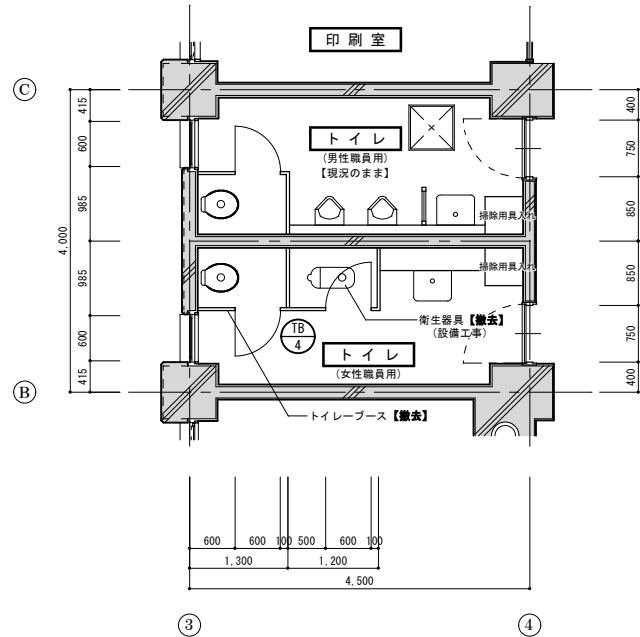
■仕上表【トイレ(児童用)】			
部 位	現況仕上等	改修種別	改修内容
天井	フレキシブルボード t=5.0mm 目透かし張り AP	【現況のまま】	
壁面	寒冷地用 リベナ質 口100タイル張り	【現況のまま】	
巾木	-	-	
床	磁器質口33モザイクタイル張り	【撤去】 【新設】	t=2.0mm 長尺塩ビシート張り
その他	トイレブース・衛生器具 下流し	【撤去】 【新設】 【現況のまま】	トイレブース・衛生器具 下流し



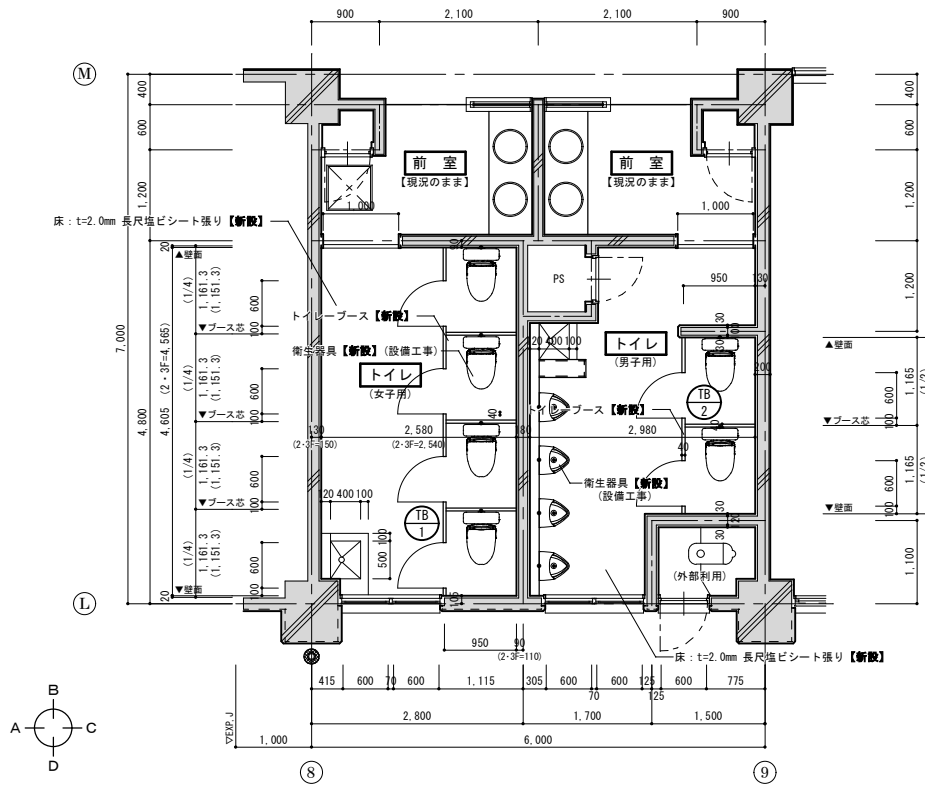
トイレ平面詳細図 S = 1 : 50  
【改修前】



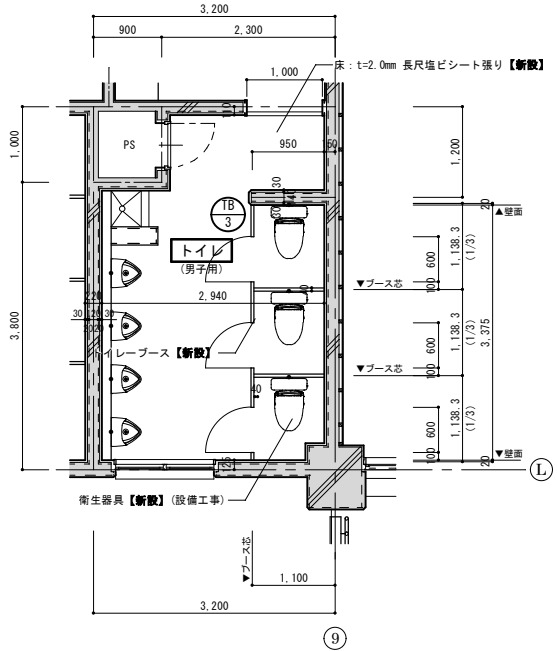
トイレ平面詳細図(2・3階男子用) S = 1 : 50  
【改修前】



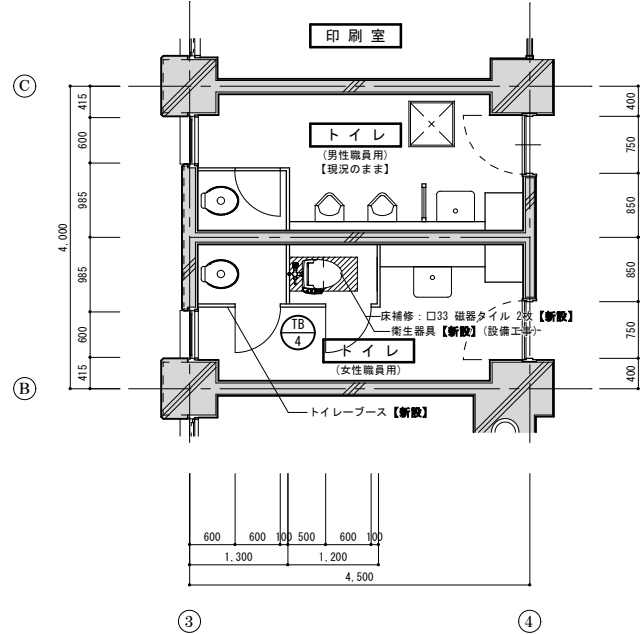
トイレ平面詳細図(職員用) S = 1 : 50  
【改修前】



トイレ平面詳細図 S = 1 : 50  
【改修後】



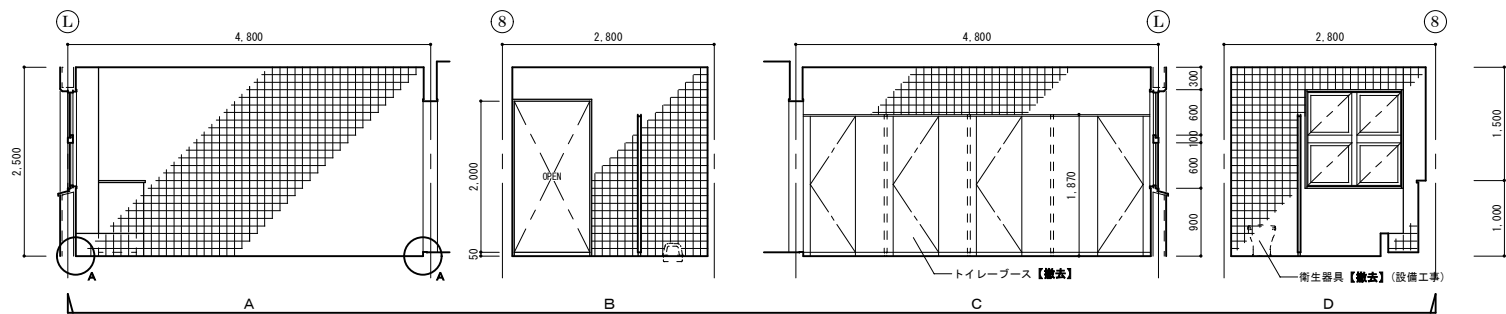
トイレ平面詳細図(2・3階男子用) S = 1 : 50  
【改修後】



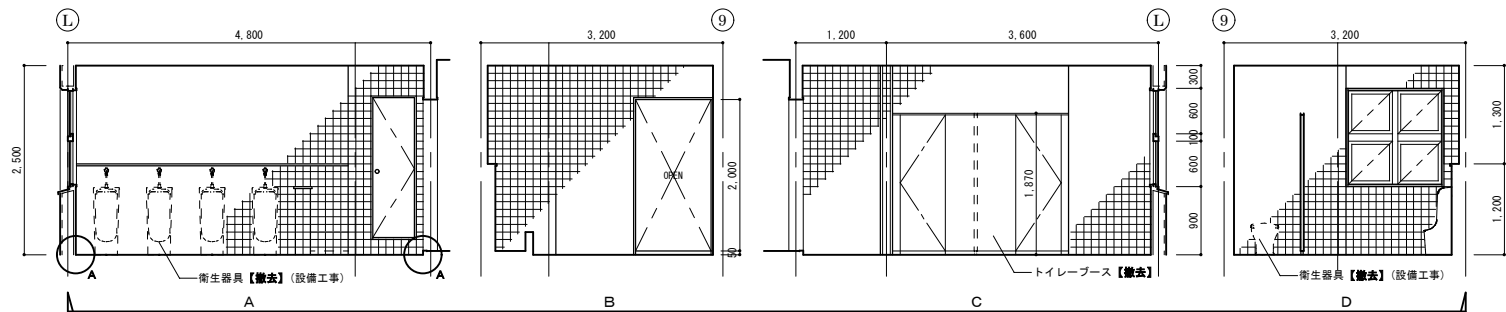
トイレ平面詳細図(職員用) S = 1 : 50  
【改修後】

■仕上表【トイレ(女性職員用)】			
部 位	現況仕上等	改修種別	改修内容
天井	t=9.0mm 石膏ボード下地 t=12mm 岩綿吸音板張り	【現況のまま】	
壁面	寒冷地用 リベナ質 口100タイル張り	【現況のまま】	
巾木	-	-	
床	磁器質口33モザイクタイル張り	【新設】 (一部)	口33 磁器タイル張り (便器改修部のみ)
その他	トイレブース・衛生器具 ライニシダ 掃除用具入れ	【撤去】 【新設】 【現況のまま】	トイレブース・衛生器具 ライニシダ 掃除用具入れ

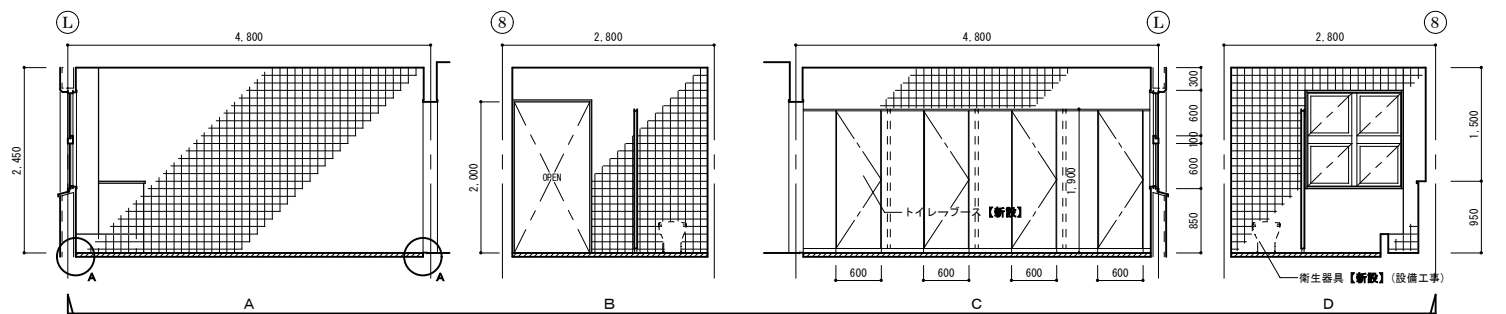




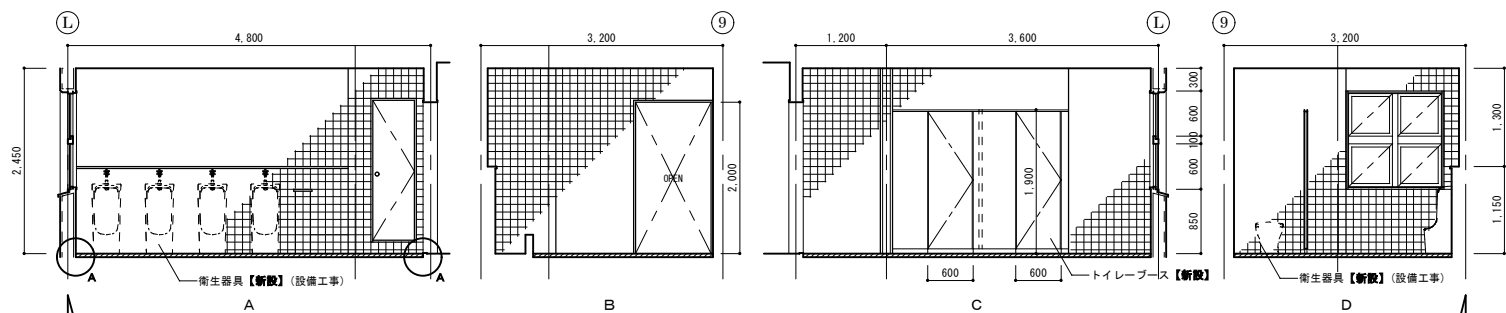
トイレ展開図(各階女子用) S = 1 : 50  
【改修前】



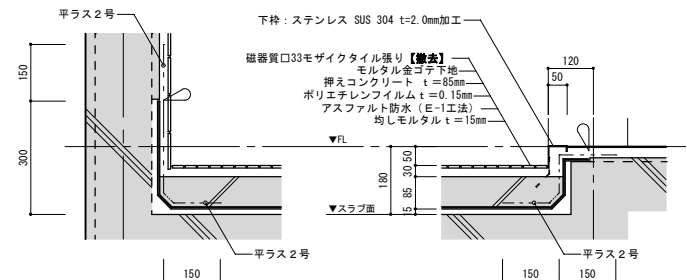
トイレ展開図(1階男子用) S = 1 : 50  
【改修前】



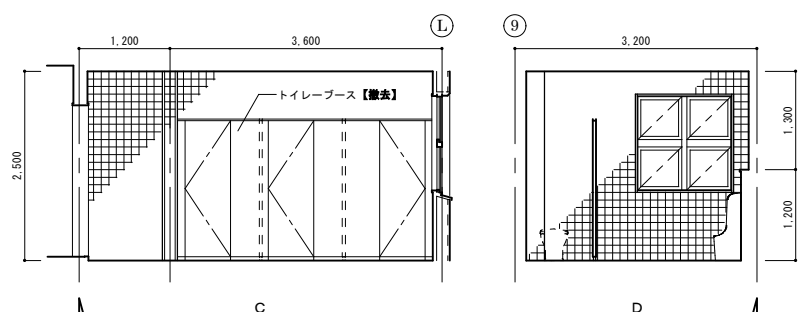
トイレ(女子用)展開図 S = 1 : 50  
トイレ展開図(各階女子用) S = 1 : 50  
【改修後】



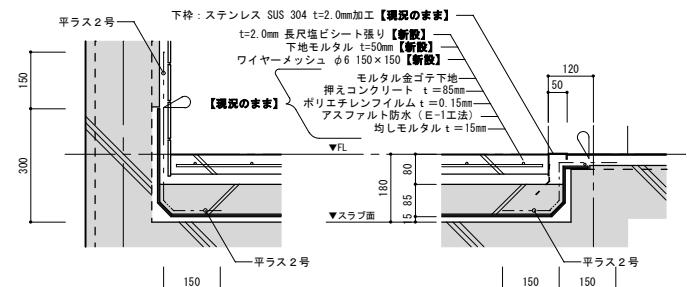
トイレ(男子用)展開図 S = 1 : 50  
トイレ展開図(1階男子用) S = 1 : 50  
【改修後】



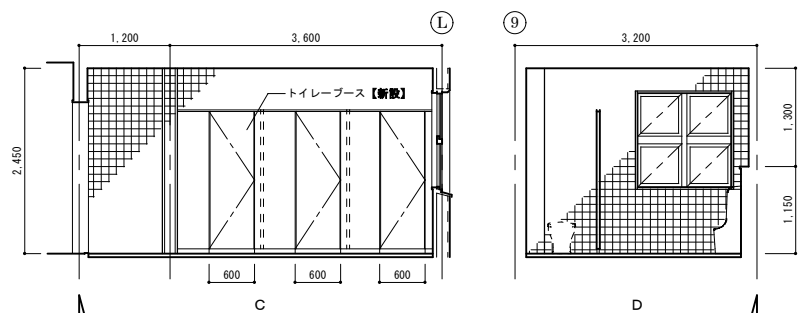
A部詳細図(2・3階) S = 1 : 10  
【改修前】



トイレ展開図(2・3階男子用) S = 1 : 50  
【改修前】



A部詳細図(2・3階) S = 1 : 10  
【改修後】

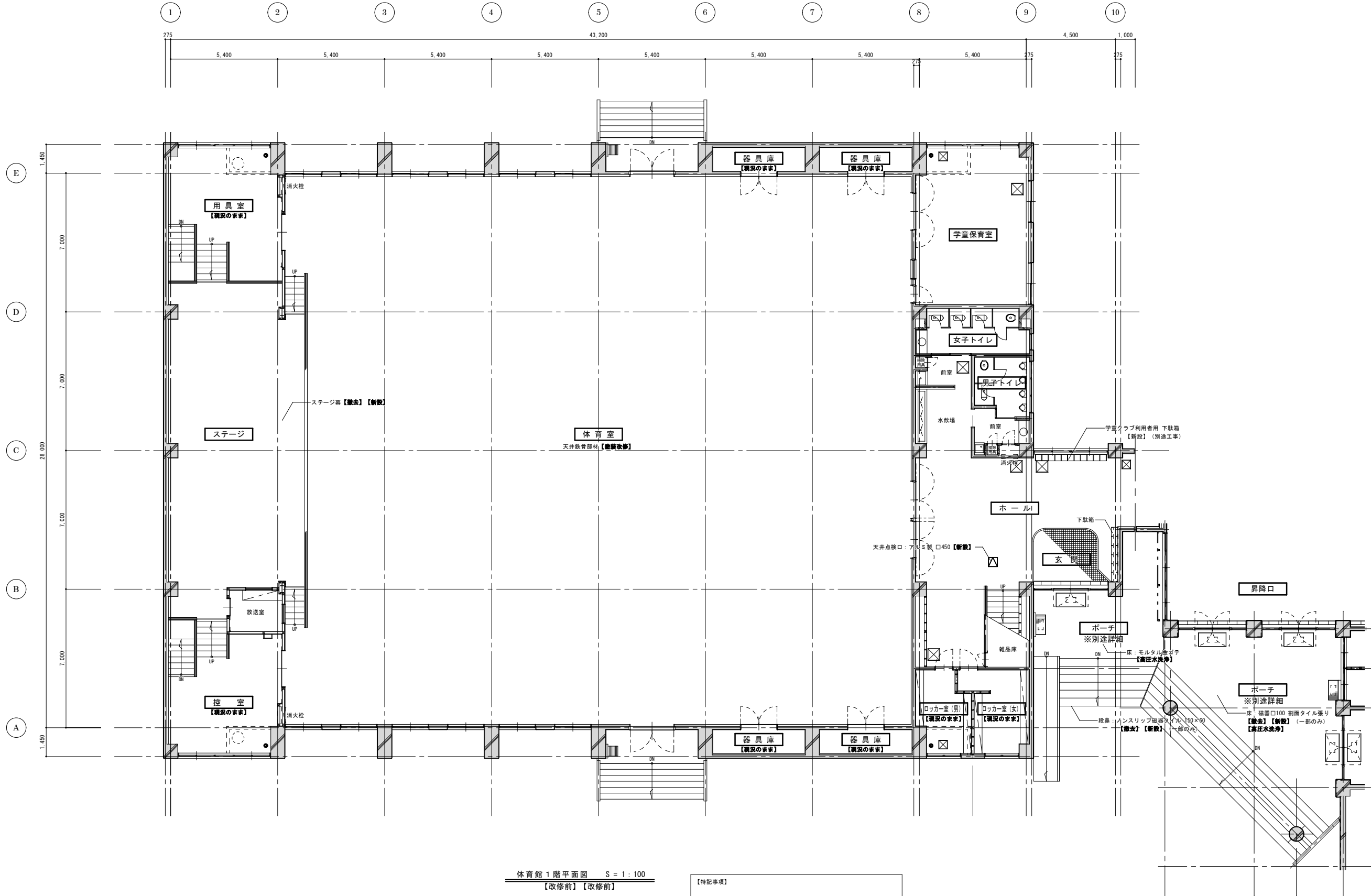


トイレ展開図(2・3階男子用) S = 1 : 50  
【改修後】

符 号	TB 1 トイレブース		TB 2 トイレブース		TB 3 トイレブース		TB 4 トイレブース	
改 修 内 容	【撤去】		【撤去】		【撤去】		【撤去】	
姿 図 ※外部側から								
室名・数量	女子便所	3ヵ所	1階男子便所	1ヵ所	2・3階男子便所	2ヵ所	職員用女子便所	1ヵ所
材 質	合板フラッシュ 見込：40mm		合板フラッシュ 見込：40mm		合板フラッシュ 見込：40mm		合板フラッシュ 見込：40mm	
硝 子	-		-		-		-	
金 物	ラバトリーヒンジ / ラッチ錠 / 帽子掛け戸当り / パネル横受アングル / ステンレス巾木		ラバトリーヒンジ / ラッチ錠 / 帽子掛け戸当り / パネル横受アングル / ステンレス巾木		ラバトリーヒンジ / ラッチ錠 / 帽子掛け戸当り / パネル横受アングル / ステンレス巾木		ラバトリーヒンジ / ラッチ錠 / 帽子掛け戸当り / パネル横受アングル / ステンレス巾木	
備 考	頭押え：ステンレス 0-40×20 t=1.0mm		頭押え：ステンレス 0-40×20 t=1.0mm		頭押え：ステンレス 0-40×20 t=1.0mm		頭押え：ステンレス 0-40×20 t=1.0mm	
符 号	TB 1 トイレブース		TB 2 トイレブース		TB 3 トイレブース		TB 4 トイレブース	
改 修 内 容	【新設】		【新設】		【新設】		【新設】	
姿 図								
室名・数量	女子便所	3ヵ所	1階男子便所	1ヵ所	2・3階男子便所	2ヵ所	職員用女子便所	1ヵ所
材 質	芯材：ペーパーコア 仕上：メラミン樹脂化粧合板貼り アルミオールエッジ 見込：40mm		芯材：ペーパーコア 仕上：メラミン樹脂化粧合板貼り アルミオールエッジ 見込：40mm		芯材：ペーパーコア 仕上：メラミン樹脂化粧合板貼り アルミオールエッジ 見込：40mm		芯材：ペーパーコア 仕上：メラミン樹脂化粧合板貼り アルミオールエッジ 見込：40mm	
硝 子	-		-		-		-	
金 物	グレビティヒンジ（中心吊） / 帽子掛け戸当たり / 外開き表示錠 / 附属金物一式		グレビティヒンジ（中心吊） / 帽子掛け戸当たり / 外開き表示錠 / 附属金物一式		グレビティヒンジ（中心吊） / 帽子掛け戸当たり / 外開き表示錠 / 附属金物一式		グレビティヒンジ（中心吊） / 帽子掛け戸当たり / 外開き表示錠 / 附属金物一式	
備 考								
符 号	スチールパーテーション							

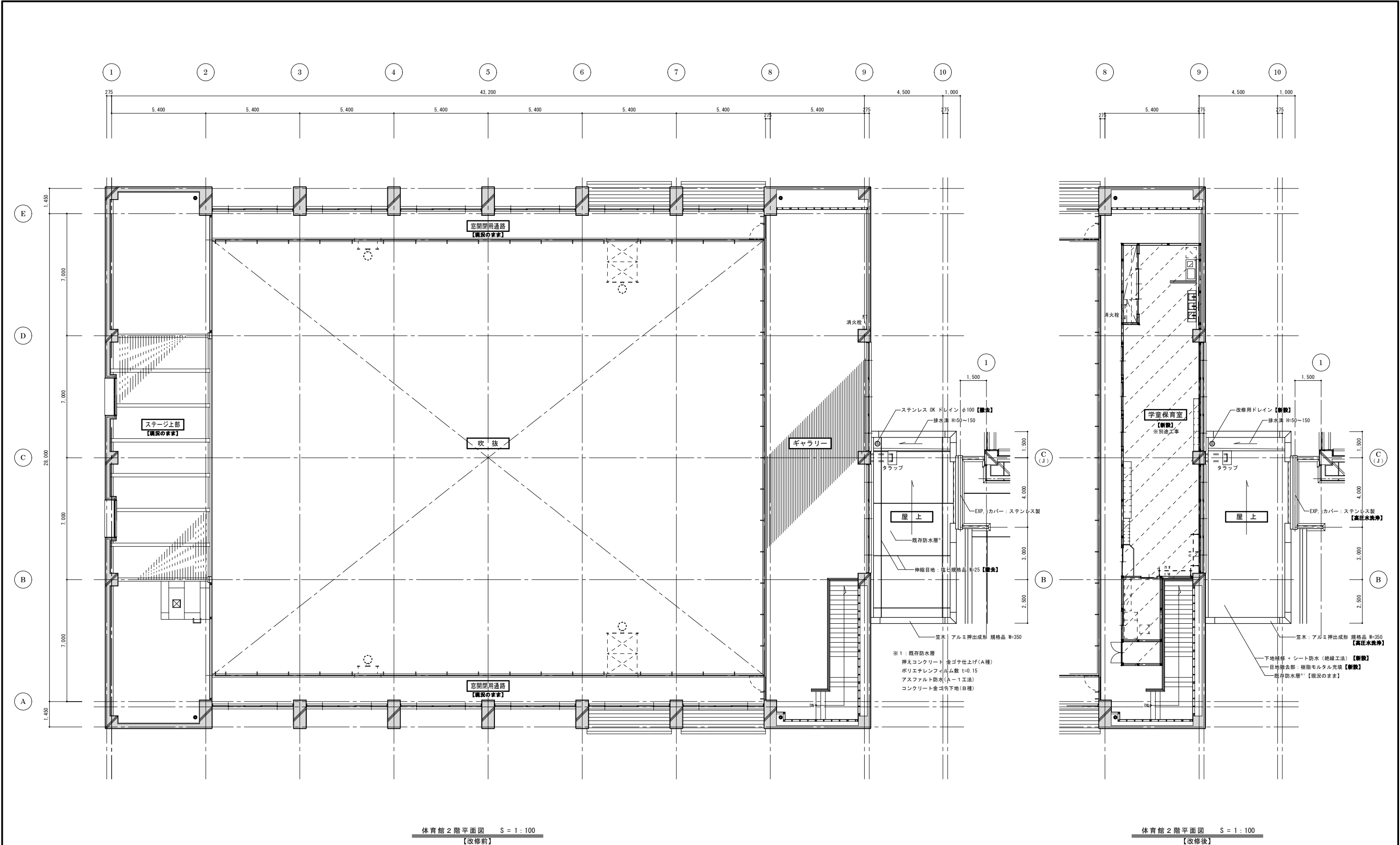
改 修 内 容	【撤去】斜線部【現況のまま】		【新設】	
姿 図				
室名・数量	2・3階 普通教室	16ヵ所	2・3階 普通教室	16ヵ所
材 質	【扉】枠：アルミ押出型材 / 表面材：ポリ合板 見込：25mm （本体枠：亜鉛メッキ鋼板 SOP 見込：90mm）		【扉】枠：アルミ押出型材 / 表面材：ポリ合板 見込：25mm	
硝 子	透明ガラス t=5.0		透明強化ガラス t=4.0	
金 物	-		-	
備 考	ステンレスレール t=1.5mm / 引手 / 錠		ステンレスフラットレール t=1.5mm / 引手 / 錠	

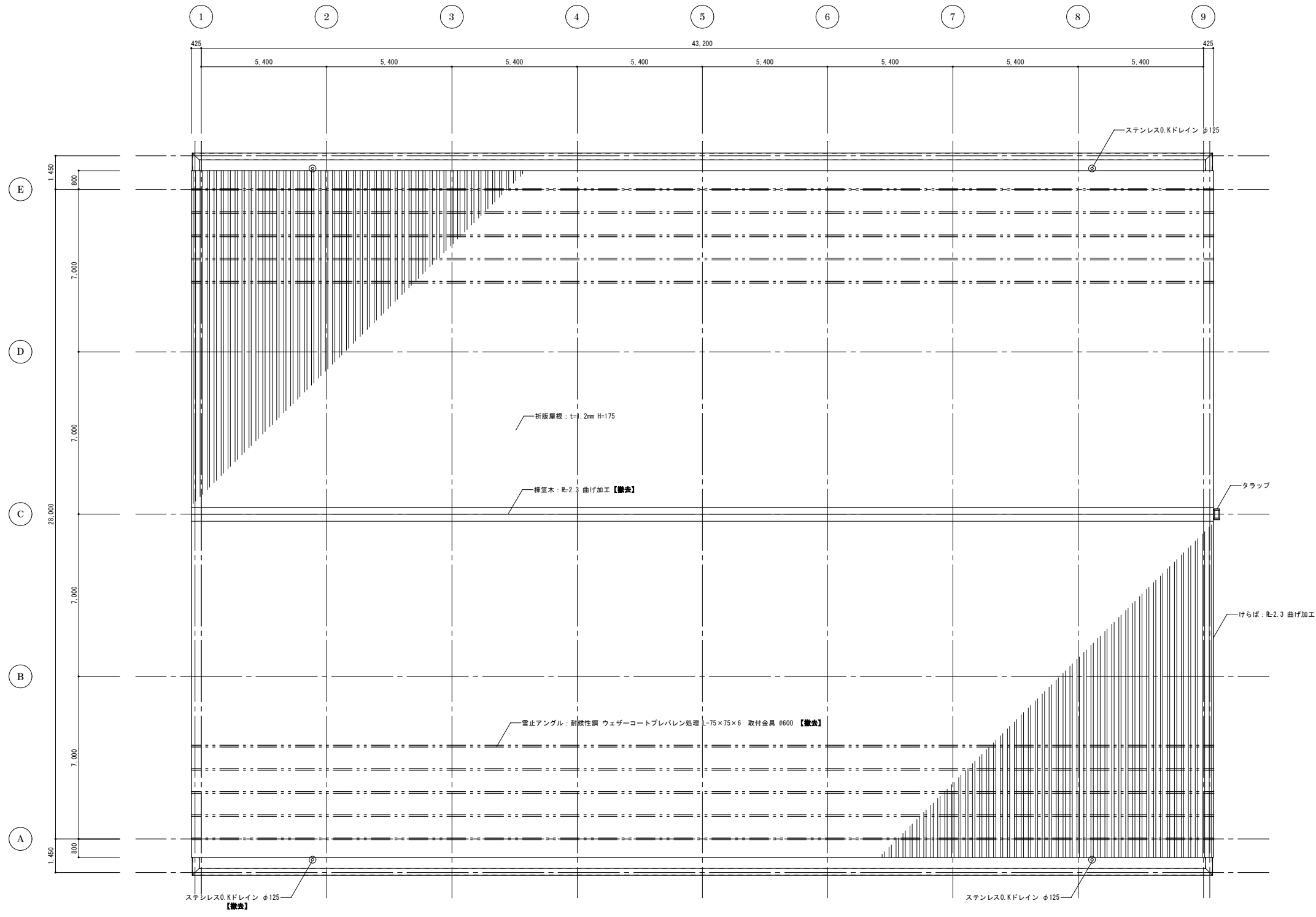
株 式 会 社 富 所 設 計    電 話 025-783-3150			PROJECT 統合石打小学校大規模改造工事		DATE 2021 / 03	N <sub>e.</sub>
一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(リ) 第 1160 号 管理建築士 一級建築士 第 114217 号 富 所 清 治			TITLE 建 具 表		SCALE 1/50・60 (A1) 1/100・120(A3)	A - 27



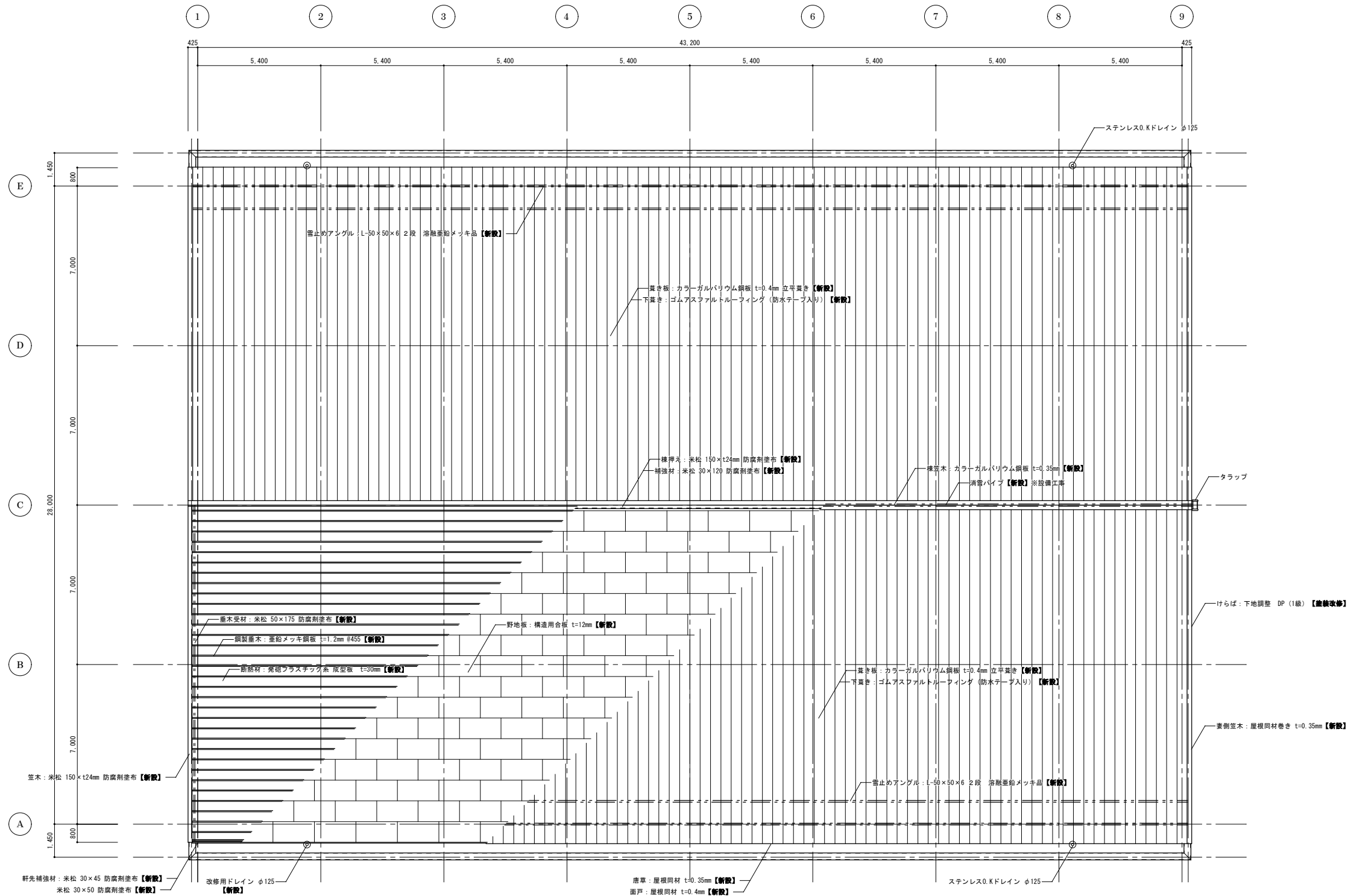
体育館 1 階平面図 S = 1 : 100  
【改修前】 【改修前】

【特記事項】  
□・・・天井点検口：アルミ製 □450 1 ヶ所 【新設】



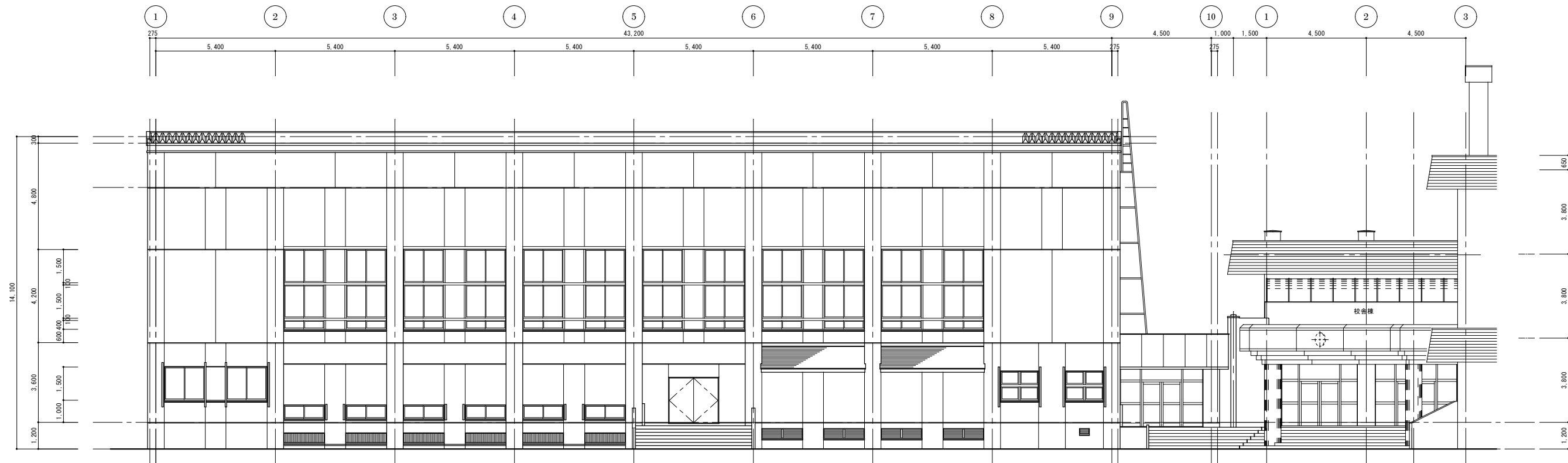


体育館屋根伏図 S = 1 : 100  
【改修前】

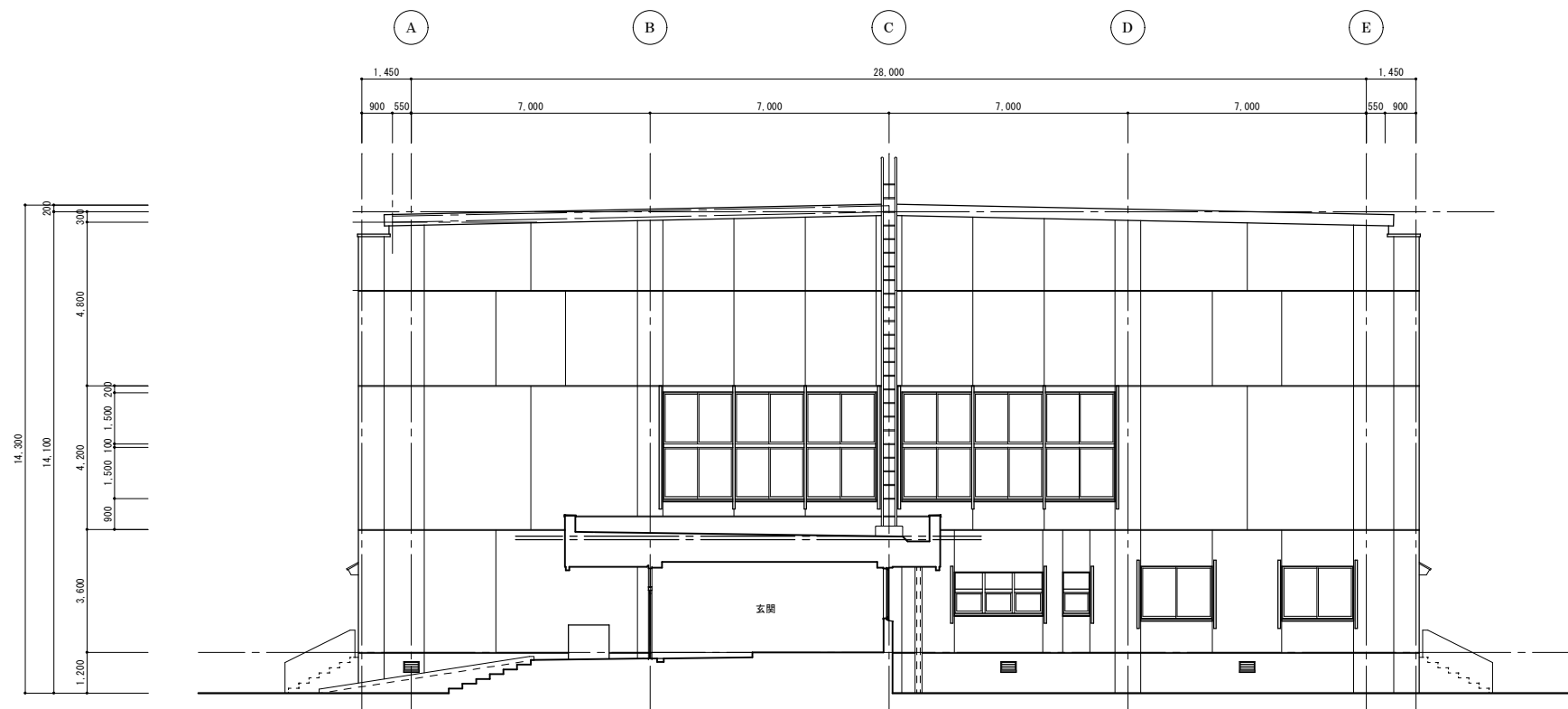


体育館屋根伏図 S = 1 : 100  
【改修後】





体育館 西側立面図 S = 1 : 100



体育館 南側立面図 S = 1 : 100

株式会社 富所設計 電話 025-783-3150  
一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号 (リ) 第 1160 号  
管理建築士 一級建築士 第 114217 号 富所 清 治

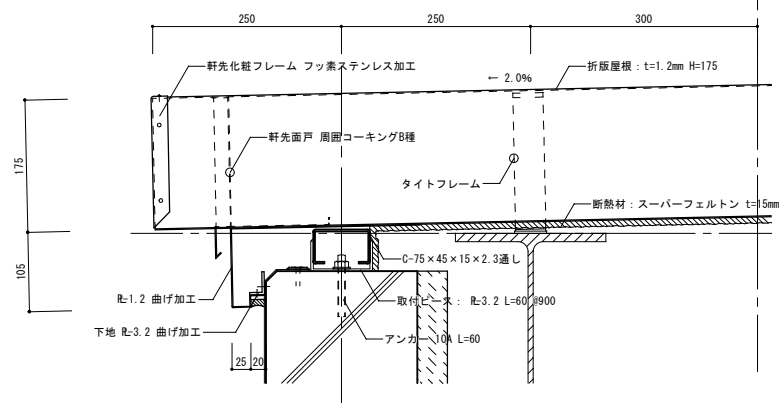
PROJECT 統合石打小学校大規模改修工事  
TITLE 体育館棟) 立 面 図

DATE 2021 / 03  
SCALE 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

### ■ 軒先詳細図

S=1:5

—



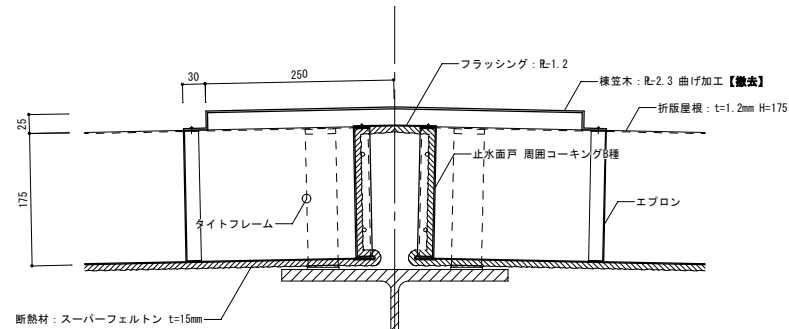
【改修前】

※特記なき仕上等は【現況のまま】

### ■ 棟詳細図

S=1:5

—



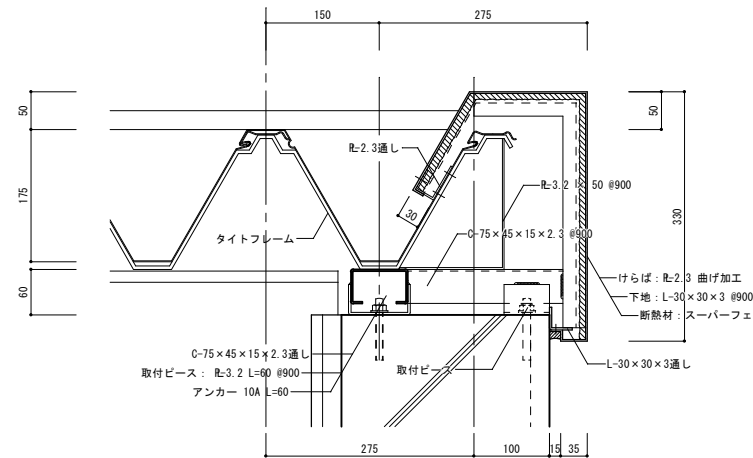
【改修前】

※特記なき仕上等は【現況のまま】

### ■ 妻側詳細図

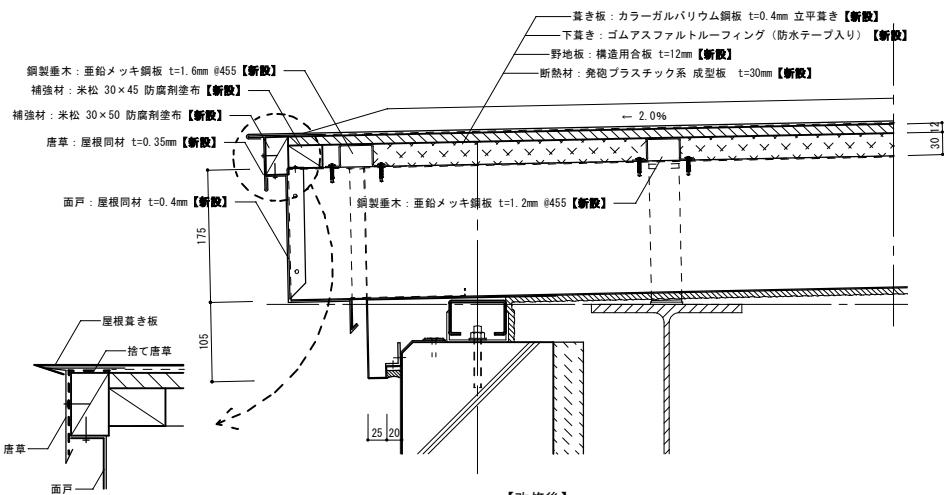
S=1:5

—



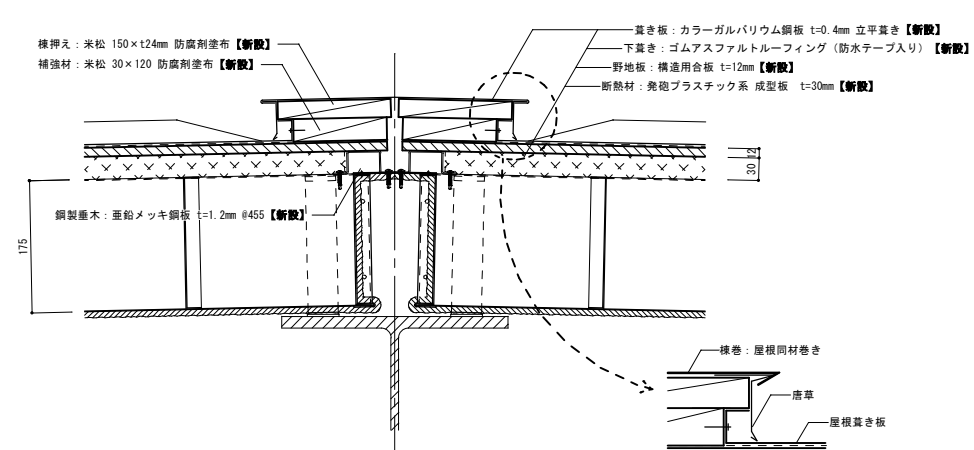
【改修前】

※特記なき仕上等は【現況のまま】



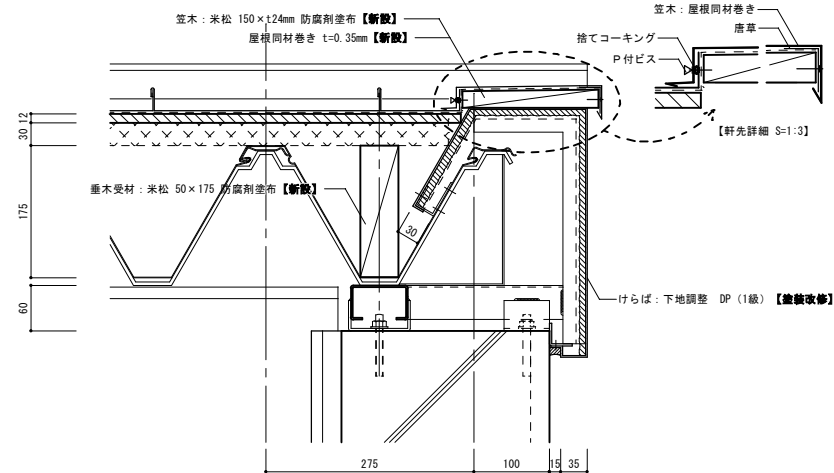
【改修後】

【軒先詳細 S=1:3】



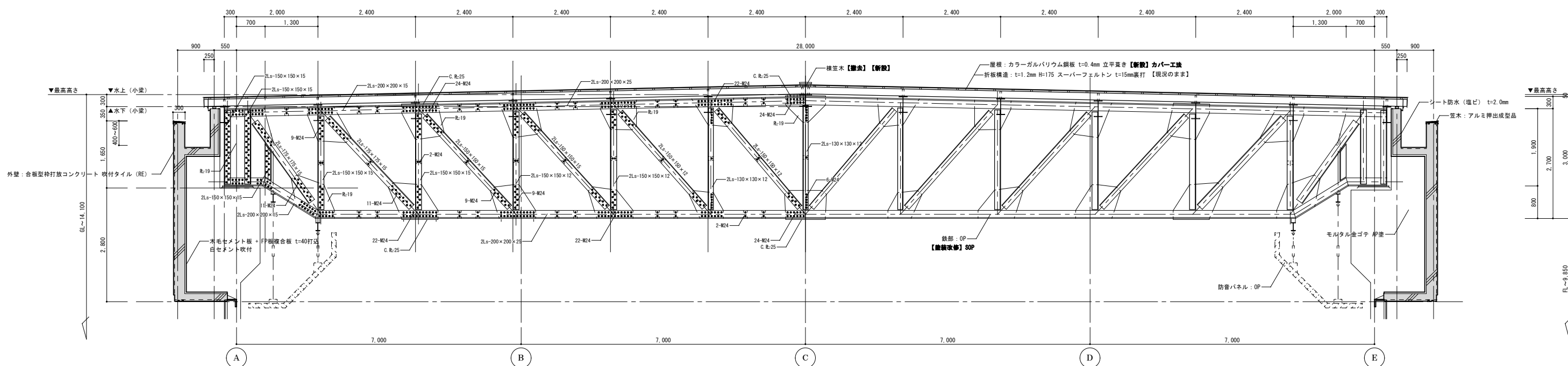
【改修後】

【軒先詳細 S=1:3】



【改修後】

### 【塗装改修】



体育館矩計図 S = 1 : 50

【改修前】 【改修後】

※特記なき仕上等は【現況のまま】

株式会社富所設計 電話 025-783-3150

一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号 (リ) 第 1160 号

管理建築士 一級建築士 第 114217 号 富 所 清 治

PROJECT

統合石打小学校大規模改造工事

DATE \_\_\_\_\_

2021 / 03

No.

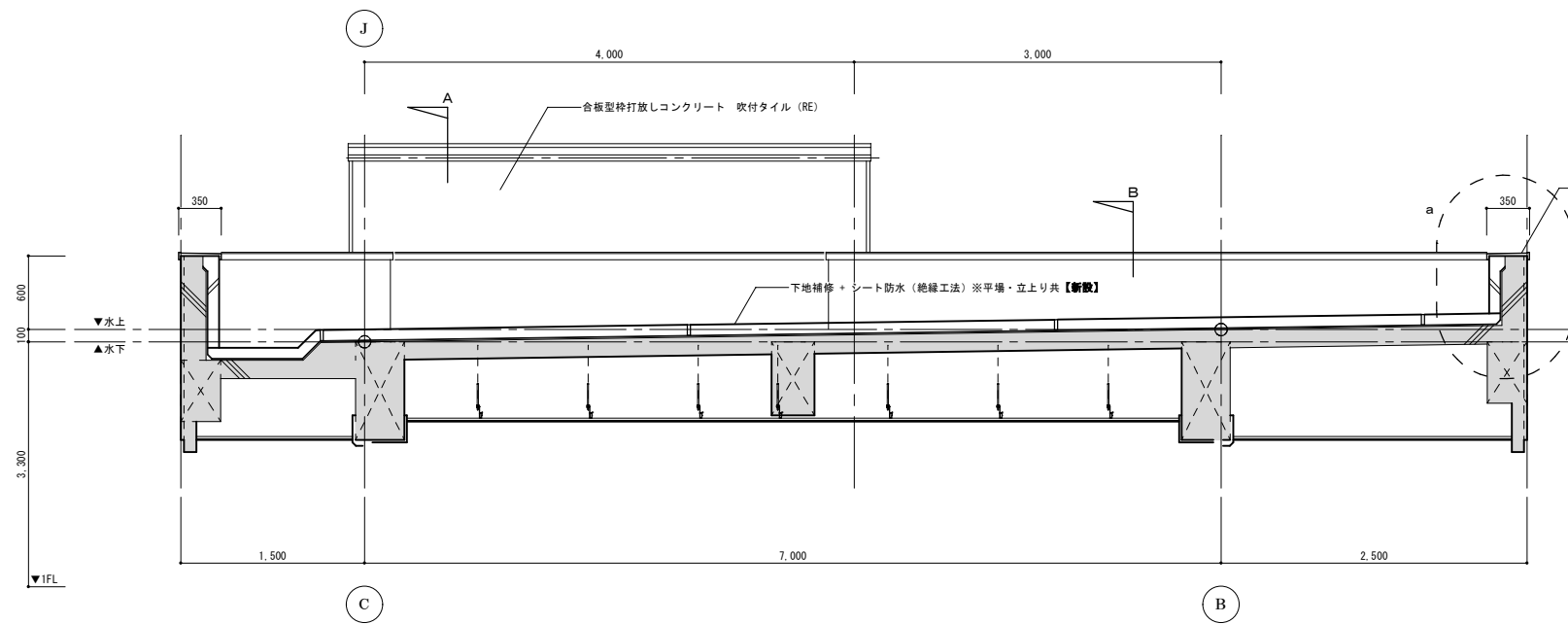
TITLE
-------

體育館棟) 矩計図・屋根部分詳細図

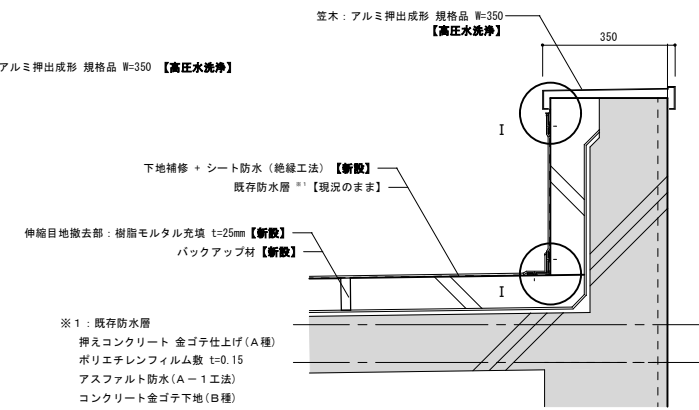
	SCALE

1/50 · 5	(
1/100 · 10	(

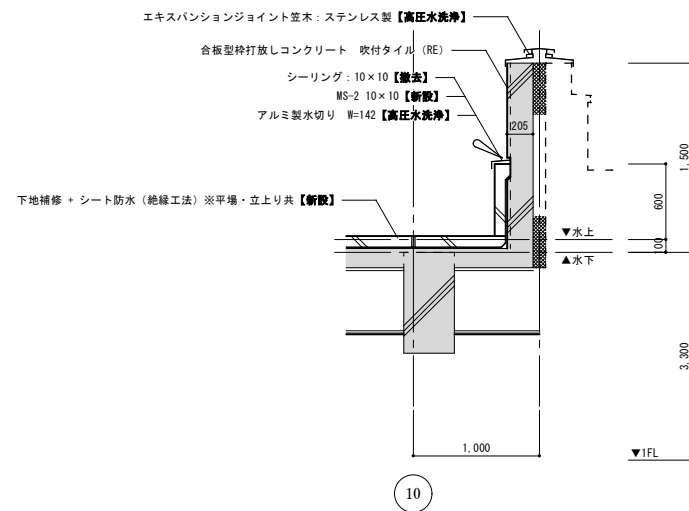
A - 33



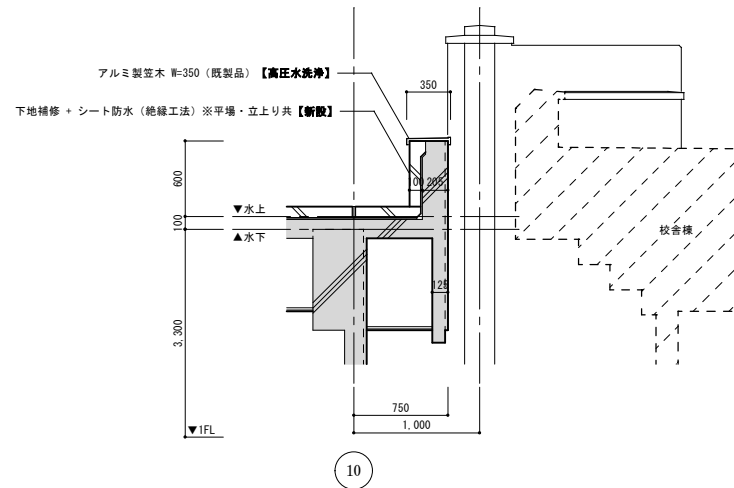
玄関屋上断面図 S = 1 : 30  
【改修後】



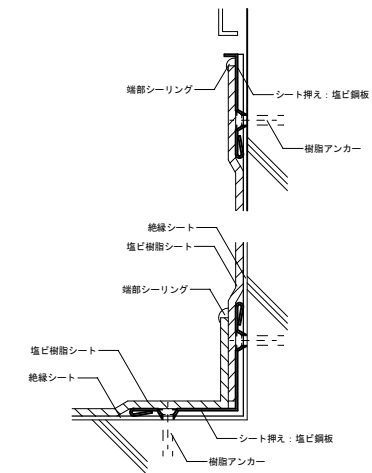
a 部詳細図 S = 1 : 10  
【改修後】



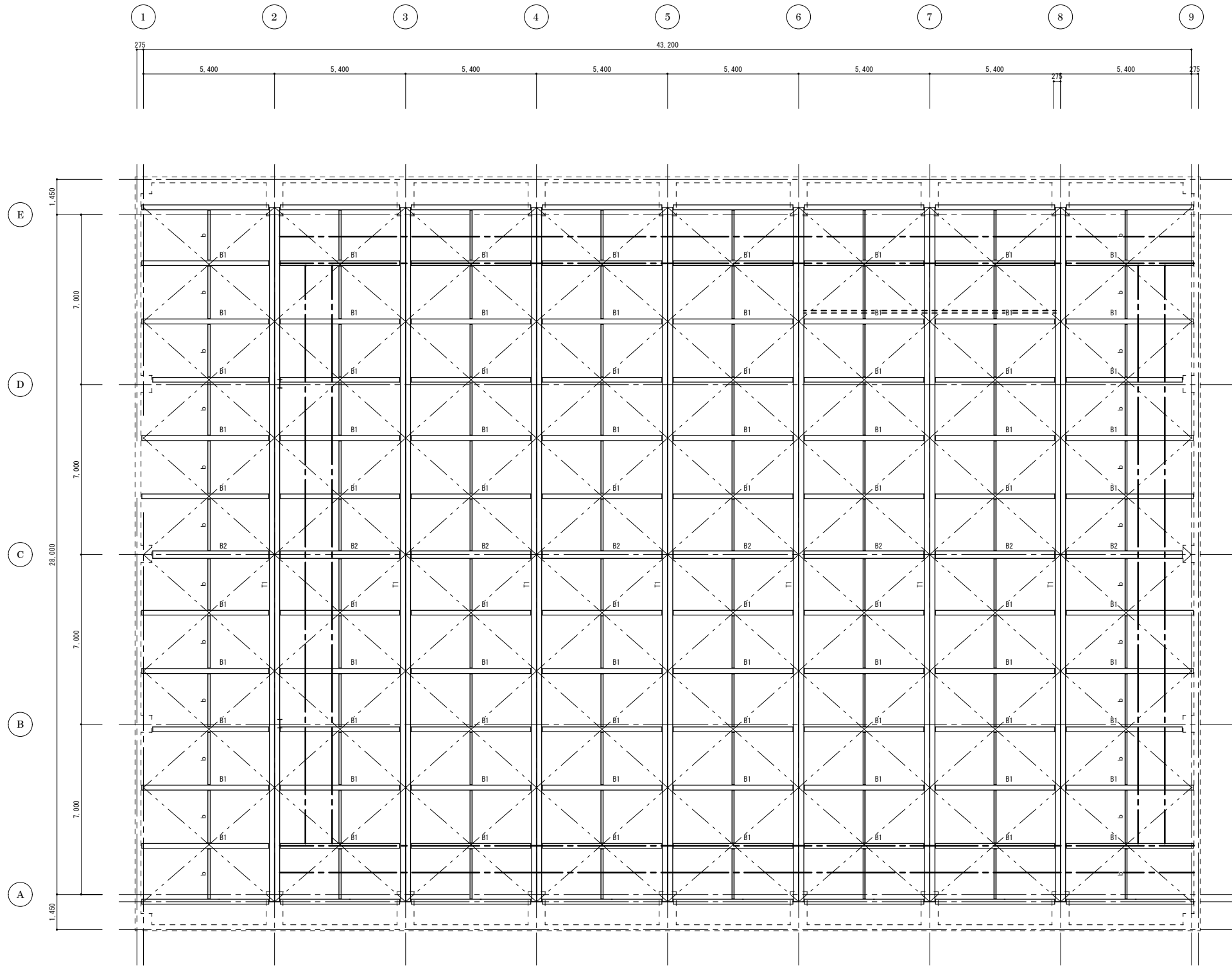
A 部断面図 S = 1 : 30  
【改修後】



B 部断面図 S = 1 : 30  
【改修後】

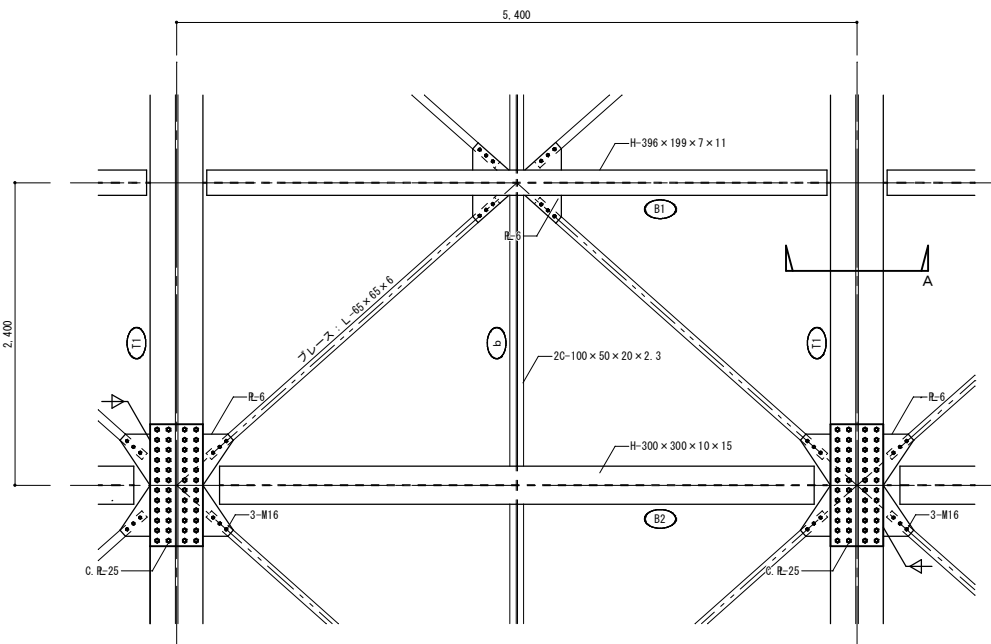


I 部詳細図 S = 1 : 2

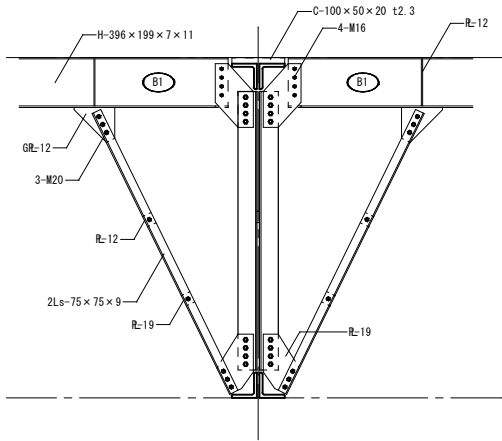


梁 伏 図  
S = 1 : 100

■ 部 材 リ ス ト	
記号・凡例	サイズ
T1	詳細図参照
B1	H-396×199×7×11
B2	H-300×300×10×15
b	20-100×50×20×2.3
ブレース	L-65×65×6
方杖	2Ls-75×75×9
	H-200×100×5.5×8
	H-200×100×5.5×8



屋根ブレース詳細図  
S = 1 : 30



A 断面詳細図  
S = 1 : 30

